HiME-Mania

姫マニア

画・栗本重治

vol.53



みはねに全部出して♡

カマキリ

イケない初体験
尾山泰永

女子校に男一人!?
さかぐちしずか

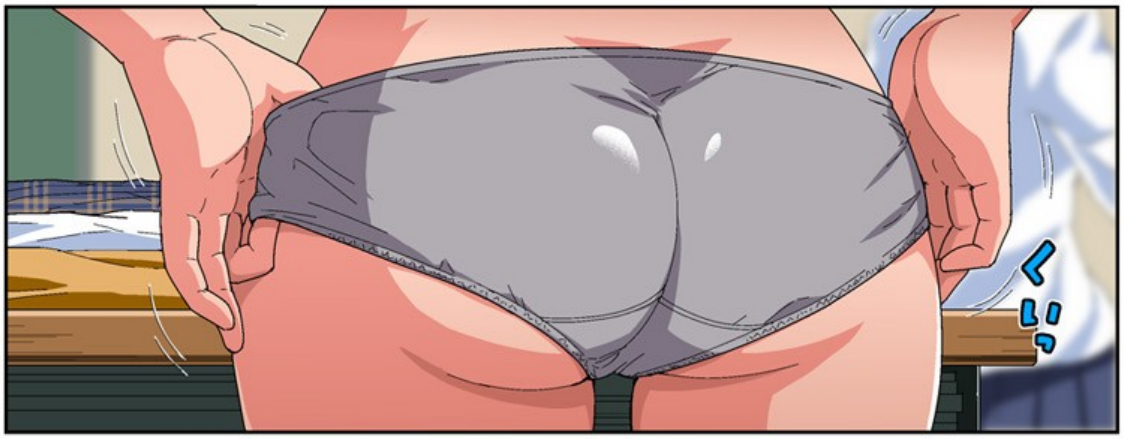
お嬢様のHな御奉仕
桂木たくみ

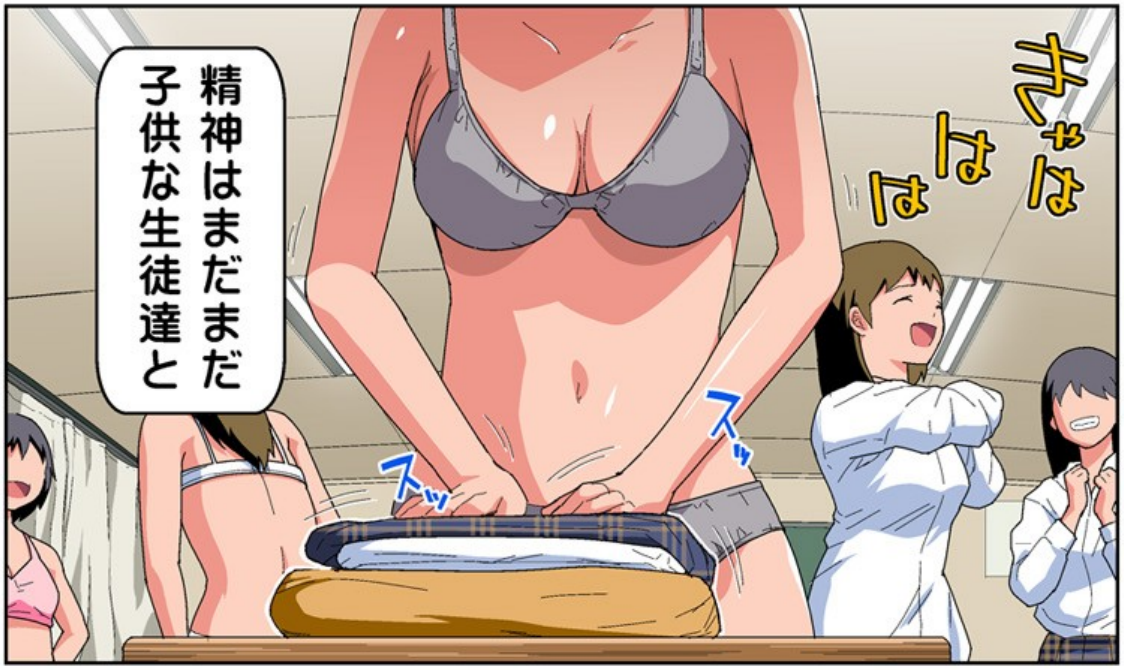
リアル女体vsアキバ君
紫色雁行

ヴァージンあげちゃう
栗本重治


みはねに
全部出して♥
ACT100 秩序を守る者


スルッ
プチ
プチ
ムニッ
私は
秩序を守る者


くいっ


精神はまだまだ
子供な生徒達と
きゃは
は
は
スッ
スッ


先生方を
つなぐ架け橋
ゴッ
ゴッ


それが私
柏戸(かしわど)ありさ


私が通り過ぎた道に
ゴミが残っているなんて許せない
スッ
私が通りし道は秩序にあふれているべき!!
ドーン


ガッコン


ザー
アー
アー
アー


それにしても
さっきは


酷い体験を
したわね
きゃっ
ワーワー


いつも
くだらない事して…
品のない
玉村(たまむら)は
私から見たら
まるで猿ね…
ウキキッ


ただ
私も同じステージに
下がって大声を
出してしまったのは
キー
キー
反省しない
とね


ギャイ
ギャイ
ザミ
ザミ
…全く…
正直に
言えよぉ
だから
知らないって
言ってるだ
ろ～～～～～
ユサ
ユサ
ユサ
本当にどこでも
騒いでるのねえ
玉村(このこ)は…
うげぇ
苦しいって
翔馬(しょうま)ぁ


このボールが落ちてるからおかしいと思って後ろ回ったら
少し窓開いてて足跡もあったしっ
絶対にさっき覗いてたろっ淳也ぁ!!
だから何を覗いたって言うんだよぉ
知らないって〜〜〜〜
詳しくはわからないけど
どうせまたくだらない争いをしてるのね…

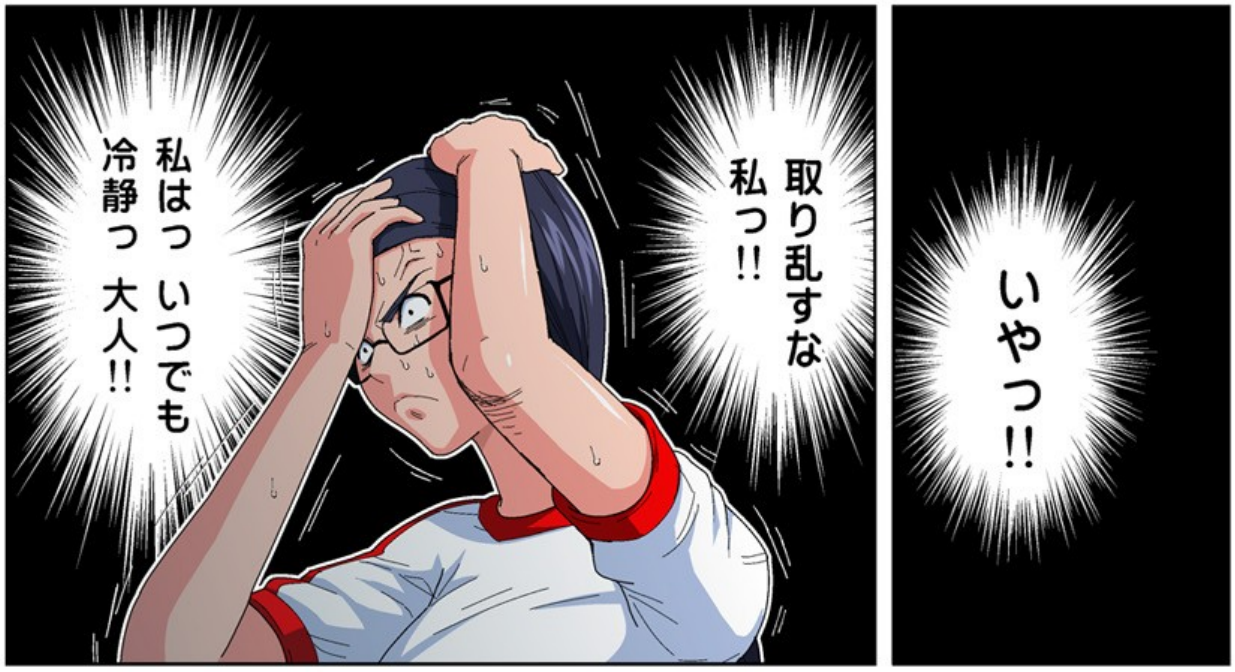

こんなの無視して通り過ぎてしまえば楽…
だけど私は「秩序を守る者」
見過ごすわけにはいかないわね


……
ま――でももし覗いてたとしても
俺がさっき跳び箱運ぶの助けに行かなかったら
未だに2人体育倉庫の中か先生に見つかってたろぉ
ニヤ


ぐうう
そうかもしれないけど…
やっぱり覗いてたんだなぁ
ワナ
ワナ
ワナ
テヘッ


どうしました皆さん？
ここは一つ冷静に話し合いましょう
？
へへっ♪
パッ
サッ
サッ
みはねちゃぁん
ハァ
ハァ
ハァ
もじ
もじ
挟んでもらって……いい？
このっ
ボッ
ムガァ
ぎゅー
ポコォオン
むがっ


プル
プル
プル
プル
……な……
あああああ
ごめんなさい柏戸さんっっ
ぎゃははははっ
ドドド


いやっ!!
取り乱すな私っ!!
私はっ いつでも冷静っ 大人!!

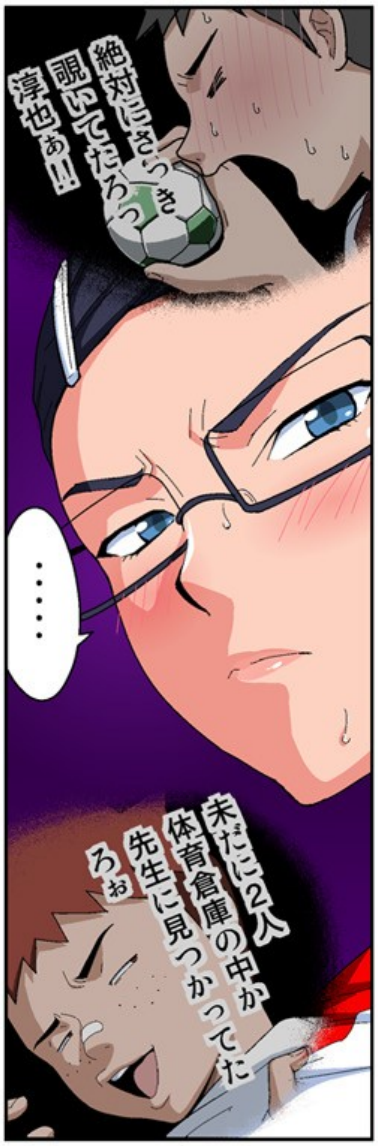

ふ――
ふ――
先に玉村君と体育館に行ってて下さい
柏戸さん玉村君いると意識しちゃうみたいなので
?
う・・うん

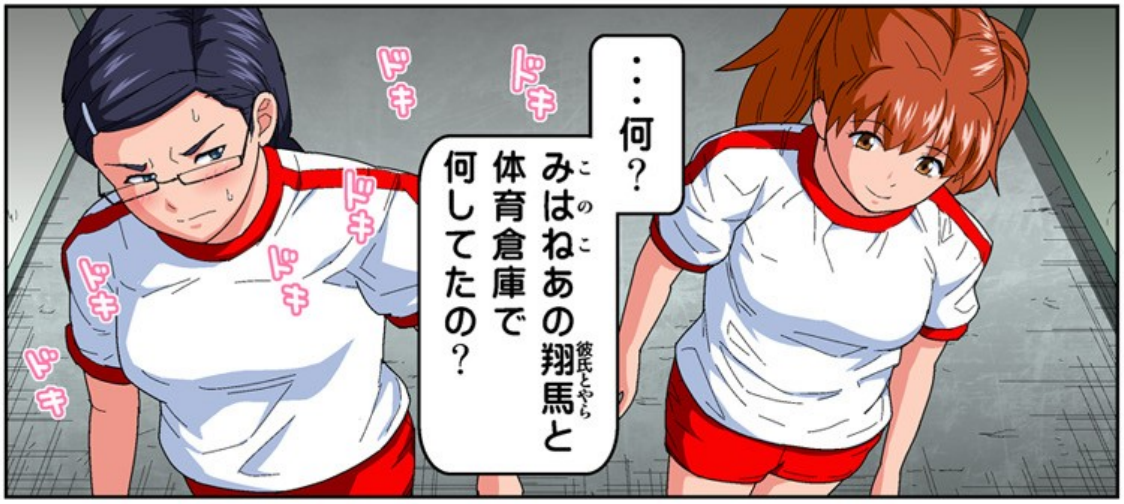

ほら行くぞ淳也っ
ほ――い

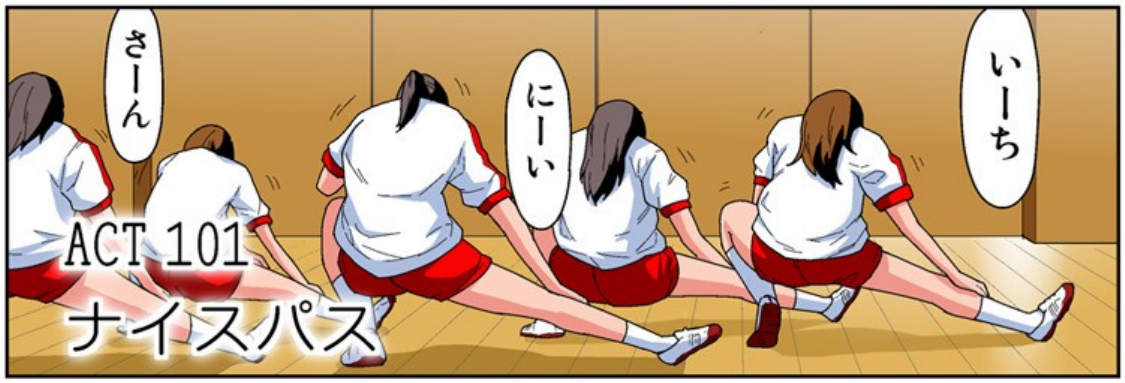

大丈夫ですか?ごめんなさい
コク
コク
ス――ッ
・・・・・
・・・・・


大丈夫
キリッ
私は大人だから…こんな事で怒ったり…しないわ
さあ授業に遅れるわね
行きましょう
はいっそうですねっ
福成(ふくなり)みはね…私はアイドルなんて興味ないし
私からしたらあなたはただのクラスメイトの一人でしかないわ
チラ
チラ
!?
なのに…何故かしら…
何かドキドキする…
ドキ
ドキ
ドキ


何故 体育の前に
汗をかき・・・
肌を赤く
染めているの？
しかも・・・
何かとても・・・
いやらしい雰囲気が
漂って・・・


絶対にさっき
覗いてたろっ
淳也ぁ!!
・・・・・
未だに2人
体育倉庫の中か
先生に見つかってた
ろお


ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
・・・何？
みはねあの翔馬(彼氏とやら)と
体育倉庫で
何してたの？

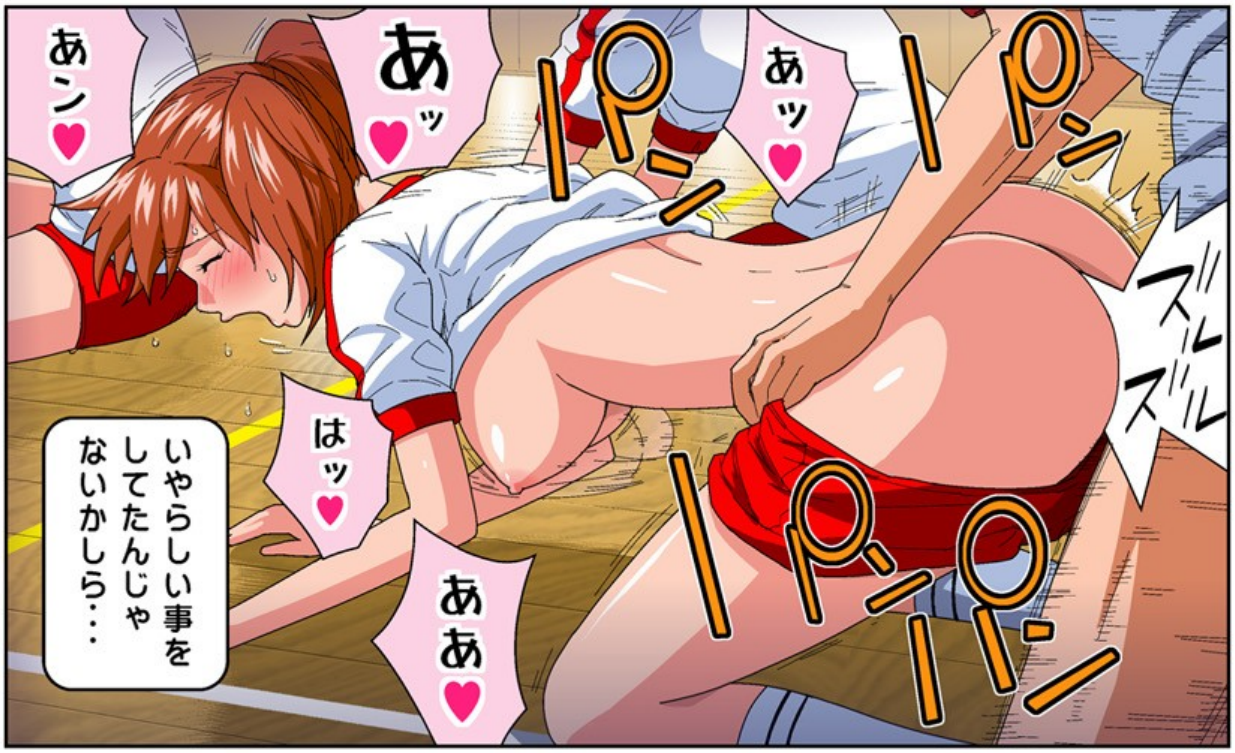

いーち
にーい
さーん
ACT 101
ナイスパス


私は体育が苦手・・・
というより別に進学の為にやる必然性を感じないし
無駄な時間だから嫌い


ただ優等生である私が手を抜く事なんて出来ないわ
なーな
はーち

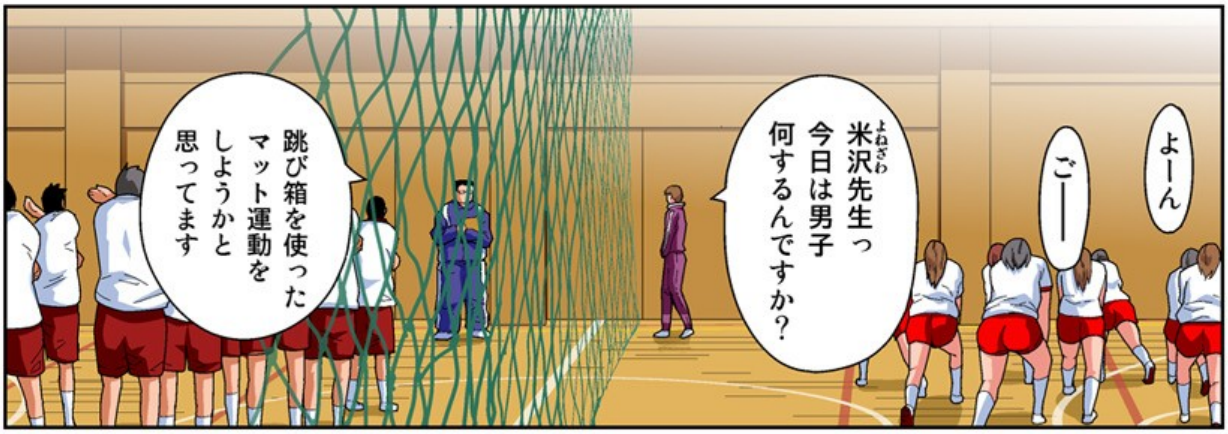

それより
みはねっ(このこ)


もしかしてさっき・・・
体育倉庫で彼氏といかがわしい・・・


あンン♥
あッ♥
あッ♥
パン
パン
パン
パン
スルル
スル
はッ♥
いやらしい事をしてたんじゃないかしら・・・
ああ♥


ん・・・
何を考えてるのかしら・・・
ここは学び舎(や)そんな事していいわけがないわ


ハッ
ビクッ
ビクン
ハァ
ふあっ♥
ああッ♥


よーん
ごー
米沢先生っ
今日は男子
何するんですか?
跳び箱を使った
マット運動を
しようかと
思ってます


え――
隣同士
他の競技やるより
一緒にバスケでも
やりましょうよ!!
え・・・でも
折角・・・
跳び箱持って
きたのに・・・


よしっ決まり―!!
え!?えっ
パン
パー

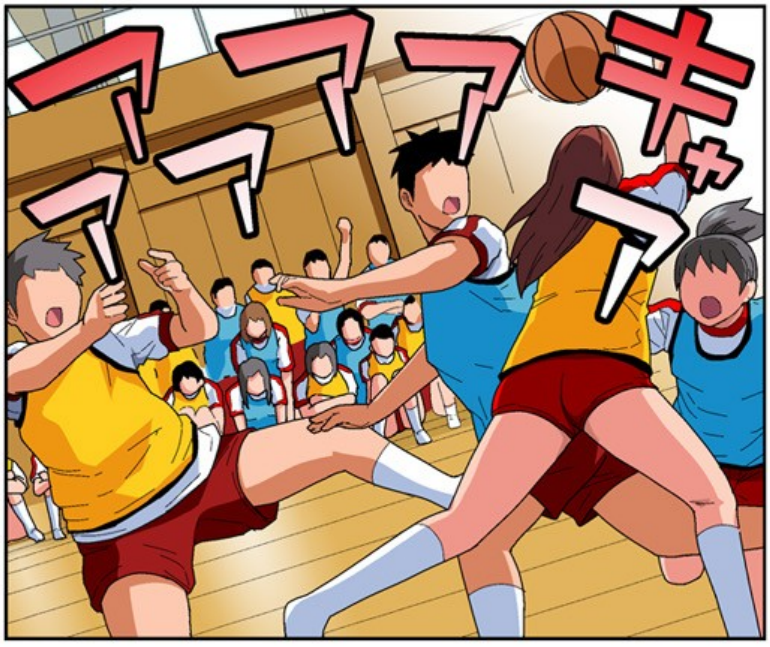

男子と一緒に
バスケしましょ――!
ザワ
ザワ
ザワ
キャー
キャー
ええええええっ
無駄に体力
使いたくないのにぃ
それに野蛮な
男子と体育
なんてしたくない!!


青(あお) 黄色(きいろ)で
お互い3チーム
作って!
その3チームが
交代しながら
戦うわよ!
は――い
みんなビブス
着て――!!




柏戸(かしわど)さんっ
こっちのチームに
入りませんか?
?…
まあどこでも
いいけど


ダン
ダン
ダン
キャー


キャアアアアア

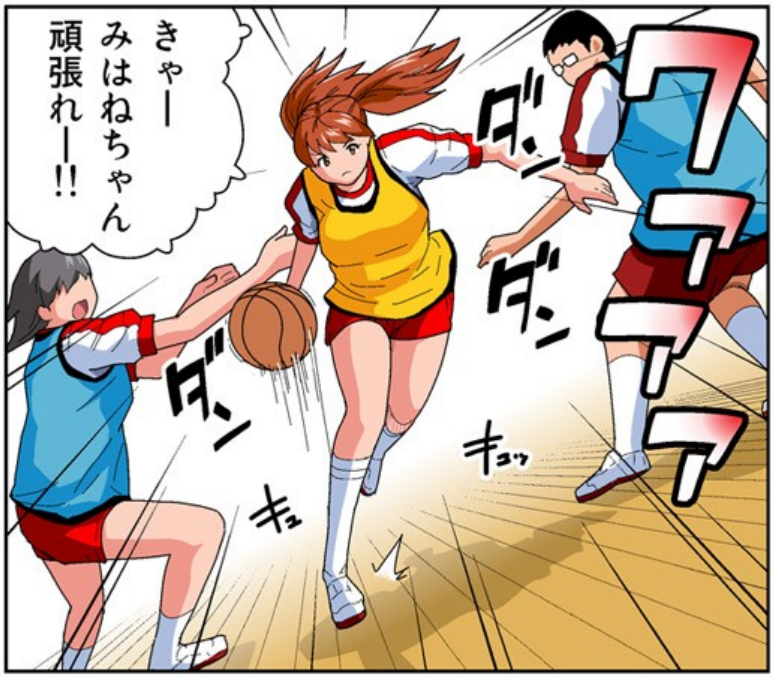

へい
おうっ
ピーッ
あっ
やばい！
誰か翔馬(しょうま)
止めろ!!
ダン
ダン
ダン
ザワ
翔馬君
すごーーいっ
うりー
ザコン
ﾚﾛｯ
は――い
次のチームに
交代ね！
はああ
やりたくない
わねええ


体育ノ授業
だとしテモ　俺
お前らニ一本モ
決めさせナイッ
ズオオオオ


うわっ
向こうバスケ部の
中島いんじゃん
試合に
なんないよ

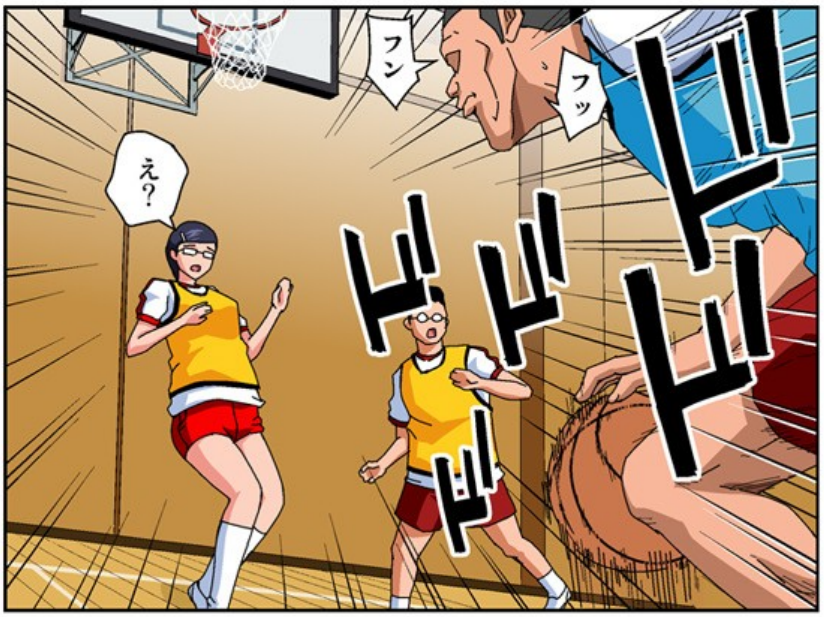

バカッ
最初っから
諦めんなよっ
そんなんじゃ
つまんないぜ！


確かに
そうだな
へー
体育の時は
ちょっと
男らしいのね
な♪

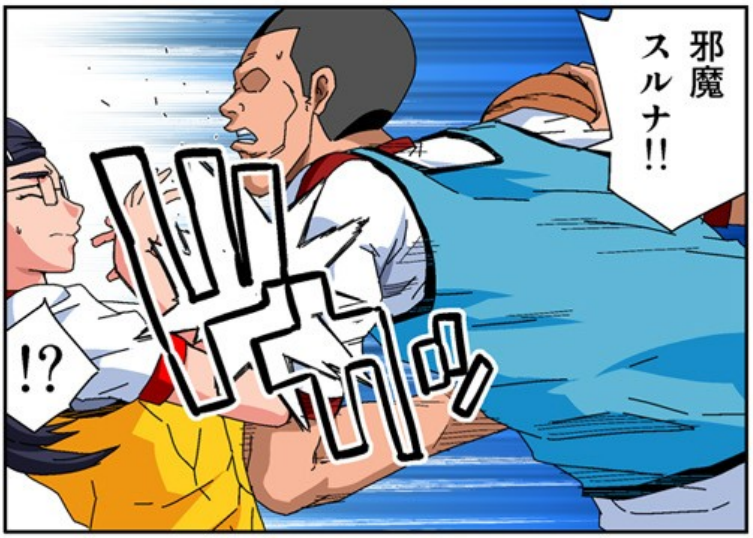

ワアアア
ダン
ダン
ダン
キュッ
キュ
きゃー
みはねちゃん
頑張れー!!


むん！
きゃっ!?


Boooooo
悪いナ バスケ俺ノ見せ場ッ


フン
フッ
え?

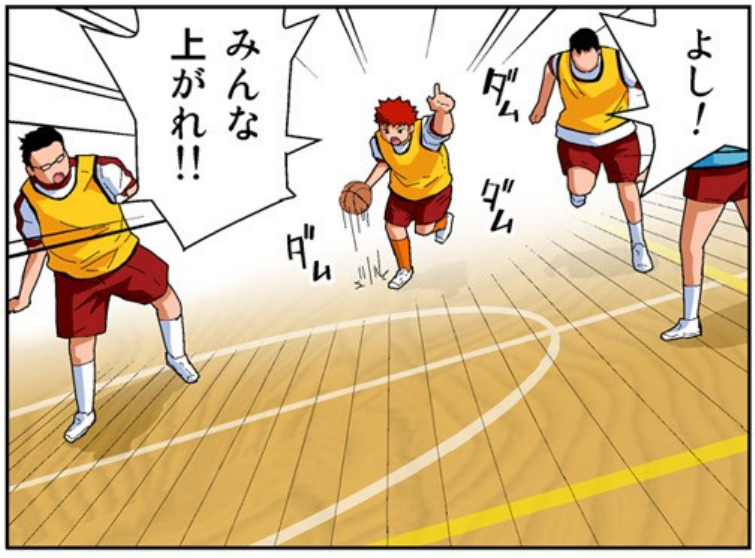

ちょっと!?
どうすればいいかわからないいっ
あわ
あわ


邪魔スルナ!!
!?


だから男子となんてやりたくなかったのよおおお


ガシッ
!?
え!?
ドキッ
中島の奴
女子には
手ぇ抜けってなあ


柏戸
ゴール下は
ぶつかり合って
危ないから
コートの
サイドにいて
パスもらってくれ!
え?
え?
ドキ
ドキ
ドキ

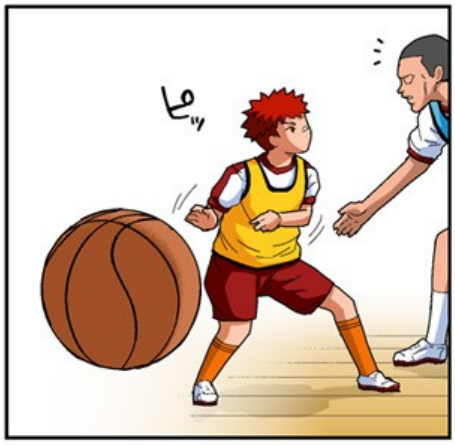

よし!
みんな
上がれ!!
ダム
ダム
ダム

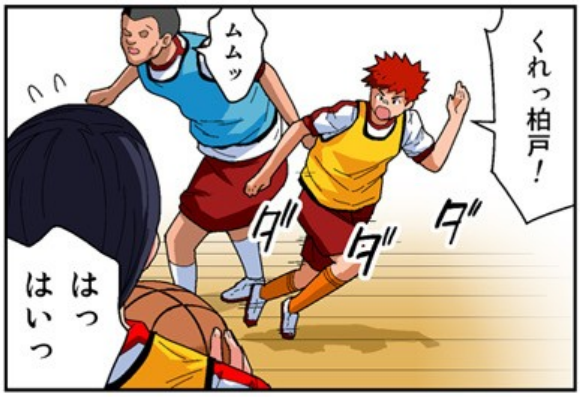

?
?
ダ
ダ
ダ
ダ


あっ
わあ
むぐ
ハッ
キュ
キュッ
ダム
ダム
ダム
キュ
キュ
キュ


チラッ

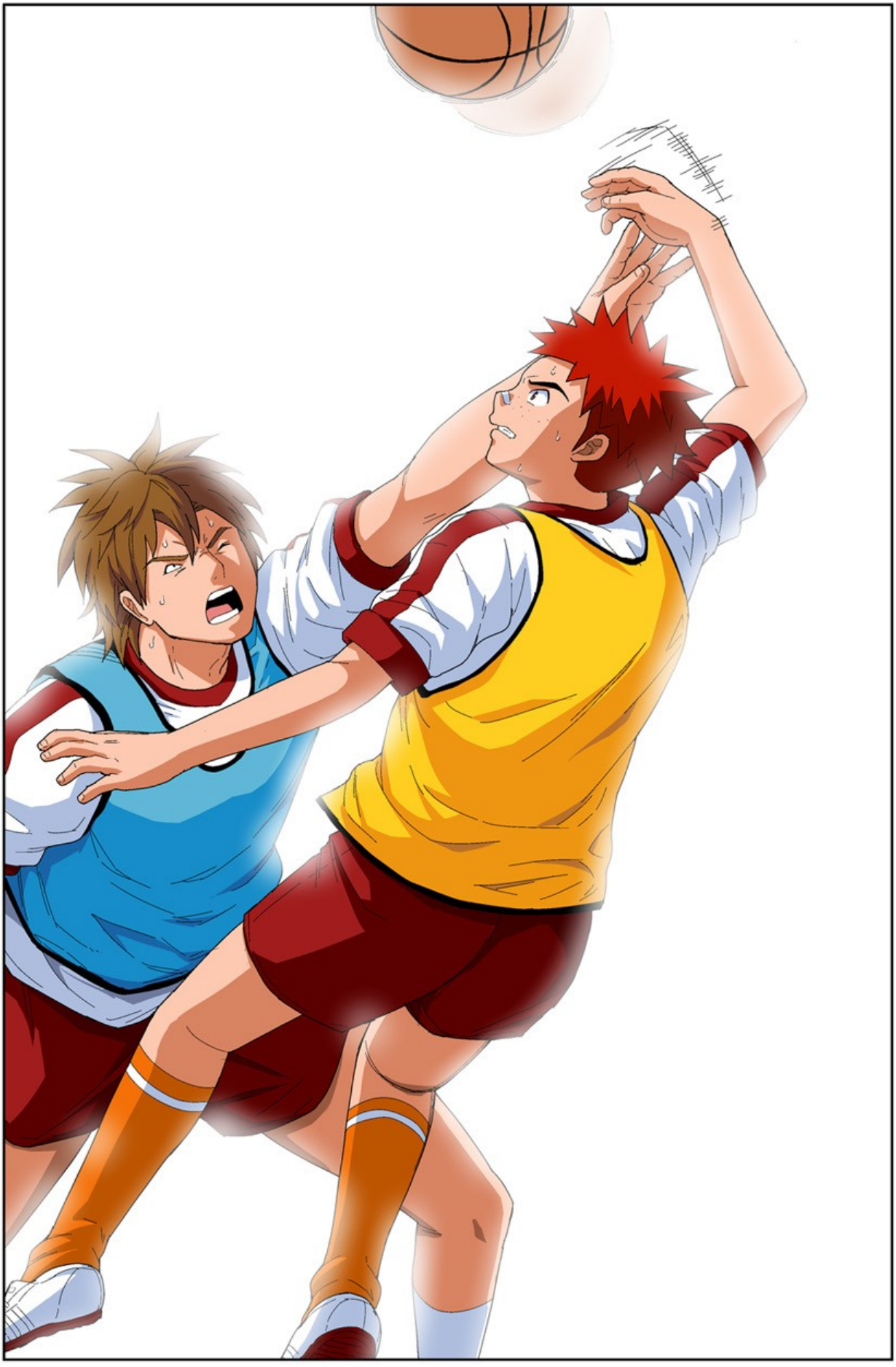

ヌウウウッ
サッカー部なんかニ
抜かせナイ!!
くっ
くそっ
ズオオオ
ダム
ダム
ダム


ピッ


ムムッ
くれっ柏戸!
ダ
ダ
ダ
はっ
はいっ


!?


えい!!
ピッ
ドンッ
くっ
キュ
キュキュ
ダッ




あぁ
あぁ
あぁ
ガッ
ゴッ
柏戸
ナイスパス♪
あ…
うん
ぱーしーん！
…
ドキ
ドキ
ドキ
じぃ〜ん

女子校に男一人!?

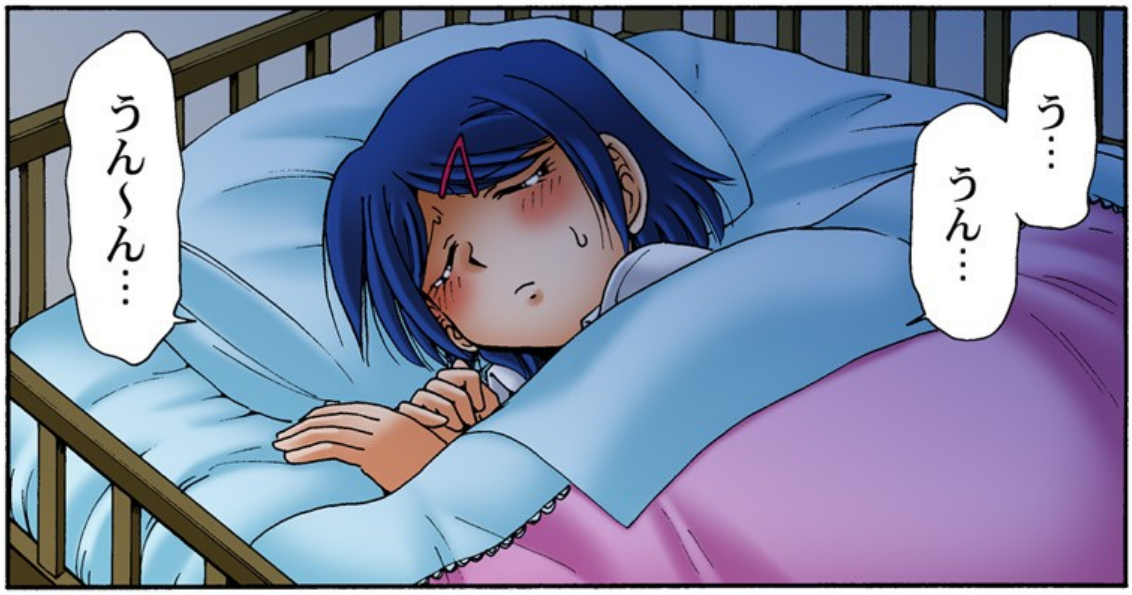


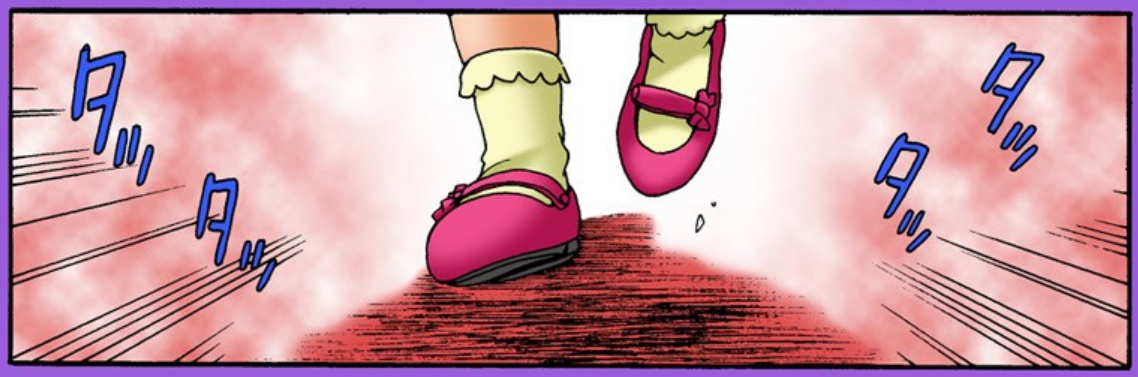
第90話

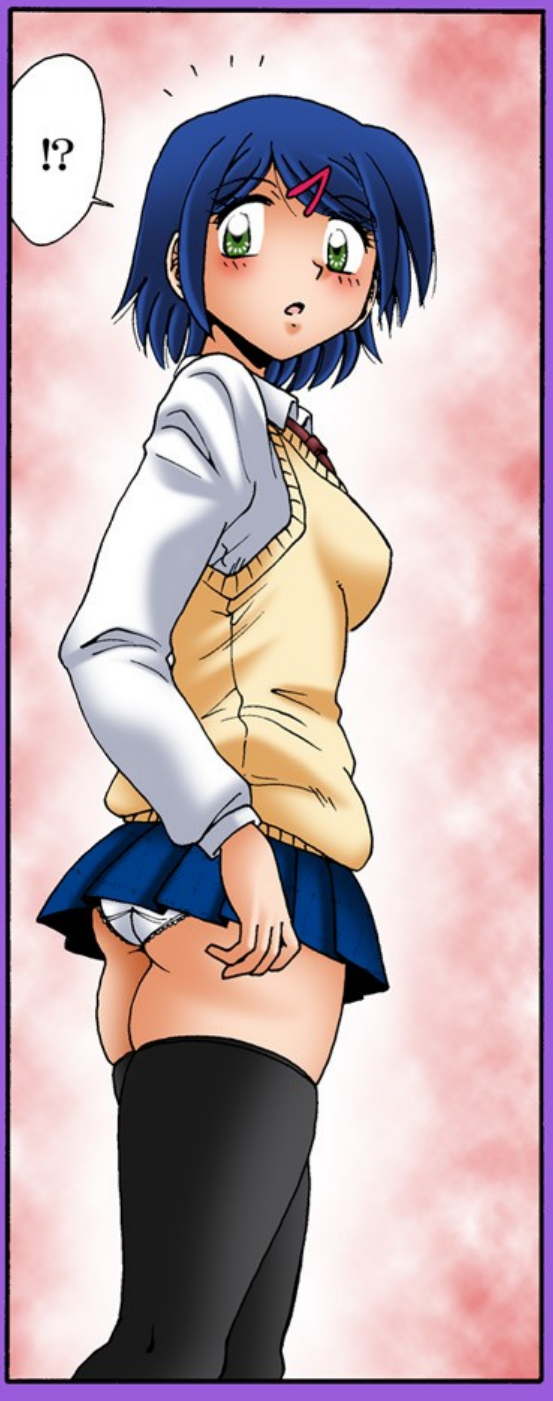
さかぐちしずか




ムニ
ムニ


う…
うん…
うん～ん…


タッ
タッ
タッ
タッ


!?

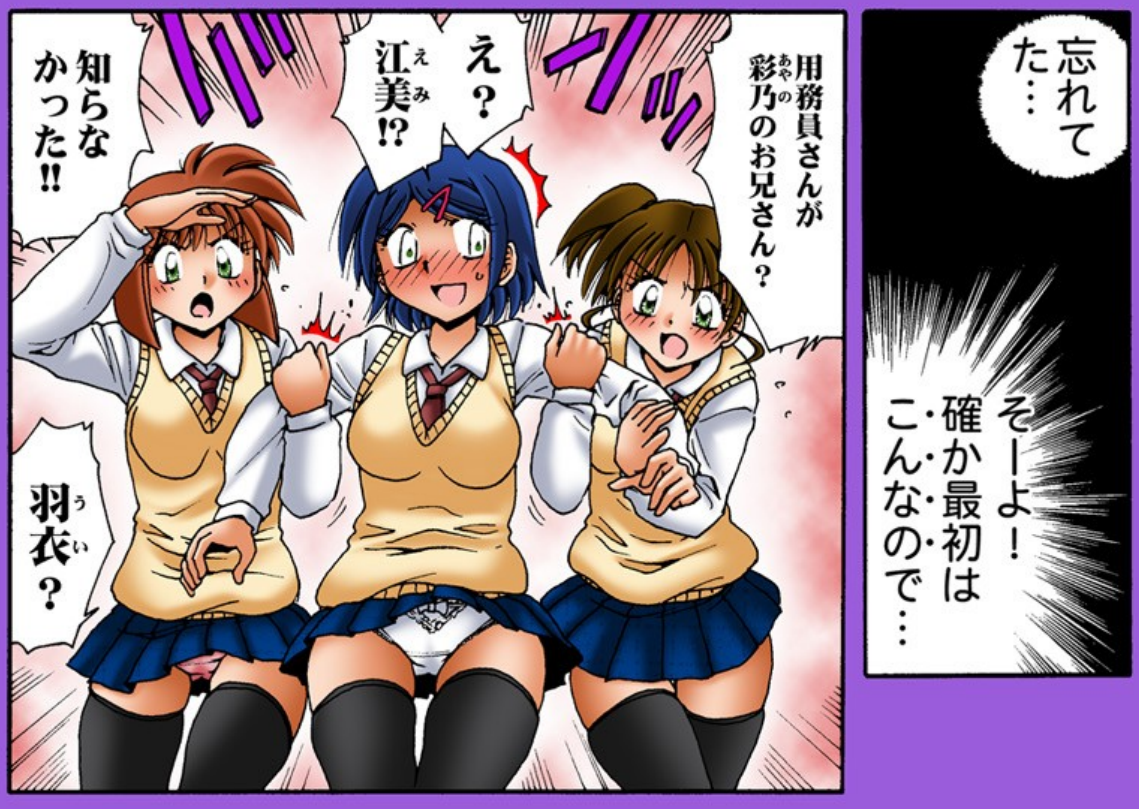

たっ
たっ
たっ
たっ…


私？
これ…小さい頃の…


いつ会える？


私のお兄ちゃん
ハハ…そうせかすな
そのうちだ
そのうち必ず…
お父さん…
——そうしてこのドアの向う…
その先にお兄ちゃんが…
ドクン…
ドクン…
ドクン…

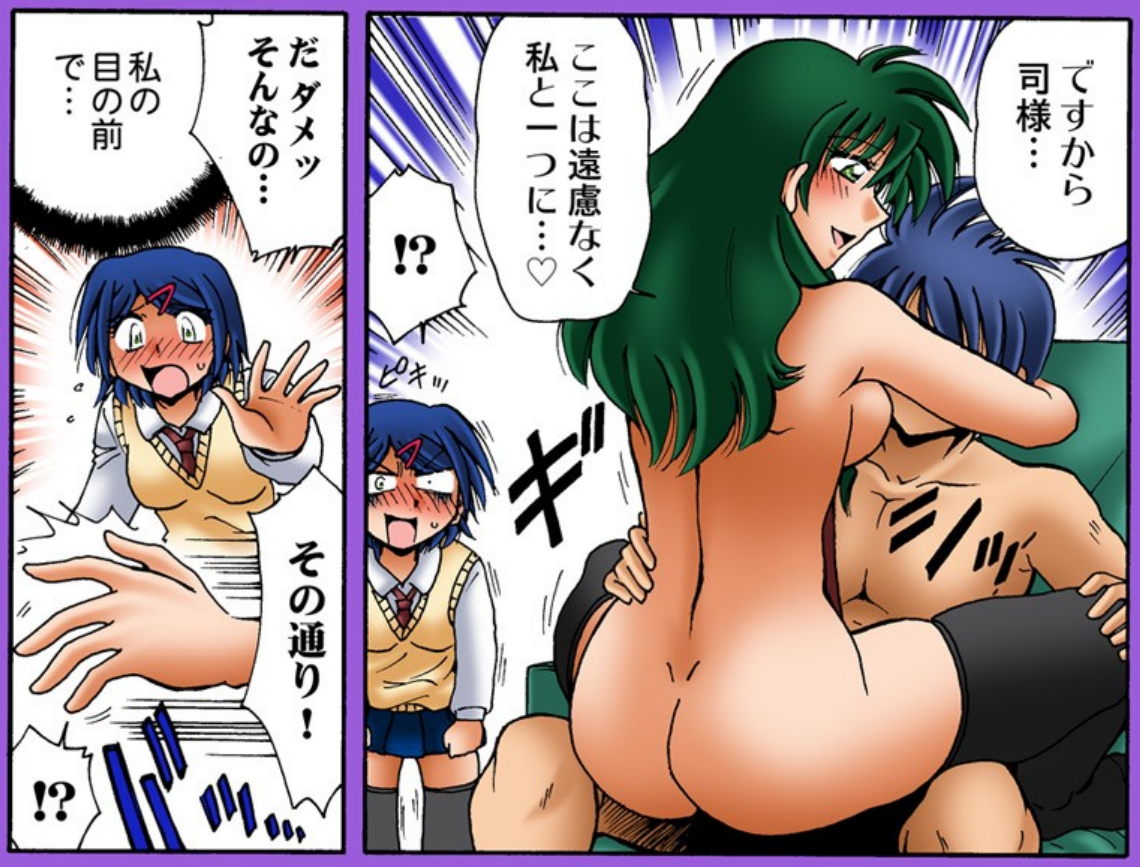



忘れてた…
そーよ！確か最初はこんなので…
用務員さんが彩乃のお兄さん？
え？
江美!?
知らなかった!!
羽衣？


これはきっと
運命の出会い♡
やさしく
してね
用務員
さんっ♡
ばあ
!?
彩乃も私のコト
お義姉(ねえ)さんって
呼んでいいから
♡
ちょ…
何言って
……
そうよ
羽衣っ!!


兄妹ならば
するコトは
ただ一つ…!!
彩乃♡
もわ
お兄
ちゃん♡
もわ
きゃーっ
もわ〜ん
江美っ！
その考えも
どーかと
思うっ!!


あれ？
でも
そのために
「妹」として
ここに住む事に
したんじゃない
の？
すっ
え!?
そーすれば
名目もたつし
もしかしたら
本当にそーなる
事も少しは
期待して…
もぞ
もぞ
もぞ
え…と
無いって…
別に私
そんな事
思ってなんか…
当然です！
緑子（みどりこ）さん!?
彼女は司（つかさ）様の妹！
したがって
そのような
不純な行為
想像だにしない
でしょう
あ…
うん…


ですから司様…
ここは遠慮なく私と一つに…♡
!?
ピキッ
ギ
ミシッ
だダメッそんなの…
私の目の前で…
その通り！
!?


用務員さんの一人占めは許さない!!
まだ他にも狙ってる娘は大勢いるんだから…
弥奈さんっ!?
ズイッ
所詮決めるのは用務員さん…
でもそれまでのチャンスは誰にだってあるんだから…
そうよそうよ！
!?


用務員さん
また私に
個人指導
お願ぃい♡
私にも
もっと色々
教えて下さい♡
私なら
いつでも相手
してやるぞ
足腰立たなく
なるまでな♡
ムリでも私が
たてちゃうん
だからぁ♡


たてる事なら
私も得意だよ♡
なんちゃって♡
お互い
スッキリ
しましょう♡
スゲーところを
見せてくれ！
覚悟して
下さい♡


用務員さぁ～ん♡
どわ
どわ
どわ
どわ
あああああ…


そりゃあ私…確かに妹として側に居るため自分の気持ちは押し込めようとしてきたケド…
でも…でも…だからってこんなの…!!


あ～あ彩乃どうする？
もたもたしてるとその内誰かに取られちゃうよ？
お兄ちゃん
!?


あ…
…や…

…ちゃんは…
お兄…ちゃんは…

その存在を知らされて…

そんな頃からずっと想って想って…想い続けて…

お兄ちゃんは…

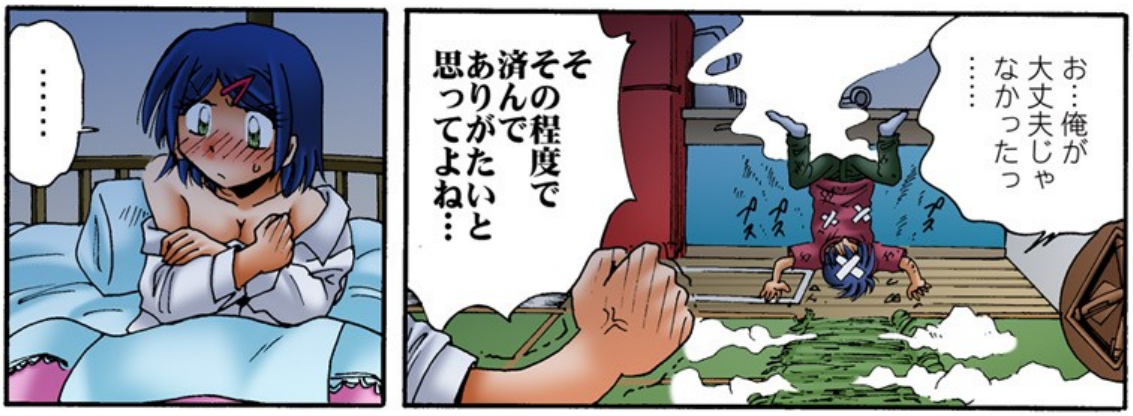
そして やっと…

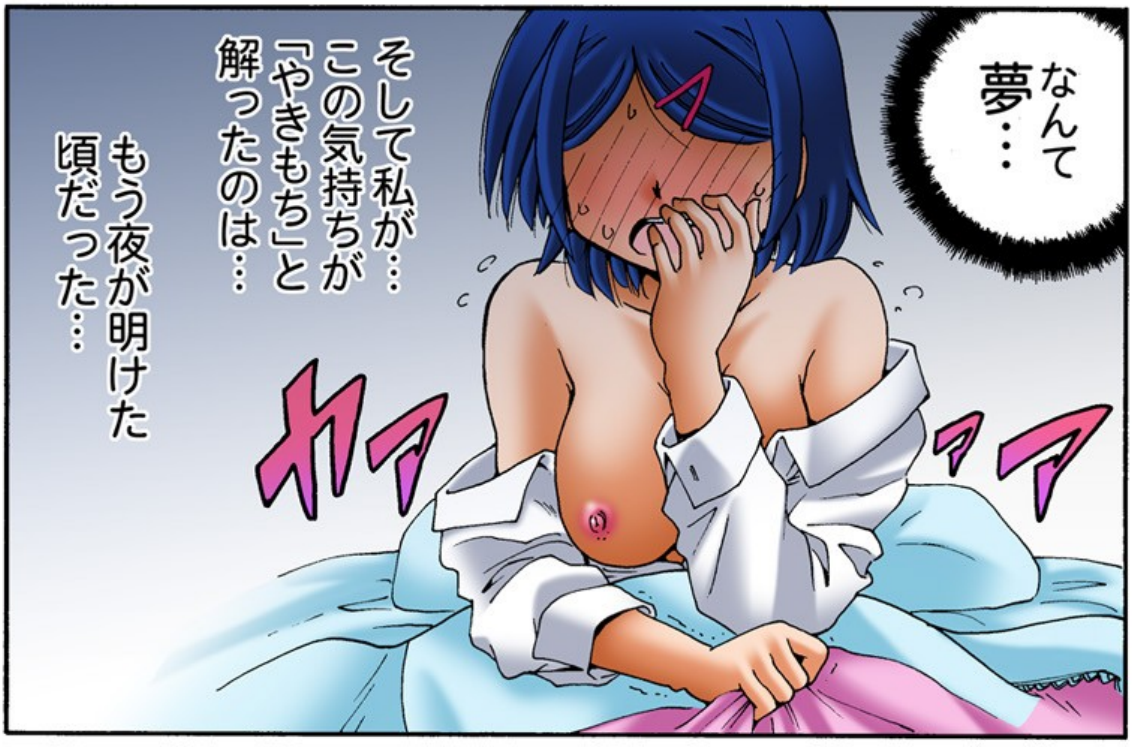
私だけのもンなんだからぁっ…!!




彩乃っ!!
!?
大丈夫か!?
すごくうなされてたぞ!?
あ…
そうだ夢…
心配してのぞいてくれたんだ…
お兄ぃ…


ポロン


お…俺が大丈夫じゃなかったっ……
そ
その程度で済んでありがたいと思ってよね…
……


なんて夢…
そして私が…この気持ちが「やきもち」と解ったのは…
もう夜が明けた頃だった…


尾山泰永
おやまやすなが
第67話
イケない初体験



いいだろォ～？
ちょっとオジさんに
つきあってよォっ

やあっ…
何なのォ変態ッ!!

そーです 私が
変態オジさんですっ
うひょひょひょ…

誰か
助けて
エッ

ちょっと
待て～ッ！

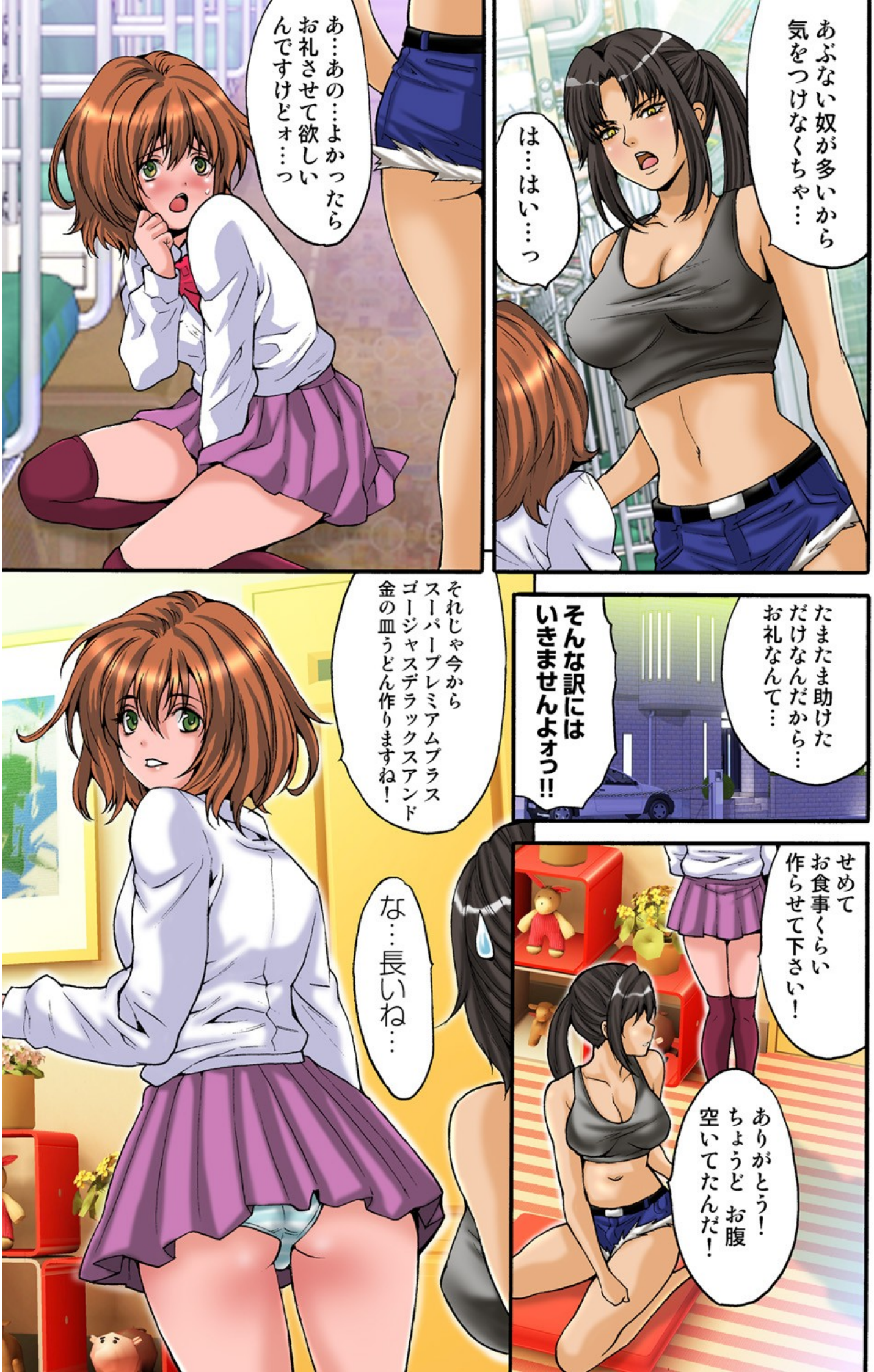
電車の中で
ナニして
んだッ!!

殺さないけど…
必殺
真空じゃないけど…
真空飛びヒザ蹴りッ!!

ぐぎゃあッ
顔面ッッ!?

あ…ありがとう
ございます
助かり
ましたぁ…っ

今日は
これで2回目よ
何て変態日和なの…


あぶない奴が多いから気をつけなくちゃ…
は…はい…っ
あ…あの…よかったらお礼させて欲しいんですけどォ…っ
たまたま助けただけなんだから…お礼なんて…
そんな訳にはいきませんよオっ!!
せめてお食事くらい作らせて下さい!
ありがとう! ちょうど お腹空いてたんだ!
それじゃ今からスーパープレミアムプラスゴージャスデラックスアンド金の皿うどん作りますね!
な…長いね…


とーっても美味しい…ってうあっ!?
あッ痛あっ!?
大丈夫!? 歩ちゃん…っ
やだあっ…スカートの中丸見え～ッ!?
そんな事よりケガしてないッ!?
女同士なんだから見られたって…ん!?
え…えぇ～ッ!? 歩ちゃんっ…何かめちゃモリマン!?
ち…違うんですっ!! これは…やだぁ見られたらムクムクしちゃうぅっ…


ああっ!?
な…何を…
歩ちゃん…男だったの!?
それにしても
何て大きい…っ
ブルッ
ブルッ
ぎゅっ
あ…ああっ…美鈴さん
そこ…ボク弱いんですっ
あ…っ
ごめん…こんなに
大きいの見たの初めて
だから…私…っ
はあっ…はあっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
んっ…はあッ
美鈴さんっ
ちょっ…んッ
んっ…はあっ
最近
すっかり
Hして
なかった
から…んッ
んっ…ふゥ…すごい
また大きくなって
きてるッ…
あっ…はあッ…
そんなに
しごかれたらっ
んッ…
ふゥッ…
こ…こんなに
大きいなんて…
歩ちゃんっ…私もォ
ガマンできないっ…んッ
んあッ…あッ
美鈴さんっ
そんなのッ…
ヒクヒク
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ


んっ…口の中でビクビクしてるゥッすごォいっ
んあッ
うあッ…あッ…ボクッ女の人にこんな事された事ないからっ
ああッ
こんな立派なモノを持ってるのにした事ないなんてッ…
んあッああんッだめエッ
美鈴さんッそれ気持ち良すぎますッ
んッ…
ああッ…激しすぎてッボクッ
あぁッ♡いっぱい出たぁッ♡
はあ…あッボク…ッ
こんなに精○出したの初めてですウッ…

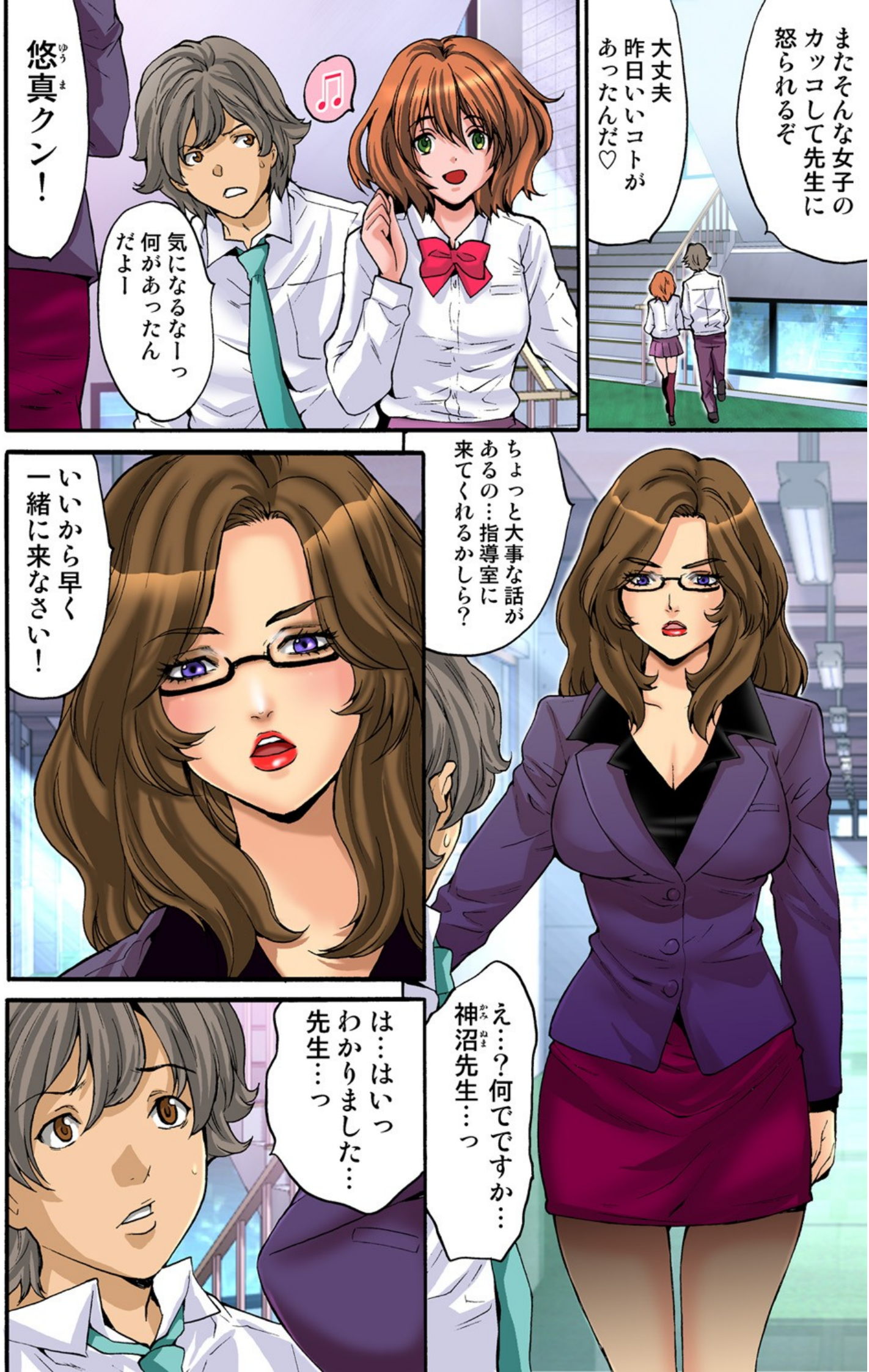

美鈴さんっ…
ボクにいきなり
こんな事して…
じゃあ今度は私のを
いじらせてあげる！
こ…これが本物の
女の人の…!?
んッ…プニプニして
やわらかいでしょ？
下着を取って
いじって
いいのよ？
ああっ…すごい
熱くて…ヌルヌル
してる…っ
そ…そこを…
舐めてくれる？
こ…ここを…
舐めるんですか？
んんッ
ああッ
そこォっ…
んんッ…すごい…
奥からいっぱい
ヌルヌルが出てくるッ
ああんッ
イイッ…
初めてなのに…
ピンポイントで
責めてくるッ
なんて…恐ろしい子…っ


んッ…
はあッ
んんッ
ぼこぉっ
ぼこぉっ
ぼこぉっ
あッ
そこォッ
んんッ!?
すごい腰が
ガクガクして
るゥ〜〜ッ!?
はあああんッ
イクゥ〜〜ッ
イッちゃうゥッ
ビトッ
ビトッ
ビトッ
ビトッ
美鈴さんを
見てたらボクの…
また大きく
なっちゃい
ましたよぉっ
それを…私の中に
入れてェッ…
あッ
はめっ
はめっ
はめっ
はめっ
はめっ
うあッ…あッ…あッ
入り口が熱くて
トロトロになってるゥッ
ぐぢゅっ
あッ


あ…ああっこんなに気持ちいい事があるなんて
はぁぁっ
はぁぁっ
はぁぁっ
あ…っ…はあんッ…そのまま…奥まで…全部入れてエッ…
ああんッ大きいっ…
ぐぢゅぐぢゅ
ぐぢゅぐぢゅ
あッ…美鈴さんのボクの…締めつけてッああッ…すごいッ
はああんッこすれるゥッ
ビトトッ
ビトトッ
ビトトッ
ぐぢゅぐぢゅ
ぐぢゅぐぢゅ
ああッすごォいっ…
ああッ…奥に当たるゥッんんッ
あッ
ああッ…あッ美鈴さんの中ッ気持ちいいですッ
わ…私もォッイイのォッ
はぁぁん
はぁぁん


私が上に乗って歩ちゃんを気持ち良くしてあげるッ
こっちの方が深く入るゥッ
あッ…はあッ…美鈴さんッうあッ
あッ
あッ…はあんッ中までパンパンッ
こすれてッすごいイイのォッ…
うあッあッ
歩ちゃんの…大きくてイイ所にガンガン当たるゥッ
あッ締まるゥッ
ああッ…腰使いが激しスギィおかしくなりそォっ


ボ…ボクッ…
また…出しちゃいそうですッ
イイわよォッ…
そのまま中にッ
出しちゃってエッ
あッ
あんッ
い…
いいんですかっ
ボ…ボクもォっ
はああんッ
すごォいっ
いっぱい精○が
出てるゥ～ッ♡
うあッ…あッ
あああッ…


またそんな女子のカッコして先生に怒られるぞ
大丈夫 昨日いいコトがあったんだ♡
悠真クン！
気になるなーっ 何があったんだよー
ちょっと大事な話があるの…指導室に来てくれるかしら？
え…？何でですか…神沼先生…っ
いいから早く一緒に来なさい！
は…はいっ わかりました…先生…っ

リアル女体VSアキバ君

紫色雁行



第37話


よう
久しぶりだな
イトコ同士なのに
随分ご無沙汰
だったじゃないか
しかしオマエ
今頃ノコノコと
何しに来たん
だよ？
龍人
か
亀吉…!?
お
お前が
呼ばれたって
ことは…やっぱり
相手はかなり
ヤバイ連中
だったのか？
ぜーんぜん
正直ザコすぎて
拍子抜けしたよ
そ
そうか…
でも皆
無事でよかったよ
ふーん
やっぱり
そうなんだ


あのメガネの子
ケンカの実力では相当
一目置かれてるみたいね…
実際すごく
強かったし
龍人クン 清虎クンのイトコで
鬼瓦連合次期総長
序列第3位の候補
鬼瓦亀吉(かめよし)…か
要チェック
だわ!!
memo
あ
あれ!?
ねねさんも
一緒だったん
ですか!?
うぅん
囮役でね
オトリ!?
な何でそんな
危険なマネを
うっさいわね
危ない橋を
渡らない
ジャーナリストが
いると思う?
それより
アンタこそ
何しに
来たのよ?
ボソ
ボソ


ぼ 僕
店や嬢達のこと
護りたかったんです…!!
僕に何か
できることはないか
いてもたってもいられなくて…
フン
いい心意気だな
少しは成長したじゃねぇかよ
キモオタ
清虎…
だが
亀吉と
違って…
オメー一人が
来たくらい
じゃ
たいした戦力には
なンねえんだヨ――
!?


だ大丈夫かオマエ!?
清虎さん何もこんなオタいたぶらなくても……
気にするなそいつも古いなじみだ
それよりギャングのリーダー格何人かトランクにつめとけよ
はいっ
いいか?キモオタ
俺としたサシの勝負にマグレ勝ちしたくらいで調子に乗るなよ?
現状を分析する必要があるが
裏でギャングを操ってる奴がいるのは間違いない
そんな連中から店を護りたいって言うんなら
お前もせめてカチコミができるくらいの軍団でも作っておけ
それができれば認めてやんヨ
オメーのことをな
軍団…?

なるほどね
清虎クンの配下の
子達って
龍人クンや
メガネの子を
知らなかった所を
みると

鬼瓦組
子飼いの極道じゃ
ないみたいね

先に撤収
してろ！

ウスッ!!

街の不良や
暴走族くずれ？
おそらくは
そういうメンバーで
編成された部隊

ブォォォン
ブォォォン
ブォォォン

さしずめ
極道界のしがらみから
縛られずに行動できる
遊撃部隊って
ところかしら

そうそう
おい
龍人

オマエ最近
裏社会のシノギに
手をつけ始めた
そうじゃないか

ウチのオヤジや
執行部若頭衆も
喜んでたぜ？

本家のボンが
ようやく極道の自覚
持ってくれたってさ


だがオレは
オマエなんか
まだまだ
認めちゃいない
多少のリスクを
払おうとも
次期総長に
ふさわしいのは断然
清虎の方だ
コイツは
序列を重んじて
身を引くって
言ってるがな
なんなら
序列3位のオレが
名乗りを上げても
いいんだぜ？
今のオマエ
なんかより
ずっとマシ
だろうから
か 勝手に
しろよ…
僕は…極道なんか
興味ないんだから
フン
強情な所は
評価してやるよ
ウィーイーイーン
ゴロロロ…


ななな何ですか
ここは!?
何って
ラブホじゃ
ないの
いいからホラ
入って入って♡
料金表
ご休憩
お泊り
かわいそうな
龍人クン
せっかく
勇気出して
来たってのに
味方に
とっちめられて
お説教
されちゃって
……って
ねねさん!?
今日は
お姉さんが
たーっぷり
Hなコトして
なぐさめて
あげるからね♡
プルン♡
だから何でそう
なるんだよ
――!!!


さ
さては
イロイロあった
反動で発情した
下半身を
僕で鎮めようって
ハラなんじゃ…
ギクッ
図星ですか!?
僕 今日は
落ち込んでる
んだから
放っておいて
下さいよ!!
むかっ
えっ
うわっ!?
ぱっ
あ〜〜っ
もう
メンドくさい
子ねっ!!
これでどう!?


んっ
ちゅっ
んんっ
ぷはっ
どう？
頑張ったわんこにご褒美の本気ベロチュー
はっ♡
ん――っ
ちゅっ
んっ…
ちゅくっ
感謝しなさいよね？
泡姫にとってベロチューってのはよっぽど気に入った相手にしかしてあげないモノなんだから
それにさ
嫌なコトがあって傷ついた男の人を癒してあげるのも泡姫のお仕事
だからね？…


ん…やっぱり
ねねさん
発情してるん
ですね
はあっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
今日のねねさん
すごく激しい…
ぱんっ♡
はっ
ぬぐっ♡


はっん♡
バカね
アンタもそう
じゃない
いつもより
積極的…♡
あっ♡
パンッ♡
パンッ♡
パンッ♡
はっ♡


龍人クン♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
んっ♡
んっ♡
ぬぢっ♡
ぱんっ♡
んっ…
いいわ♡
オ○ンコ
気持ちいい
わよっ♡
うう…
ねねさん
僕…もう
パンッ♡
はあっ♡
パンッ♡
はっ♡
あ
あたしも…
来てっ…
龍人クン
い
一緒に…
パンッ♡


ドプッ♡
ビクッ!
ビュッ!
ドプッ!
ビクン!
は――
気持ち
よかった♡
結局5回も
しちゃった
わね♡
プハー♡
つや
つや
フラッ…
それは
よかったけど…
僕もう
クタクタだよ
……
でも…
なんか
励まされちゃったな…
これが泡姫のチカラなのか…
今日くらいは
ねねさんに感謝しな…
うーっ
でも あと
もう一回ぐらい
やりたいかなァ
どう?
えっ!?
もう
寝ましょうよ!!
えーっ
いいじゃない
あと一回だけ
カンベンして
下さいっ!!

リアル女体VSアキバ君

紫色雁行

第38話





AV女優
椎名みくるる？

知ってますよ
去年
いやし系妹キャラで
大ブレイクしてた人
ですよね？

あきば系
おんなのこ

¥2,980-

妹系美少女アイドルみくるるが
可愛い顔して大胆に
挿入からごっくんまで！

椎名みくるる
DVD特典映像収録

けど人気絶頂で
突然引退しちゃった
とか…

へ――っ
さすが男の子
詳しいじゃない

そりゃあ
ネットでも結構
話題になって
ましたし

でも
その人が何か？

ほらコレ

履歴書？

履歴書 平成
学歴


履歴書 平成
学歴
えっ
ここの人
ウチで
働くんですか!?
まあ
その前に
これから面接が
あるんだけどね
もう店に
来てるんだ…
で
アンタにも立ち会って
ほしいのよ
なんたって
店長なんだし

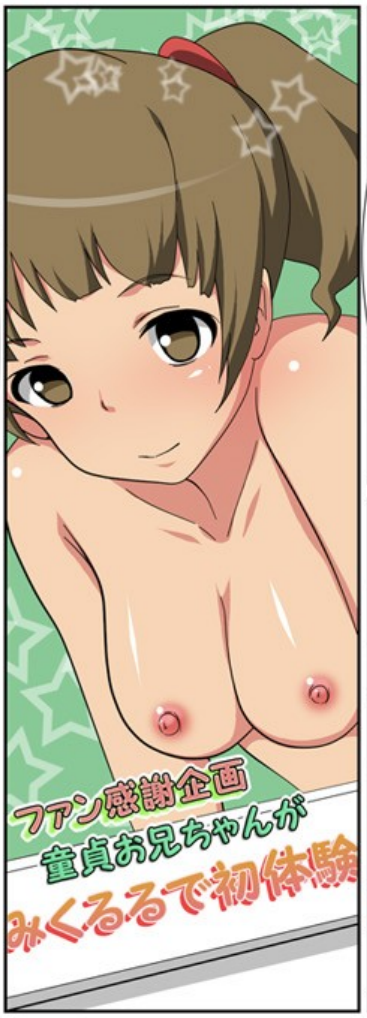
私
ある企画が
きっかけで

ソープでお仕事
したいって
思ったんです

面接
ックすること。

それが
これなんです

へー
DVD？



プロの男優さんとの
カラミもいいんですけど

ファンの人達と
もっと直接
ふれあいたくて…

ふーん

業界スレ
してなくて
感じのいい人
じゃないか

でも…
妹系ねぇ…

ふふっ
目的意識が高くて
いいじゃない

じゃあ
ついでだし
DVDも見て
みましょうか？

えっここで
ですか!?

な何か
恥ずかしいですっ

テレなくても
いいじゃない

私も似たような
仕事してる
わけだし

現在
妹系キャラで
大ブレイク中の
みくるるちゃん
だけど

聞くところに
よると
オドオド系の
男の子が大好物
なんだって？

はいっ☆
みくるるって結構
オタクな女の子なので

きゃるるんっ♪

なかでも
アニメやゲームが大好きな
アキバ系のお兄ちゃんだと

きゅぴっ♪

きゅぴっ♪

みくるる
はきゅーん☆って
なっちゃうんですぅ!!

あ
あの…私
妹モードのスイッチ
入っちゃうと
こうなるんです…

今日は
みくるるちゃんで
初体験をしたい
お兄ちゃんが
来てくれたけど

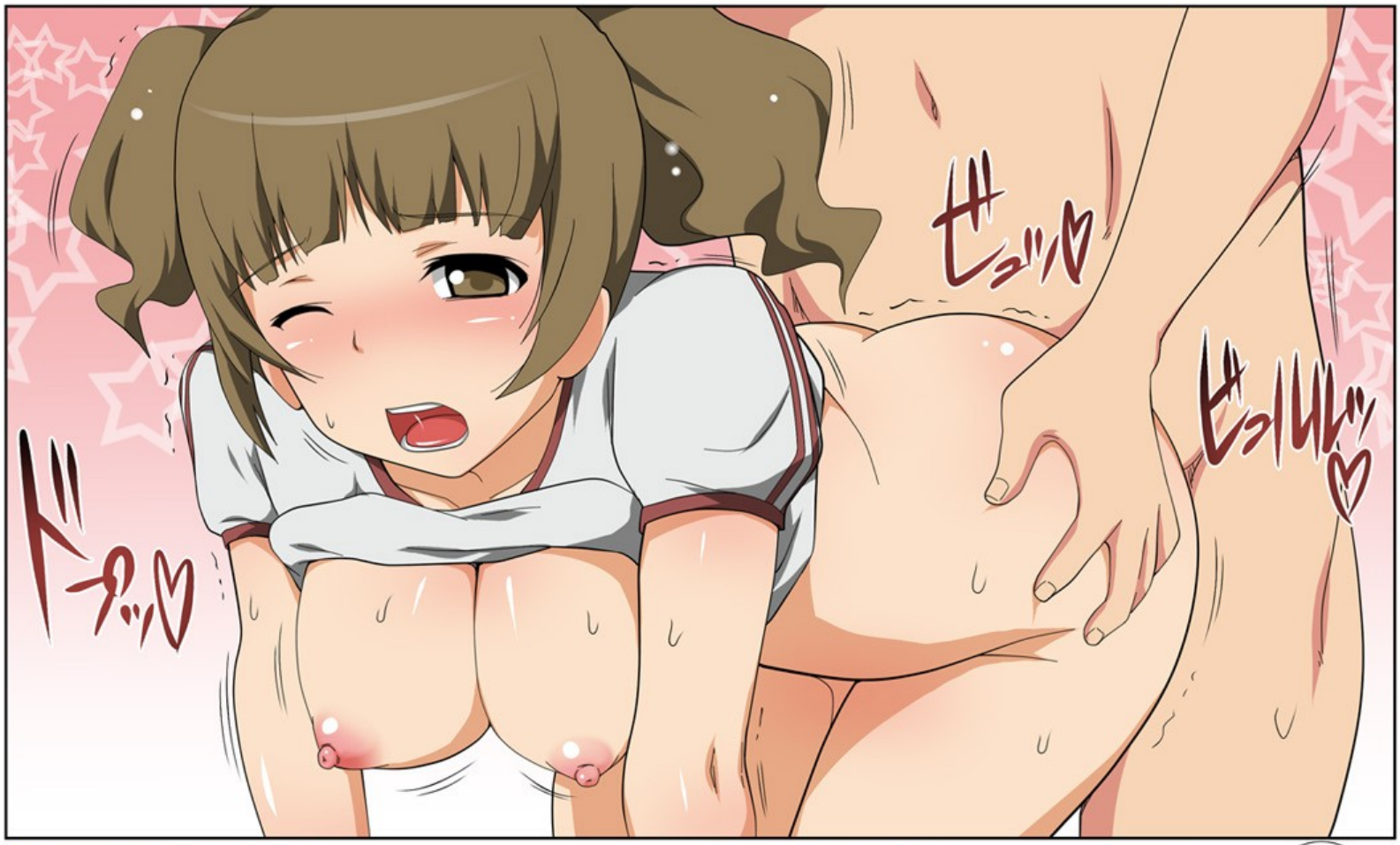
はい
よろしく
お願い
します♡


お兄ちゃんってば本当エッチなんだね？
ホラおち○ちんがこんなに…♡
ぺろっ♡
ちゅっ♡
んっ♡
ちゅぱっ♡
じゅぽ♡
ちゅぱっ♡
だ だってみくるるちゃんがブルマ体操服姿でフェ○してくれてるから


お俺…もうっ
きゃんっ♡もう♡ダメだってば♡
ぺろん♡


うん…じゃあ
みくるるが
はーっ♡
お兄ちゃんの
初めての相手に
なってあげるね♡
ハァハァ
みくるるちゃんの
ここ
もうトロトロだ
ぢゅる♡
ぢゅぱっ♡
ぜクッ♡
ブルッ
俺…
入れたいよ
はっ♡
う
うぁあっ…
入る…!!
ズプッ♡
あっ
あぁっん♡
すご…い♡
パンッ♡
ぬっ♡
パンッ♡
パンッ♡
お兄ちゃんの
オチ○チンが
みくるるの中に
入ってるよ♡


あっ
すごい…♡
はっ♡
お兄ちゃん
気持ちいい
よう♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
お俺…あこがれの
みくるるちゃんと
セッ○スしてるんだね！
はっ♡
んっ♡
そ そうだよ
私達
つながってるの
ぱんっ♡
ぱんっ♡
パンッ♡
お 俺もう
イっちゃう
わ 私も…
お兄ちゃん…
一緒に!!
ぱんっ♡


ゼッハ♡
ビッハッハ♡
ドーダッハ♡


どうだった？
みくるるちゃんの
感想は？
はい
すごかったです
最高の思い出に
なりました


あ あの次は
このコスプレで
……


うん
お兄ちゃんが満足してくれるまで
みくるる
頑張るから♡


た
他人サマの
前で
自分のAV
見るのって
恥ずかしいですね
かーっ
まあ事前の
性病検診も
シロだったし
早速
明日からでも
シフトに
ねぇ
店長？
……って
ビキッ!
ちょっとアンタ
何 居眠り
してんの!?
はっ
すすす
すいませんっ
ほ
ほら
僕 正直
あんまり妹系って
興味ないというか
どっちかというと
お姉さん派だし…
!?


こお――らあっ
アンタ店長でしょ
たるんでんじゃ
ないの!?
ひいい…ご
ごめんなさい
…!
あのぅ…
極楽湯の
店長さんって
あの若い方
なんですか?
はい
ウチの店長は
あの方ですよ
……
その……
アキバ系ですから
みくるるさんとも
気が合うかも
そ
そうでしたか
……店長さんなのに…
お仕事中に
居眠りしちゃう
オタクでダメな
男の子……
ボッ
私って
そういうタイプに
すっごく萌えちゃうん
ですよね……
ボッ
……
……
?
そう……
私の本性は
ダメ兄萌えな
女の子…!!
キュン♡
キュン♡

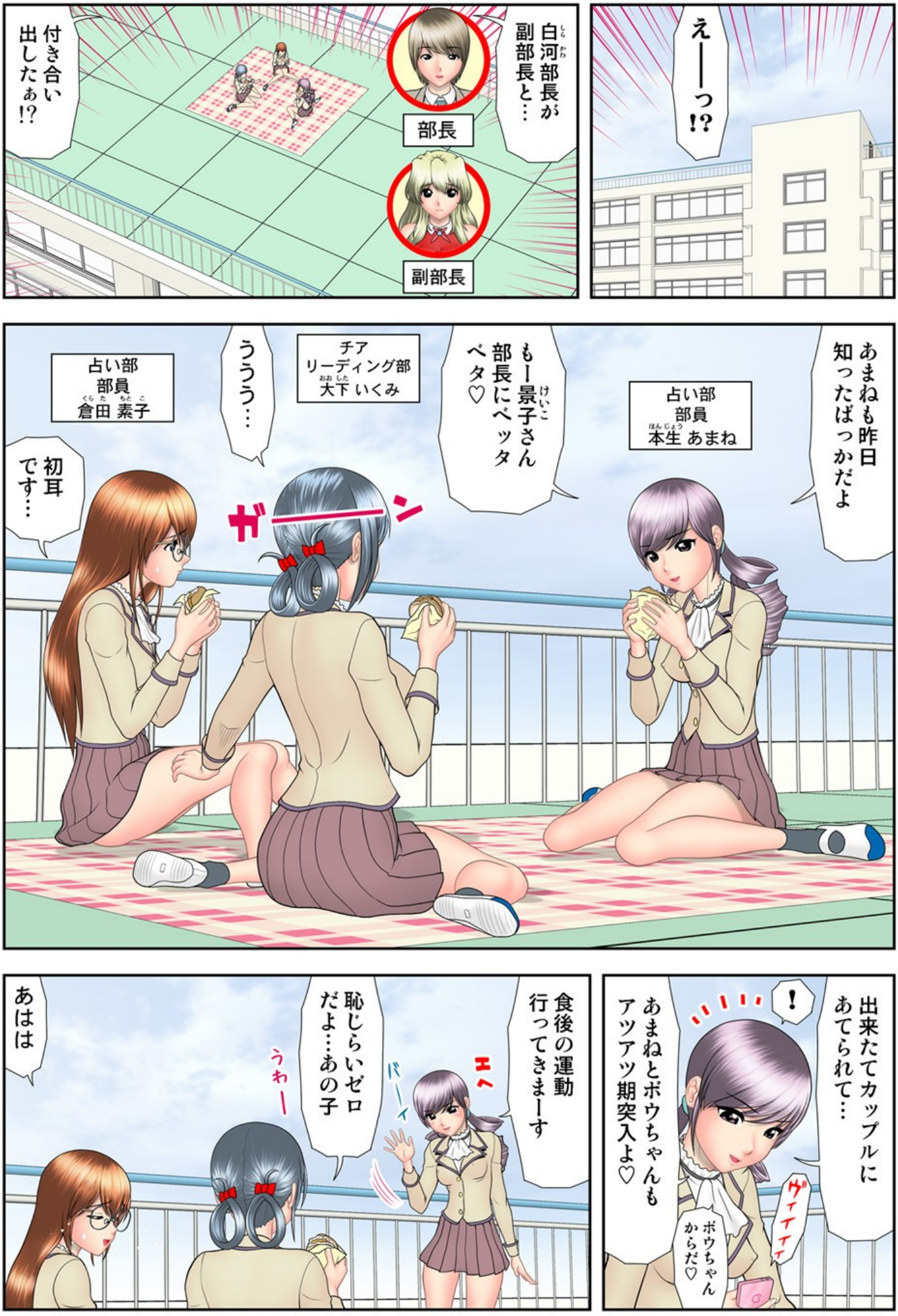

ったくアンタ
こんなカワイイ女の子と
Hできるんだから
もっと喜びなさいよね？
へ？
どういうこと？
どういうも
こういうも…
新人泡姫に
店のサービス内容を
指導するのは
店長の役割じゃ
ないですか
ムムム 無理だよ
僕に女の子を指導
しろだなんて…!!
あの人……オタクで
そのうえ女の子が苦手だ
なんて…
ぽわわ♡
なんか私の
理想的な
お兄ちゃん…？
大丈夫だよ？
みくるるが
頑張って……
大好きな
お兄ちゃんを
？
一人前にして
あげる……♡
ぎゅっ
？

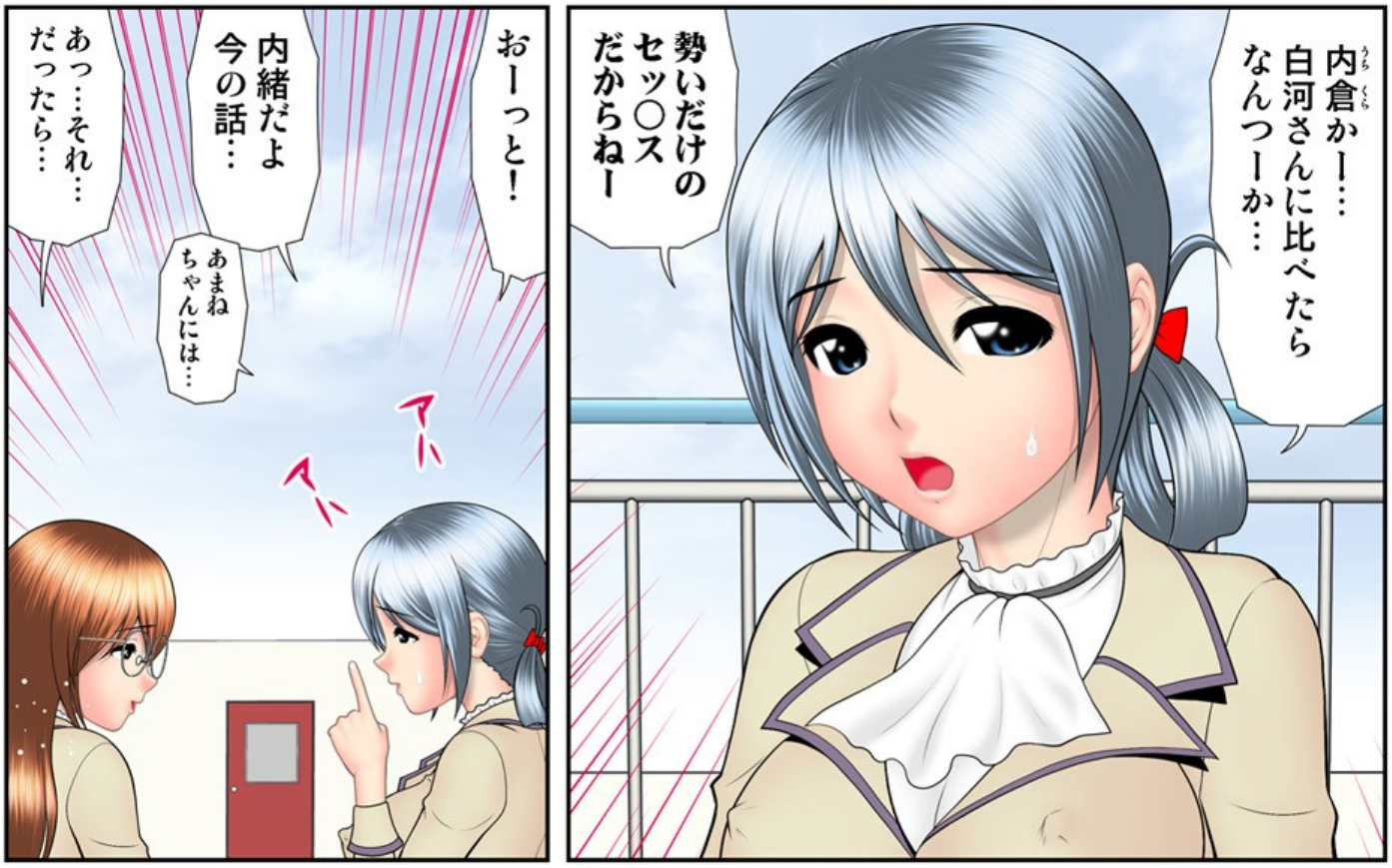
ヴァージンあげちゃう

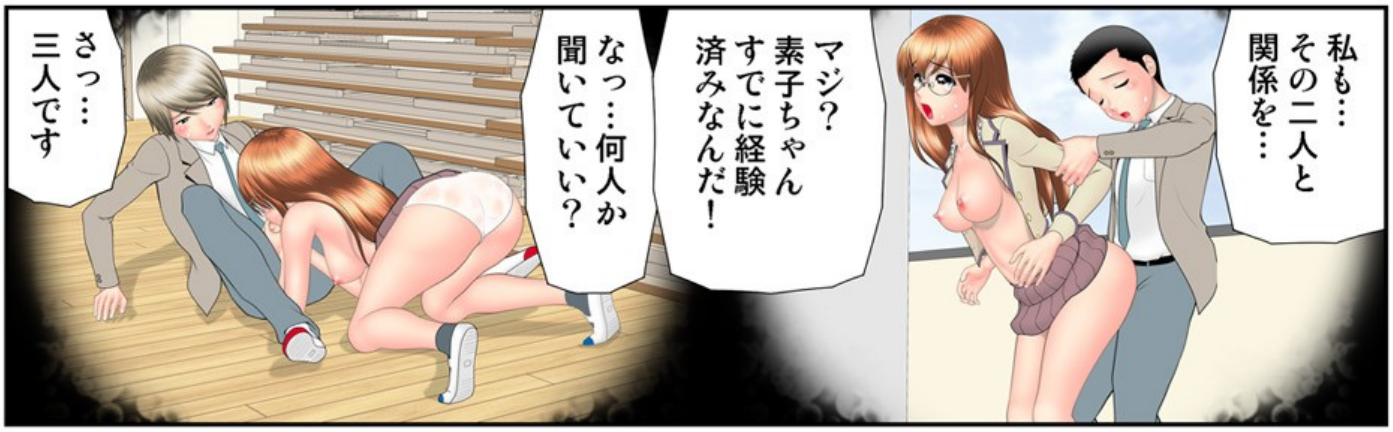
第58話

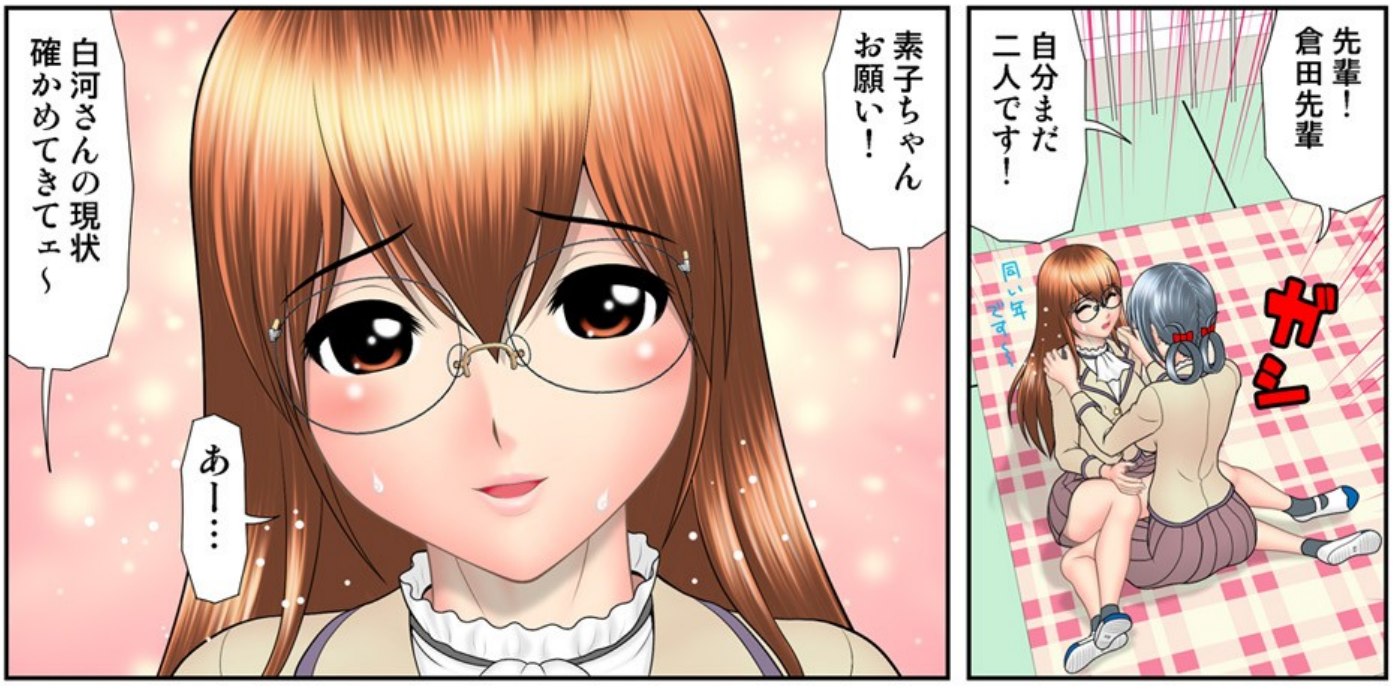


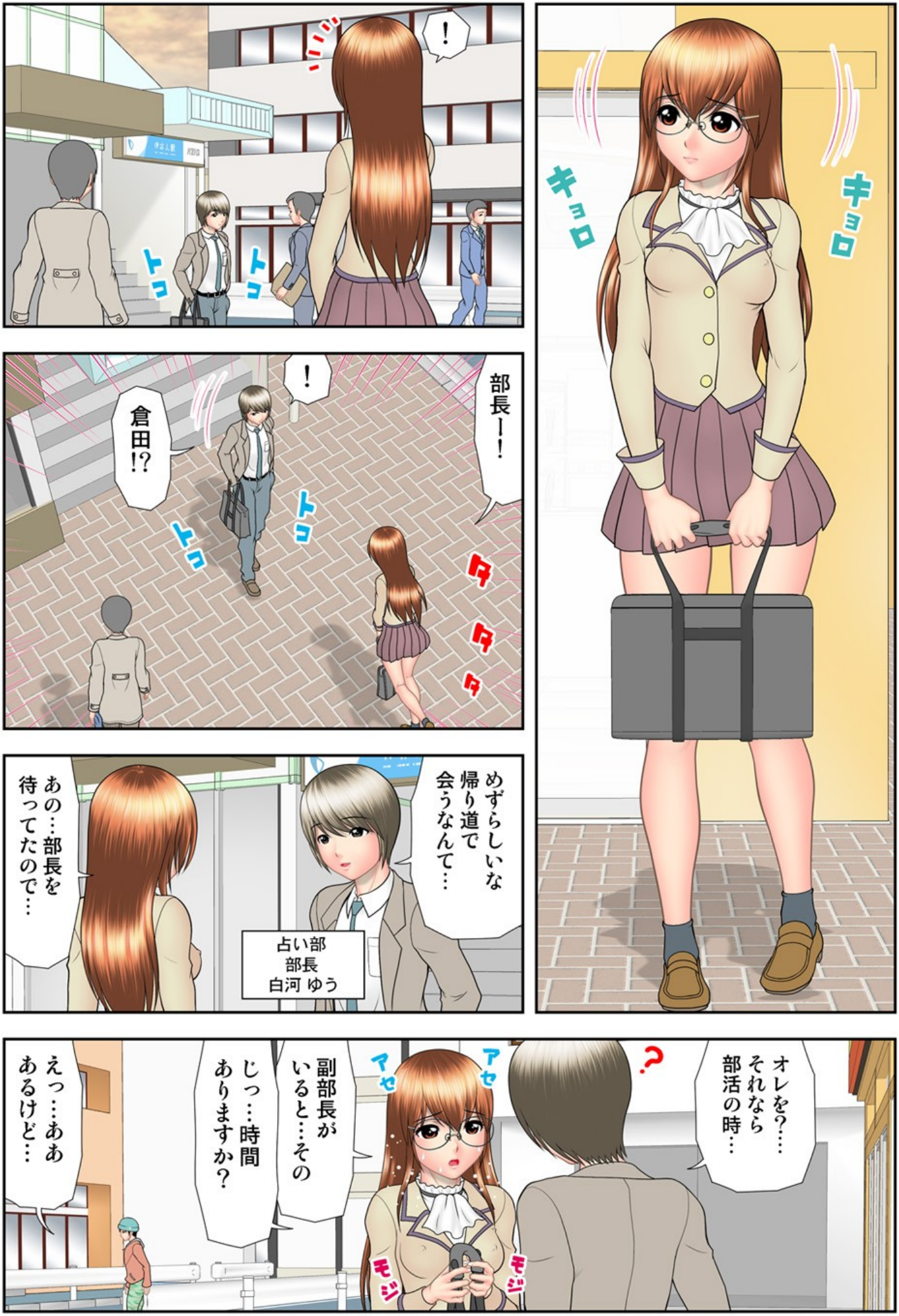
栗本重治

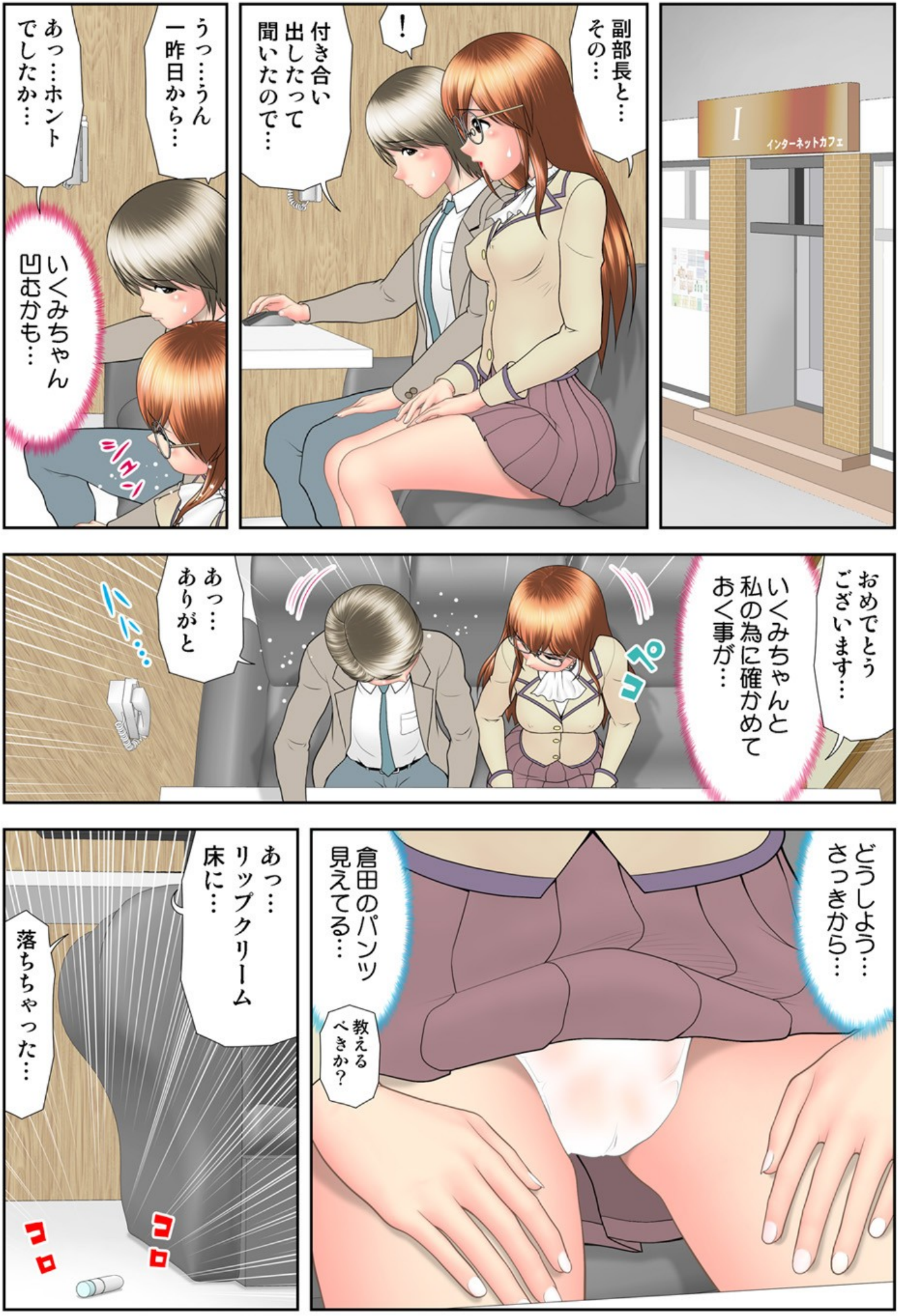

え――っ!?
白河部長が副部長と…
部長
副部長
付き合い出したぁ!?
あまねも昨日知ったばっかだよ
占い部 部員 本生 あまね
もー景子さん部長にベッタベタ♡
チア リーディング部 大下 いくみ
ううう…
占い部 部員 倉田 素子
初耳です…
ガーーーン
出来たてカップルにあてられて…
！
ヴァァァ
ボウちゃんからだ♡
あまねとボウちゃんもアツアツ期突入よ♡
食後の運動行ってきまーす
エヘ
バーイ
うわー
恥じらいゼロだよ…あの子
あはは

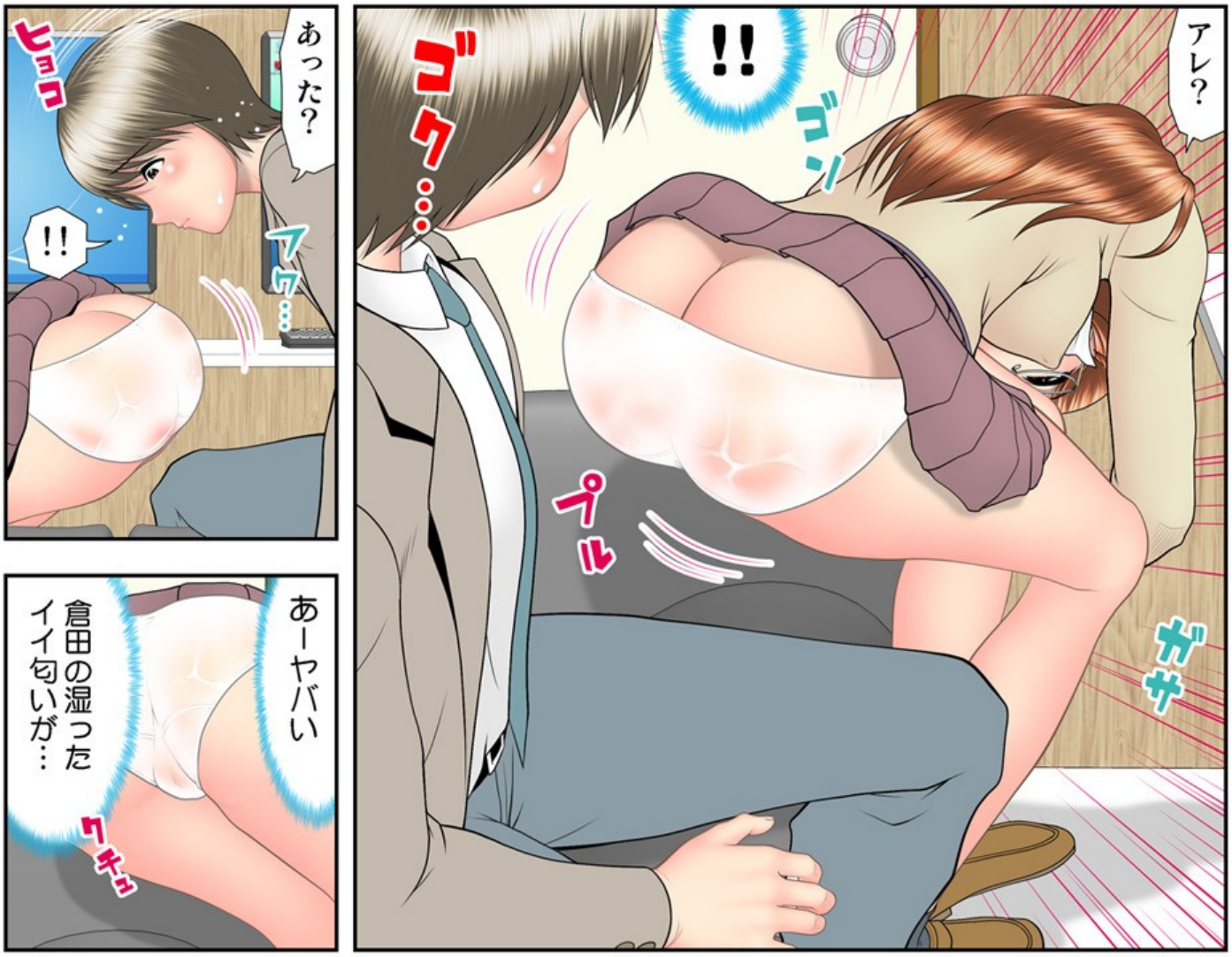

内倉(うちくら)かー…
白河さんに比べたら
なんつーか…
勢いだけの
セッ○ス
だからねー
おーっと！
内緒だよ
今の話…
あまね
ちゃんには…
あっ…それ…
だったら…

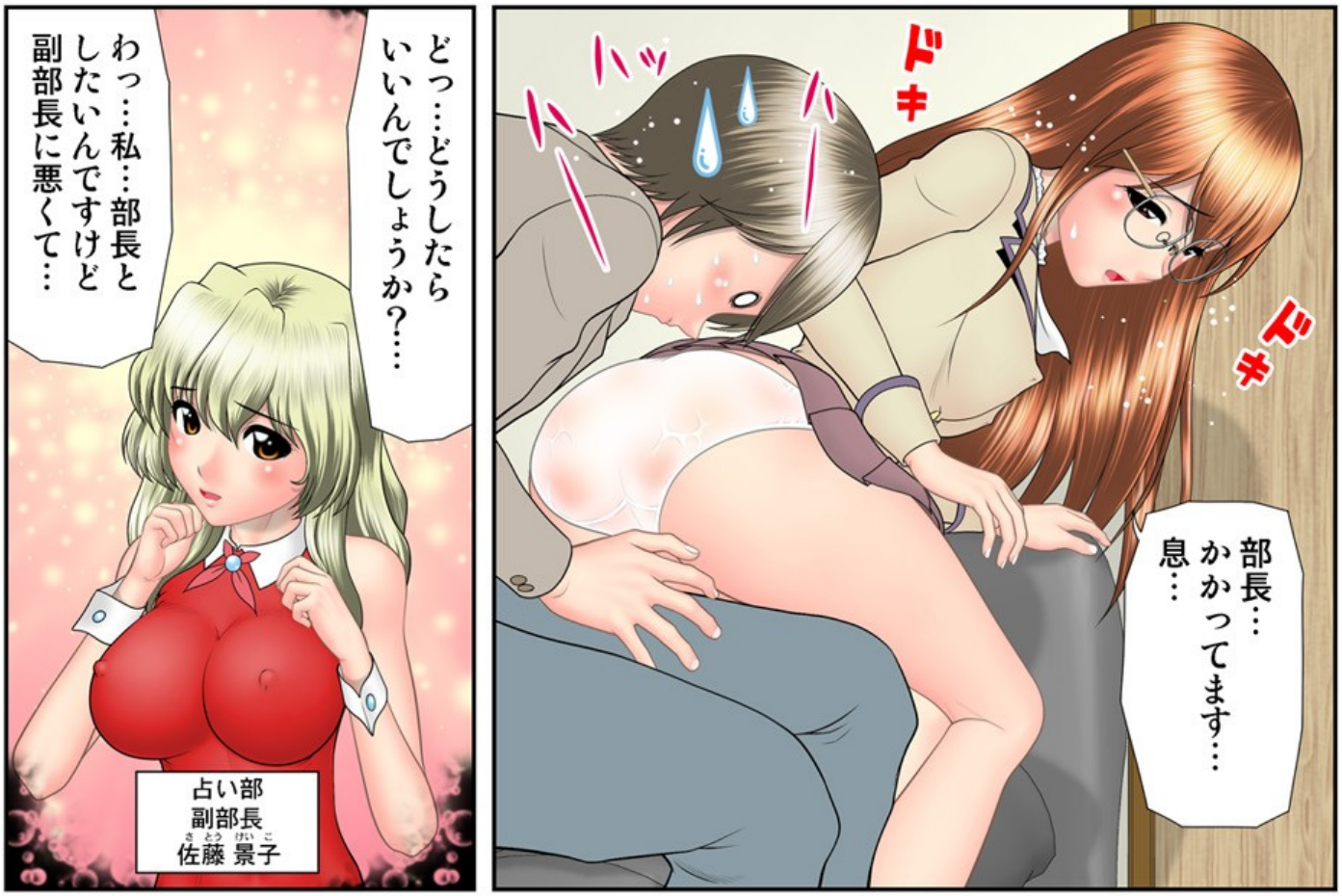

私も…
その二人と
関係を…
マジ？
素子ちゃん
すでに経験
済みなんだ！
なっ…何人か
聞いていい？
さっ…
三人です


先輩！
倉田先輩
自分まだ
二人です！
ガシ
同い年
です！
素子ちゃん
お願い！
あー…
白河さんの現状
確かめてきてェ～


キョロ
キョロ
！
ニヤ
トコ
トコ
！
倉田!?
部長ー!
トコ
トコ
タタタ
めずらしいな
帰り道で
会うなんて…
占い部
部長
白河 ゆう
あの…部長を
待ってたので…
オレを?…
それなら
部活の時…
？
アセ
アセ
副部長が
いると…その
じっ…時間
ありますか?
モジ
モジ
えっ…ああ
あるけど…


インターネットカフェ
副部長と…その…
！
付き合い出したって聞いたので…
うっ…うん一昨日から…
あっ…ホントでしたか…
いくみちゃん凹むかも…
おめでとうございます…
いくみちゃんと私の為に確かめておく事が…
コッ
あっ…ありがと
にに…
どうしよう…さっきから…
倉田のパンツ見えてる…
教えるべきか？
あっ…リップクリーム床に…
落ちちゃった…
コロ
コロ

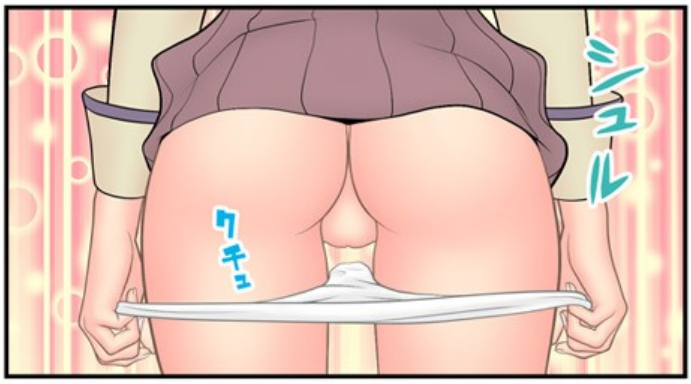

アレ？
!!
ゴン
ゴク…
ガサ
プル
あった？
!!
ヒョコ
フワ…
あーヤバい
倉田の湿ったイイ匂いが…
クチュ


ドキ
ハッ
ハッ
ドキ
部長…かかってます…息…
どっ…どうしたらいいんでしょうか？…
わっ…私…部長としたいんですけど副部長に悪くて…
占い部
副部長
佐藤 景子

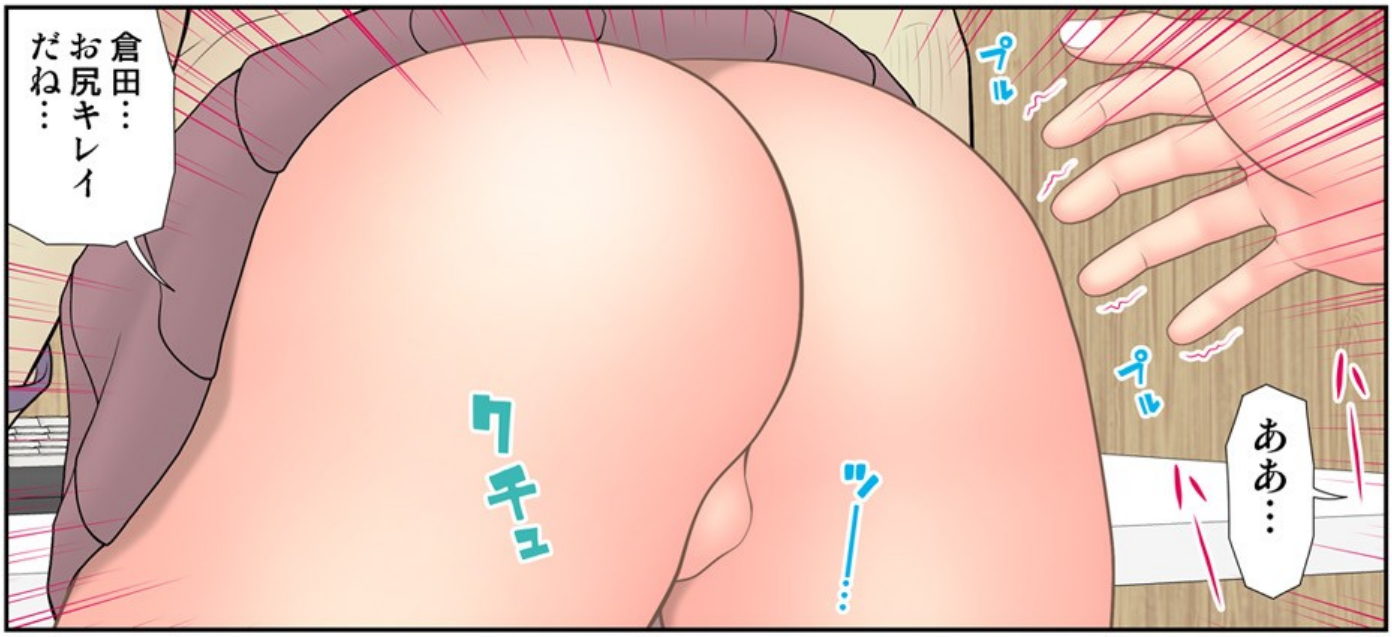

オッ…オレもすごく…したいん…だけど…
ギュウウ～
あっ
佐藤のコト考えると…
ビク

じゃ…じゃあ…
ドキ
ドキ
みんなに内緒で…


しっ…しちゃいましょうか？…
ドキ
ドキ
エッ…エッチな事
シュル
シュル


シュル
クチュ

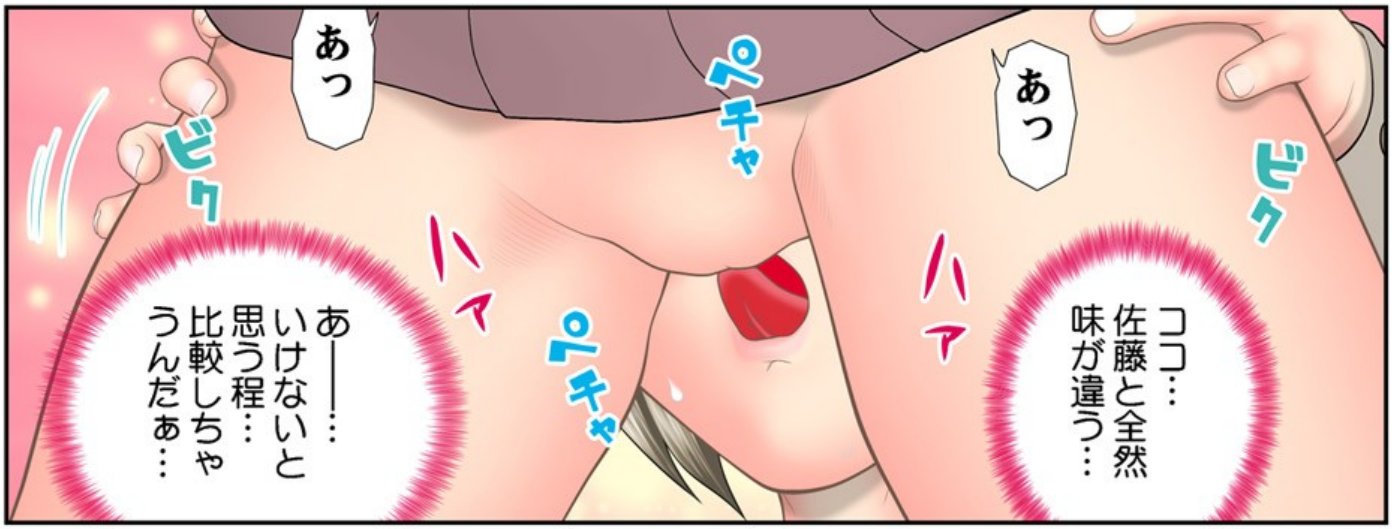

いや…でも…だって…
部長として部員に手を出すワケには…
私は…したい…です…
ハァ
ハァ
クィ
クィ
プル
プル


倉田…
お尻キレイだね…
ああ…
プル
プル
ハー
ハー
クチュ
ツ…


もうガマン無理――っ
ビク
ガバ
ふあっ
やったぁ♡
あっ
ムニュウ
ビク


チュル
ビク
あっ
ああ
チュルル
ビク


んあっ…奥まで舌…あっ
ビク
ハァ
ビク
ハァ
ひゃっ…あ…そこ…気持ちいい…です…


あっ
ココ…
佐藤と全然
味が違う…
ビク
ハァ
ペチャ
ペチャ
ハァ
ビク
あっ
あ――…
いけないと
思う程…
比較しちゃ
うんだぁ…


こっ…これ以上
舐められると…
私だけ…
イッちゃうので…
ストン
ハァ
ハァ
あの…
チャ…
パ
カ


いっ…いくよ
倉田
は…い
んっ
ハァ
ハァ
ビク
ビク
グッ
ビク
ビク
ああ…
部長の…入って
あっ


うああっ！
ハァ
ビク
ビク
ニュブブ
あっ…
はぁ…
くっ…


副部長…
ゴメンなさ…
いっ
ハァ
ハァ
すごく…
気持ち…いい…
ブチュ
ジュプ


奥まで…
きてます…
ひあっ
いい…
です…
ハァ
ハァ
んっ…
部長の
チン○ン…
ビク
ビク
ズプッ
ジンズ


今…その名前
出すなっ倉田…
ひゃっ…
ハァ
ハァ
ビク
う…あ…
ぶっ…部長
急に…激しく
んあっ
ああああっ…
だめっ…
ビク
ビク
パン
パン
ビク


ああっ…
ビクビクって…
部長お
ハァ
ハァ
いっ…イッちゃい
そうで…すっ…
オッ…オレも…もうっ
パン
パン
ブチュ
ビチッ


いっ…
一緒に♡…
ハァ
ハァ
イッて下さ…い
お願い…ああっ…
パン
パン
ビク

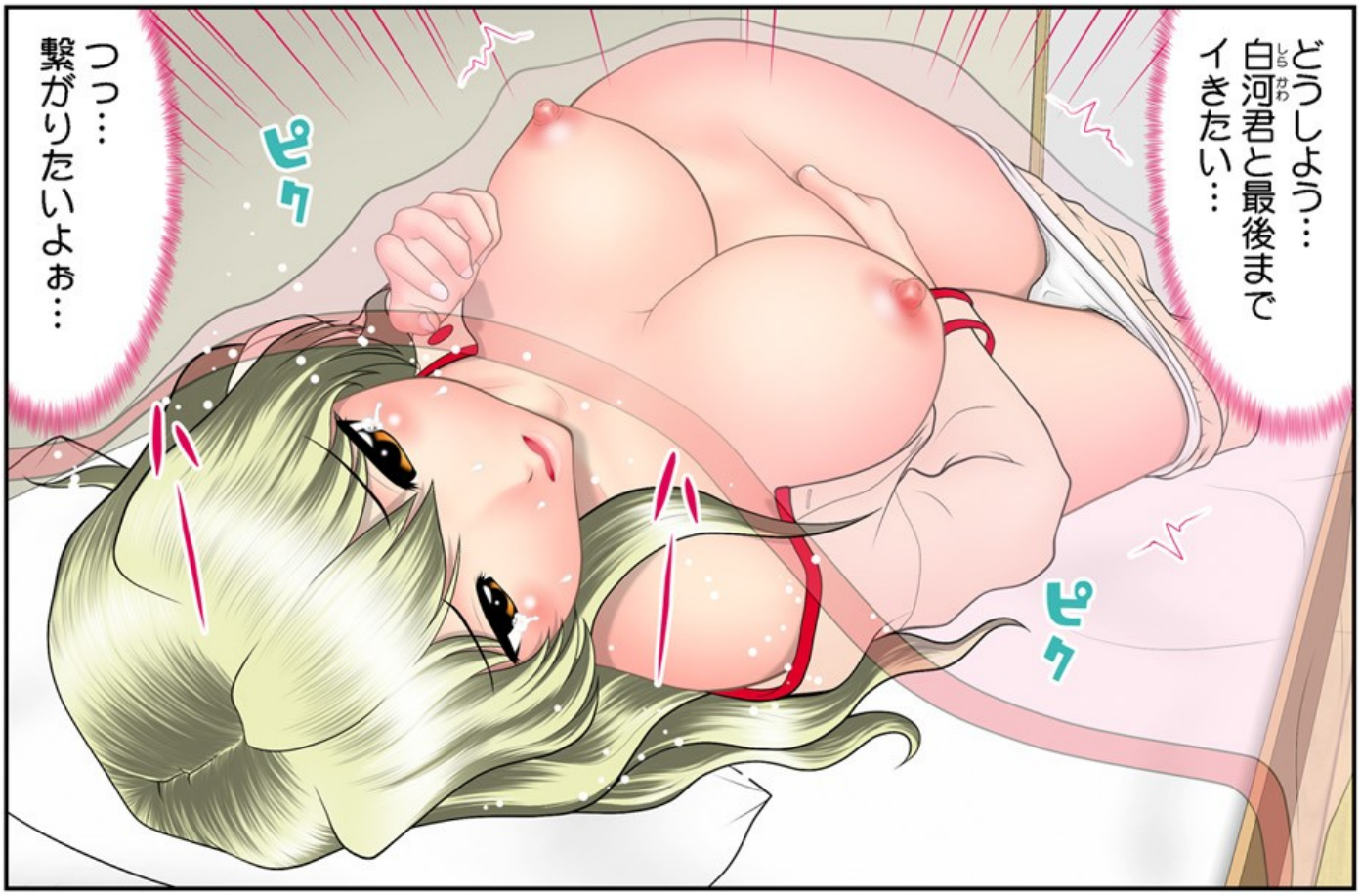

いあぁっ…
イッちゃう…
くっ…
イッちゃいます～～～
ビクン
ビクン
ビク
ハァ
ハァ
ドプッ
ビク
ビュク
ビュク
ひあぁ…
あ…


あ…ああ
ニコ…
ハー
ピク
気持ち…よかった…
です
ハー
ピク


いくみちゃんにも教えてあげよ♡
今日の出来事♡
ハー
ハー


あっ…あの副部長には内緒にしますから
ん？
インターネットカフェ
ああっありがとう…
秘密の共有が妙に嬉しい倉田であった

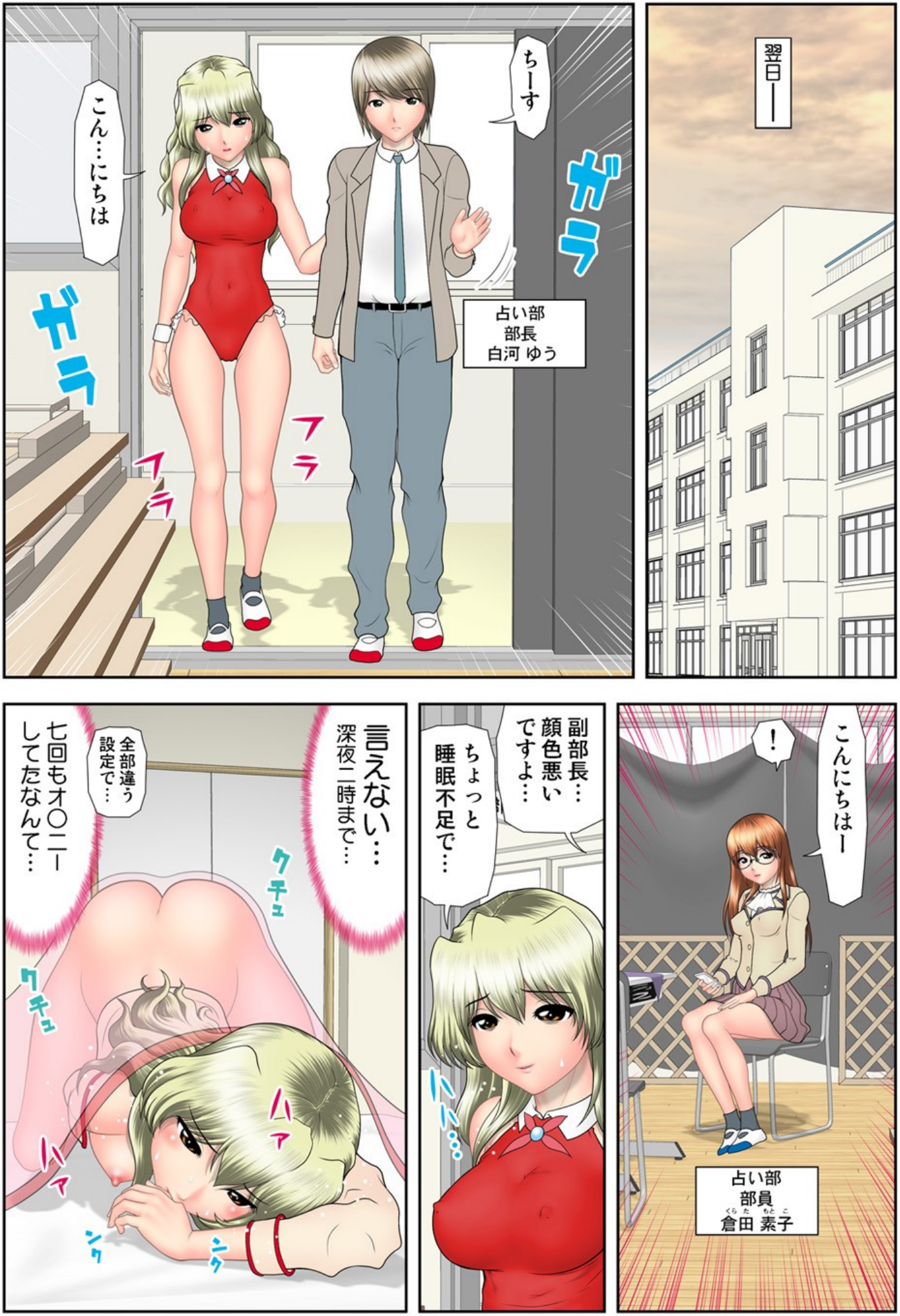

佐藤 景子
宅
佐藤 景子の
部屋
はぁ
はぁ
クチュ
クチュ
占い部
副部長
佐藤 景子
あっ…
くっ
いっく…
あああ…
ハァ
ハァ
ビク
ビク
プチュ
プチュ
ビクン
ビクン
ハァ
ハァ
ビク
ビク


どうしよう…
白河君と最後まで
イきたい…
ピク
ピク
つっ…
繋がりたいよぉ…


私が抑える立場
なんだけど…
卒業まで
キレイな
交際でね
占い師
母
白河京


今日だって
上着の中に
手を入れてきて…
んっ
クリュ
クチュ
あっ
クニィ
モジ
私がイクまで
上も下も…
もぉ〜〜…
モジ


白河君…
触るの上手
なんだもん…
ハァ
アアア
ハァ


翌日――
ガラ
ちーす
こん…にちは
ガラ
占い部
部長
白河 ゆう
フラ
フラ
こんにちはー
！
占い部
部員
倉田 素子
副部長…
顔色悪い
ですよ…
ちょっと
睡眠不足で…
ハ…
言えない…
深夜二時まで…
全部違う
設定で…
七回もオ〇ニー
してたなんて…
クチュ
クチュ
ハァ
ハァ
シク
シク


寝た…
あれ…
何だろう…
ちょっと体が
軽くなった
この感じ…
そっ…それは
暗に…副部長が
プレッシャーだと?…
わっ…私でよかったら
いつでも…その…
部長の欲求解消の
相手に…その…
いっ…いやいや
一人でちょっと
散歩して
くるよ!
あっ…危ない
倉田とこれ以上
ここで話すのはっ
あ――…

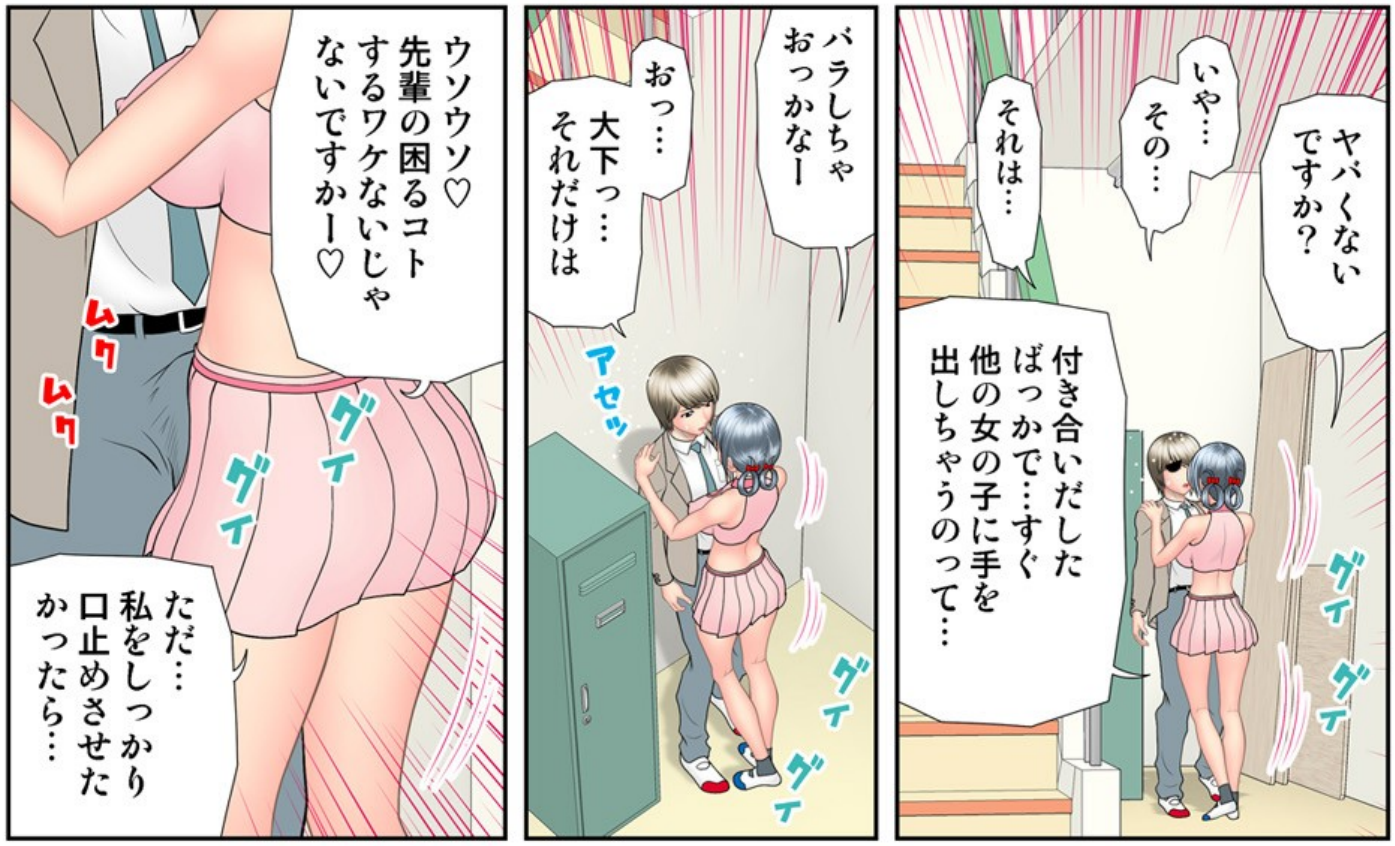

！
ムニュ


行き先も
告げずに
行動できる
のが…
こんなに
幸せな事
だったとは…
ウン
ウン
スタ
スタ


副部長さんと
付き合ってるって
ギュウ
もー！
私の許可なく
そんなコト…
許可
必要なの!?


で…正田先輩に
その話をふったら
すごいコト聞いちゃった
んですけど…
エヘ♡
どっ…どんな
コト聞いた
のかな？
アセッ
浮気…
ギュウゥ
正田 好美


白河先輩
見ーっけ♡
パッ
聞きました
よー♡
ドキ
大下!?
どっ…どうした？
チア
リーディング部
大下 いくみ

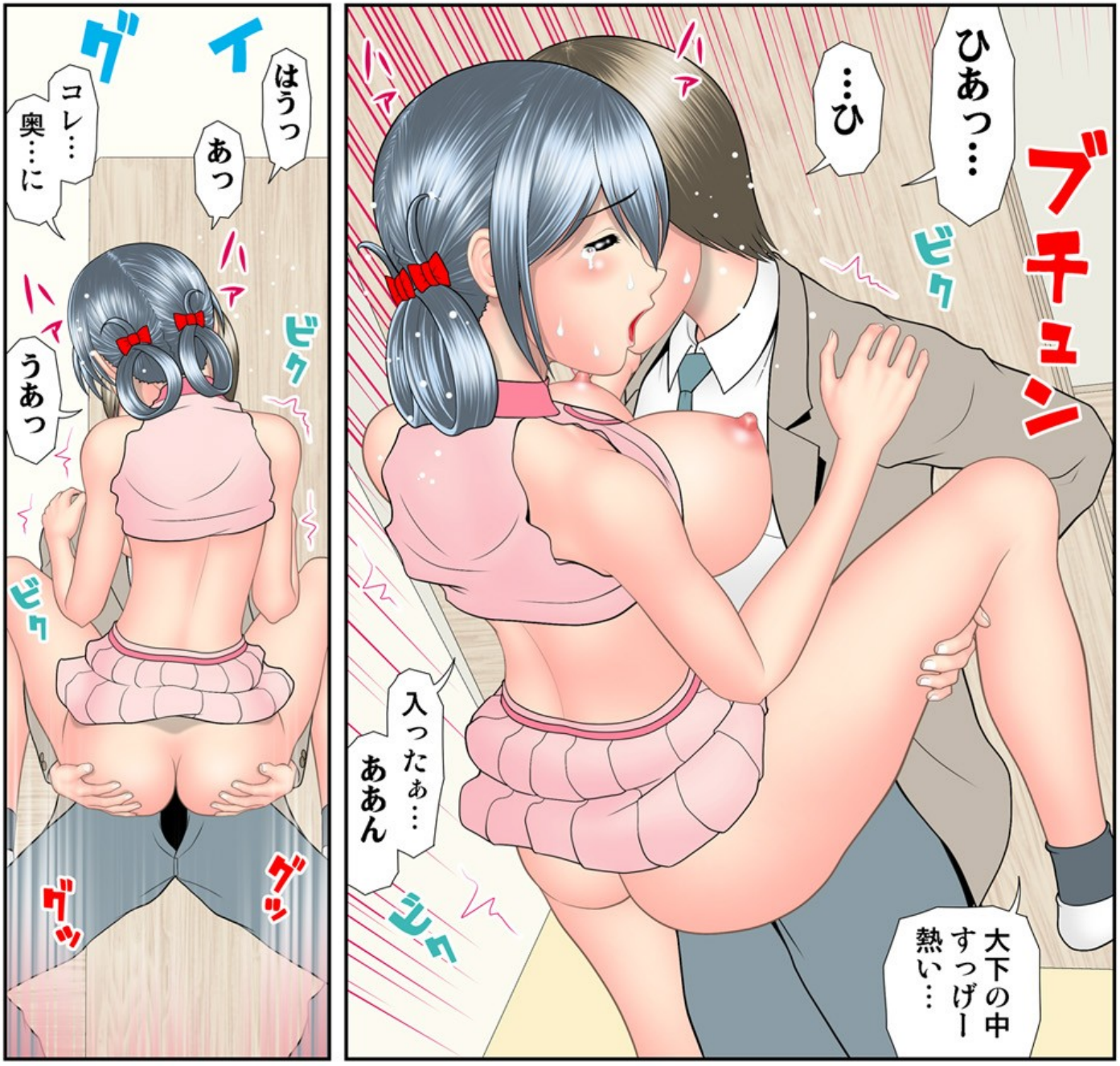

ヤバくないですか？
いや…その…
それは…
付き合いだしたばっかで…すぐ他の女の子に手を出しちゃうのって…
グィグィ
バラしちゃおっかなー
おっ…大下っ…それだけは
アセッ
グィグィ
ウソウソ♡先輩の困るコトするワケないじゃないですかー♡
ムクムク
グィグィ
ただ…私をしっかり口止めさせたかったら…

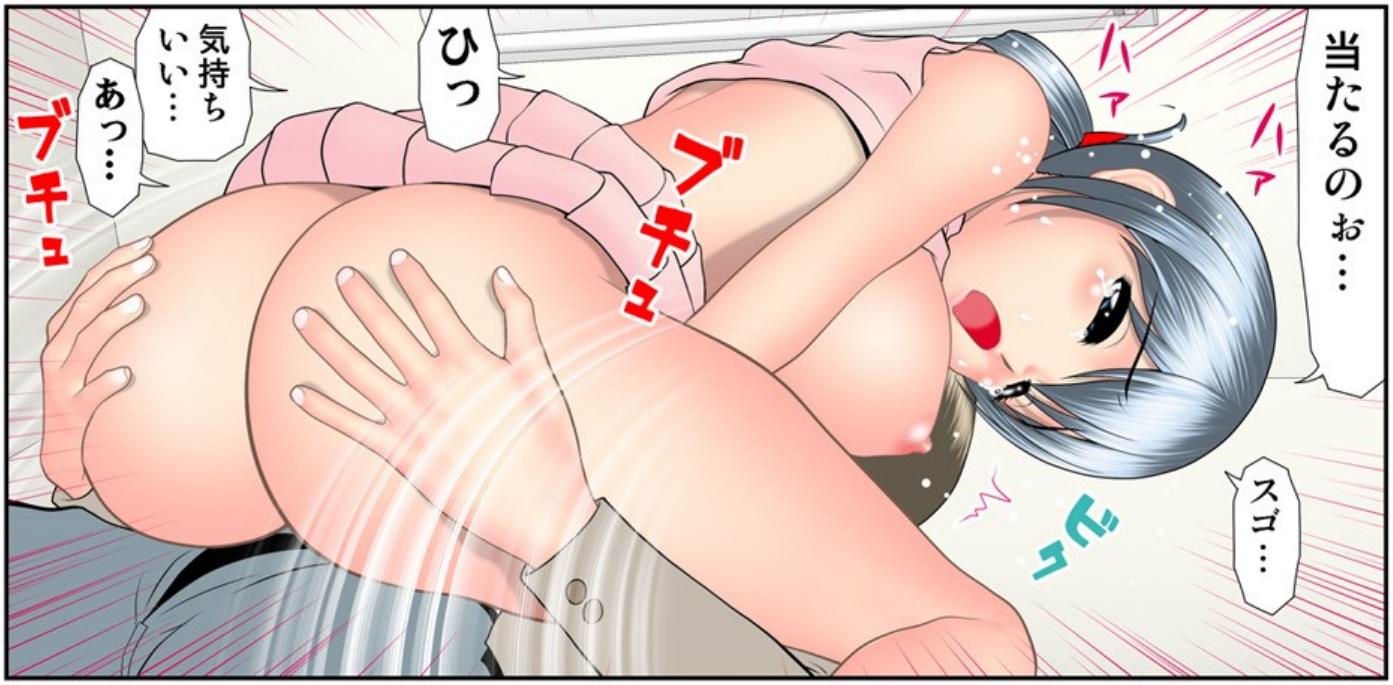

共犯者にしちゃえばいいんですよ♡
ホラ…
ポッ
アセ
アセ
それってつまり…
私とも浮気を…
グィ
グィ
先輩だって…硬くなってきてるし♡
ジィィィィィ
ちょっ！
ドキ
ドキ
フフ♡先輩のおチン○ンは早くしたいみたい♡
ピト
ズルッ


おっ…大下
うっ
ハァ
チュッ
んっ…先輩の
味…
ビクン
チロ
チロ
ハァ
チュプ
ジュブブ
んく
んく
ビクビクしてる…
あっ…
ああ…
先輩の…
チュポ
ハァ
ビクン
ビクン

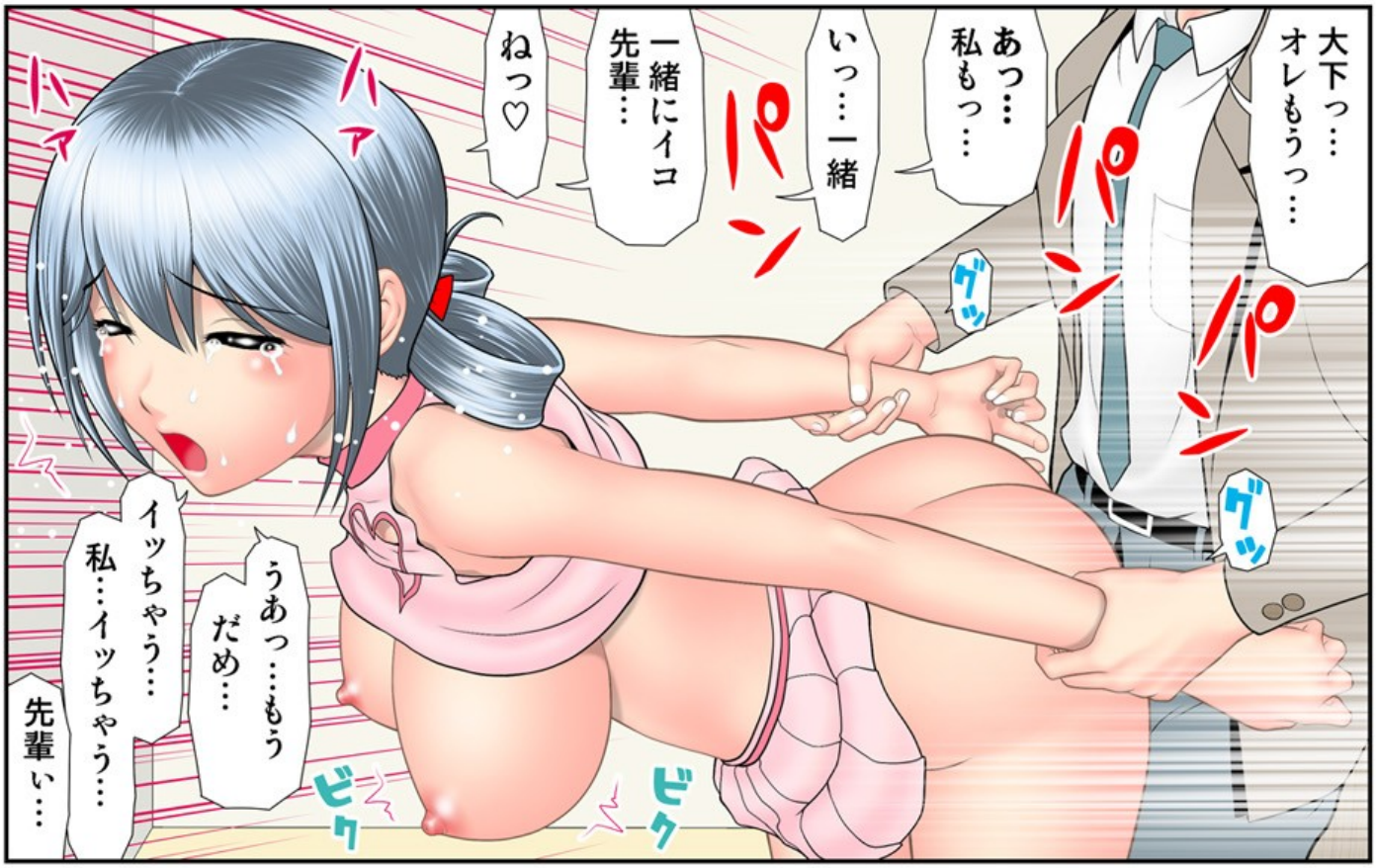

ああっ…
ハァ
ハァ
先輩が…
私のおっぱい…
しゃ…しゃぶってる…
ああ♡
ビク
チュプ
チュプ
ビク
そん…な…強く
吸われると…あっ
あんっ♡
腰が崩れる…
チュプ
クリュ
クリュ
先輩も…
気持ちよく…
なって…
シュリ
シュリ
熱い…先輩の
先っぽ…
ヌルヌルだよ♡
ヌリュ
ヌリュ
ブチュ
ズリッ
んあっ
大下も…
もうヒクヒク
しはじめてる


しっ…したい…
わっ…私も
今すぐ…あっ
ズリュ
ビク
ハァ
入れてェ…
先輩♡
もう…
ガマン…
できないのォ…
うっ…うん
ドキ
プル
トロ—
いくよ…
んっ…んんんっ
入って…
くる
先輩の熱いの…
私の…拡げながら…
ズッ…
ああああっ♡


ブチュン
ひあっ…
…ひ
ハァ
ハァ
ビク
大下の中
すっげー
熱い…
入ったぁ…
ああん
ジク
はうっ
あっ
コレ…
奥…に
うあっ
グイ
ハァ
ハァ
ビク
ビク
グッ
グッ


当たるのぉ…
ハァ
ハァ
スゴ…
ビク
ひっ
気持ち
いい…
あっ…
ブチュ
ブチュ


パン
パン
パン
パン
んあぁっ
ハァ
ハァ
いいのぉ
チン○ン…
いあっ…あっ
先輩の
いいのぉ
ビク
ビク


大下っ…
オレもうっ…
あっ…
私もっ…
いっ…一緒
パン
一緒にイコ
先輩…
ねっ♡
グッ
グッ
パン
パン
パン
ハァ
ハァ
うあっ…もう
だめ…
イッちゃう…
私…イッちゃう…
先輩ぃ…
ビク
ビク


くあっ…出るっっ!!
いあぁっ
先輩
私も…
いっ…
ドプッ
ビク
ハァ
イッちゃう
のぉ〜〜
ひあぁ…
あっ
ビク
ビュク
ビュク


！
白河君っ
ガバ
ハッ

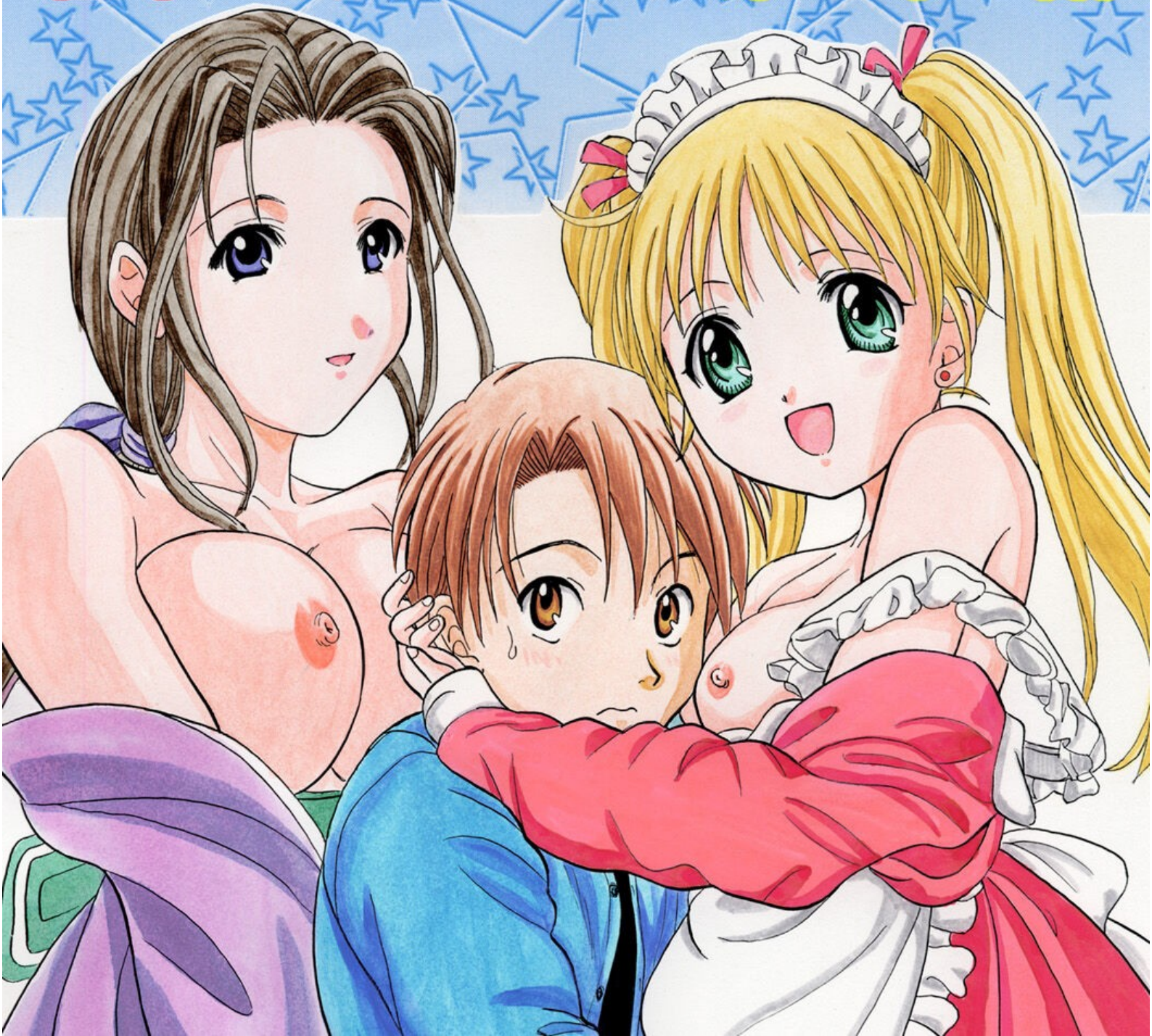

どっ…
どうした？
佐藤…
ガラ…
ガク
ガク


えっ…あの…
居なくなっちゃった
かと思って…
そんなワケ
ないだろ…
アーハハ
セーフ！
占い部

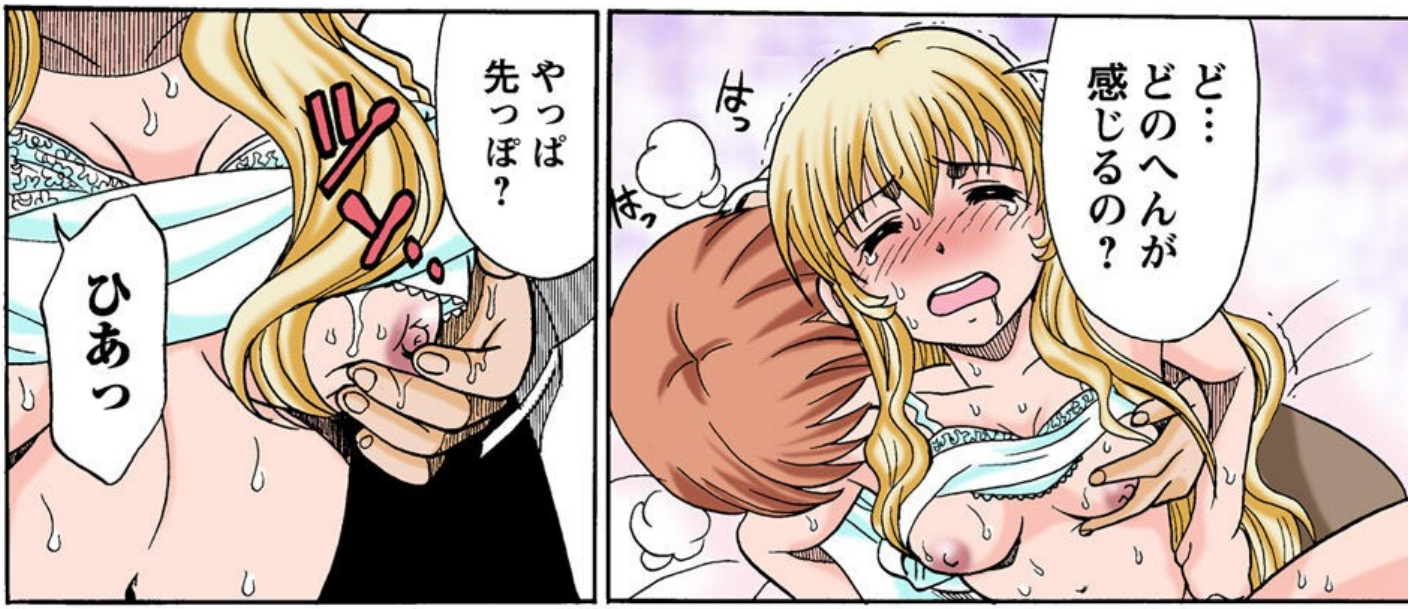
お嬢様のHなご奉仕

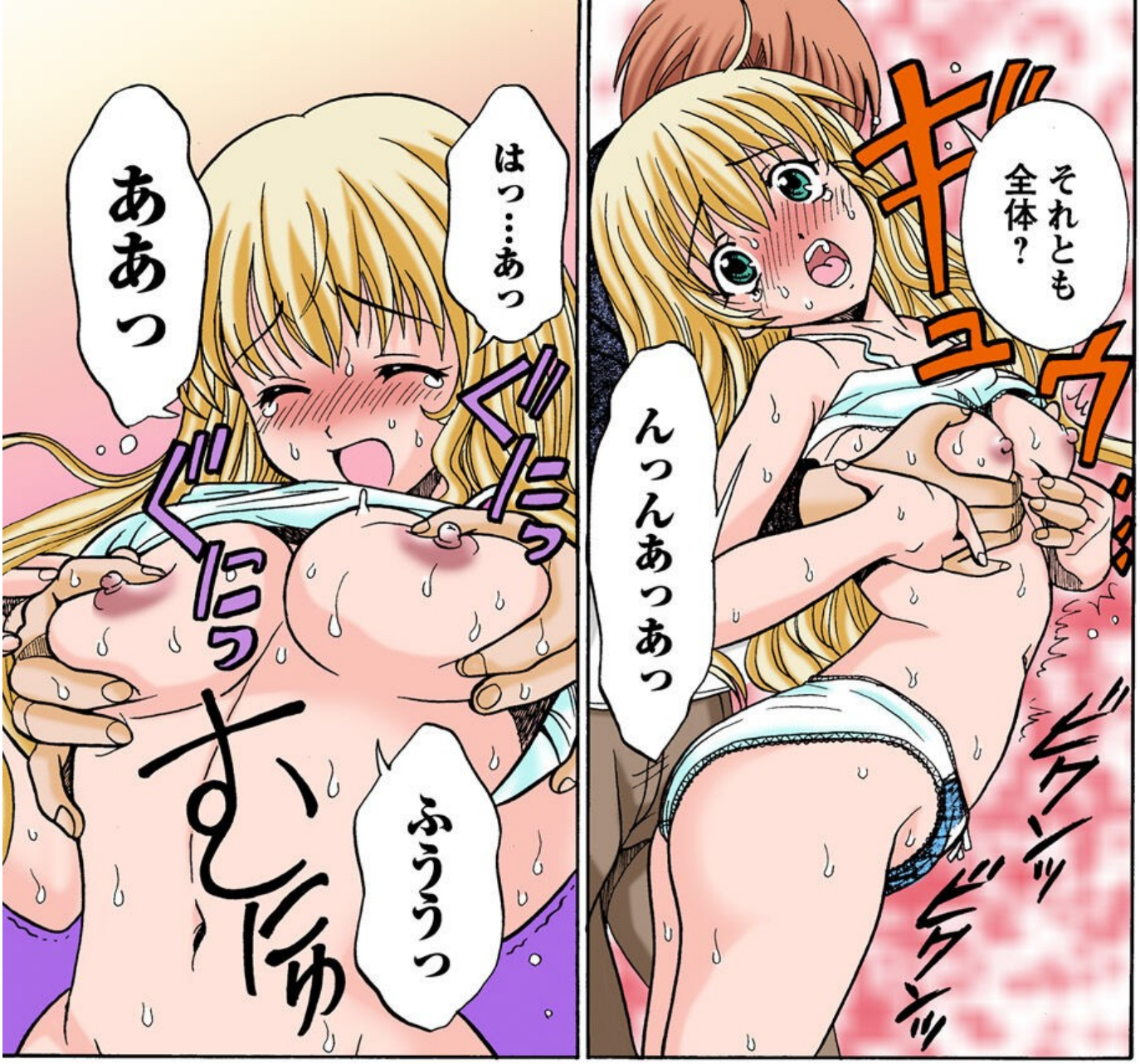
桂木たくみ

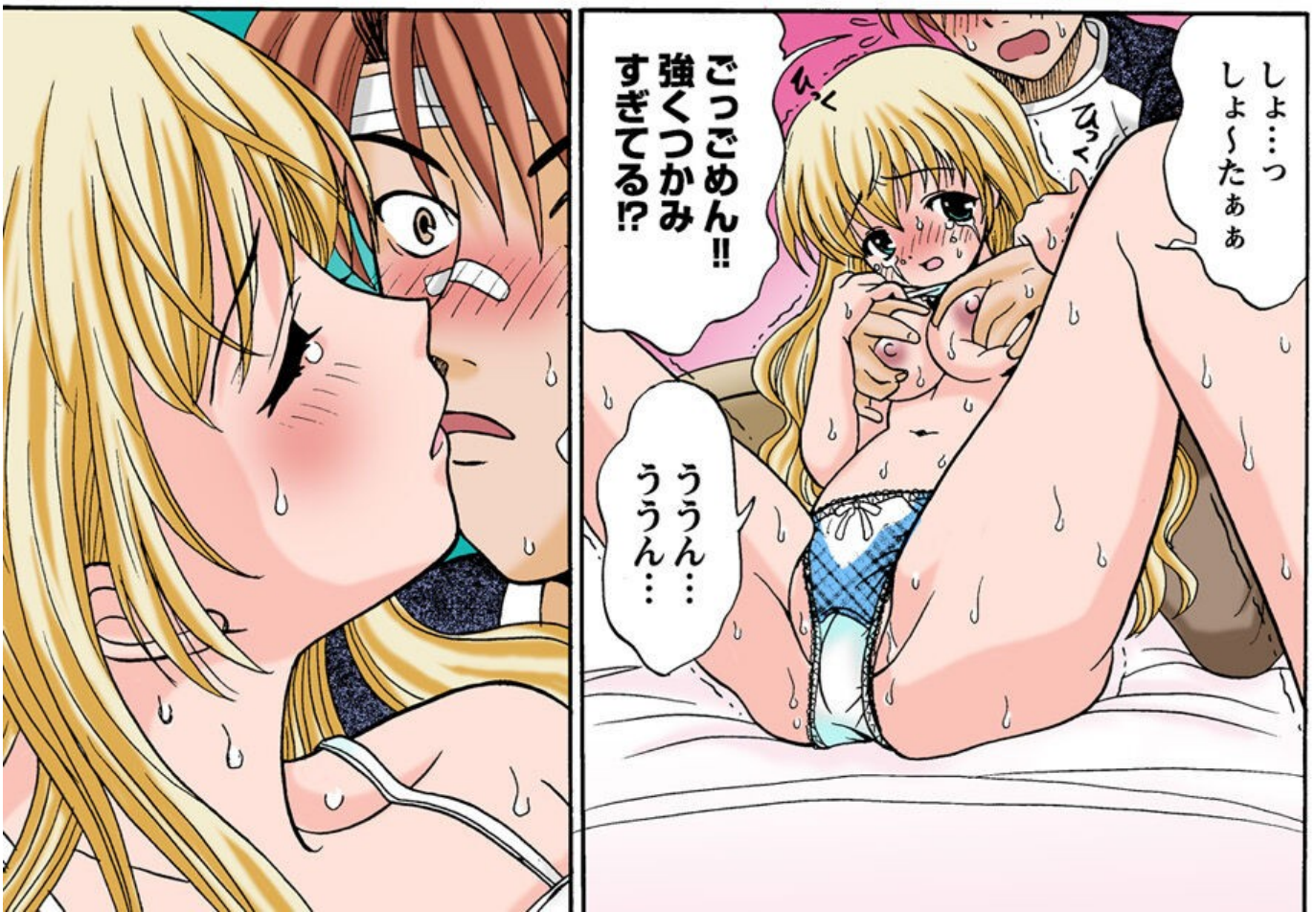
第二十三話



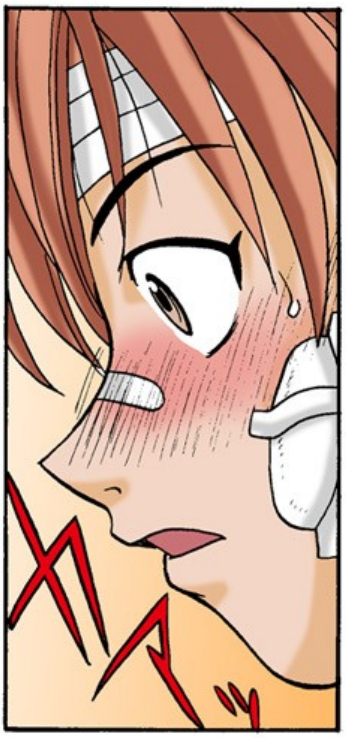

あっ
あっ
ムニッ
ギュウウ
あんっ…
おっぱいって感じる？
あっ
ぞく
はっ
う…ん いいよぉ
ハア
緑子 空飛んでる みた…い
ハア
ハーッ


ど…どのへんが感じるの？
はっ
はっ
やっぱ先っぽ？
ツン
ひあっ

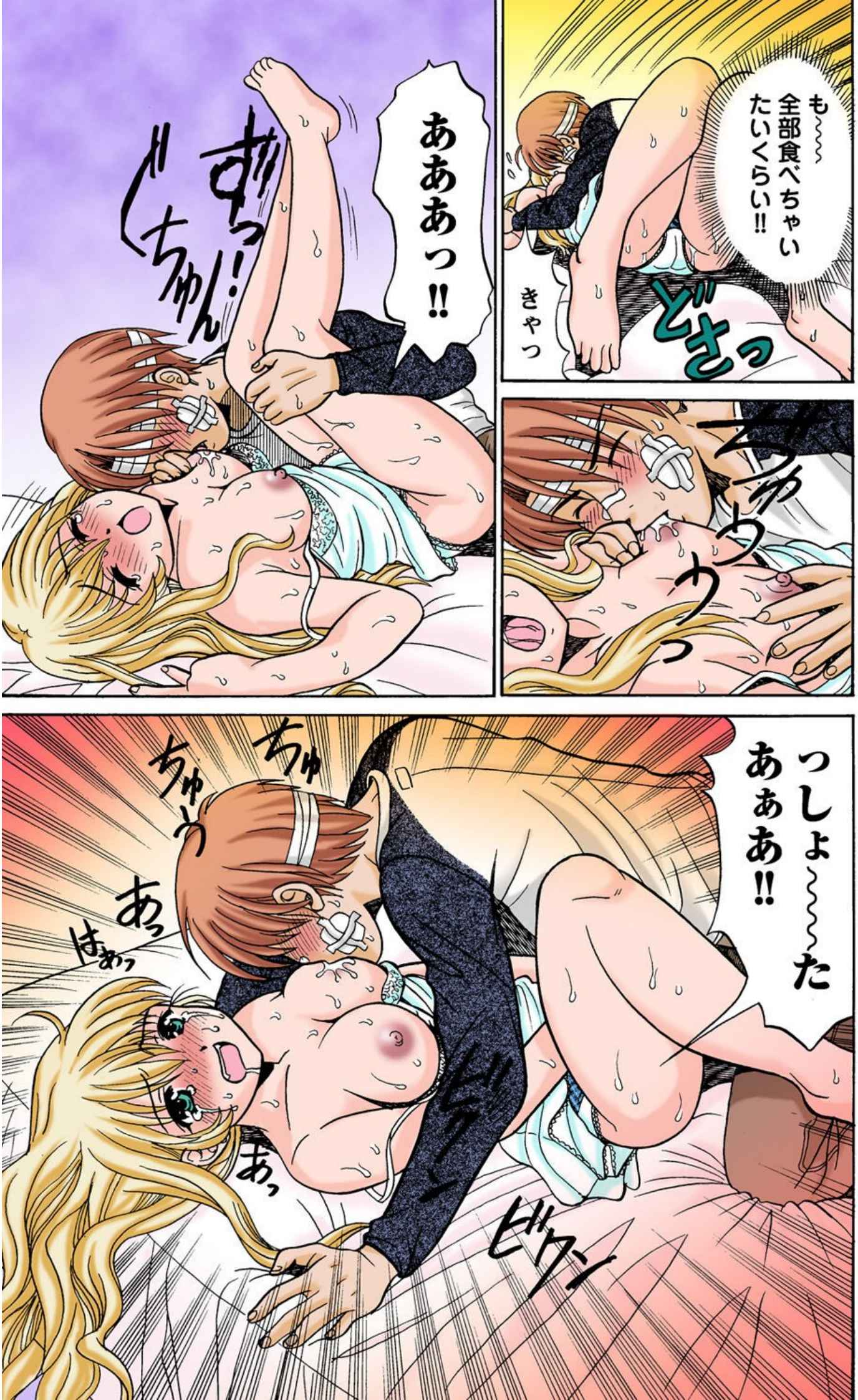

それとも全体？
キュウ…
んっんあっあっ
ビクンッ
ビクンッ
はっ…あっ
ああっ
ぐにっ
ぐにっ
ふううっ
むにゅ

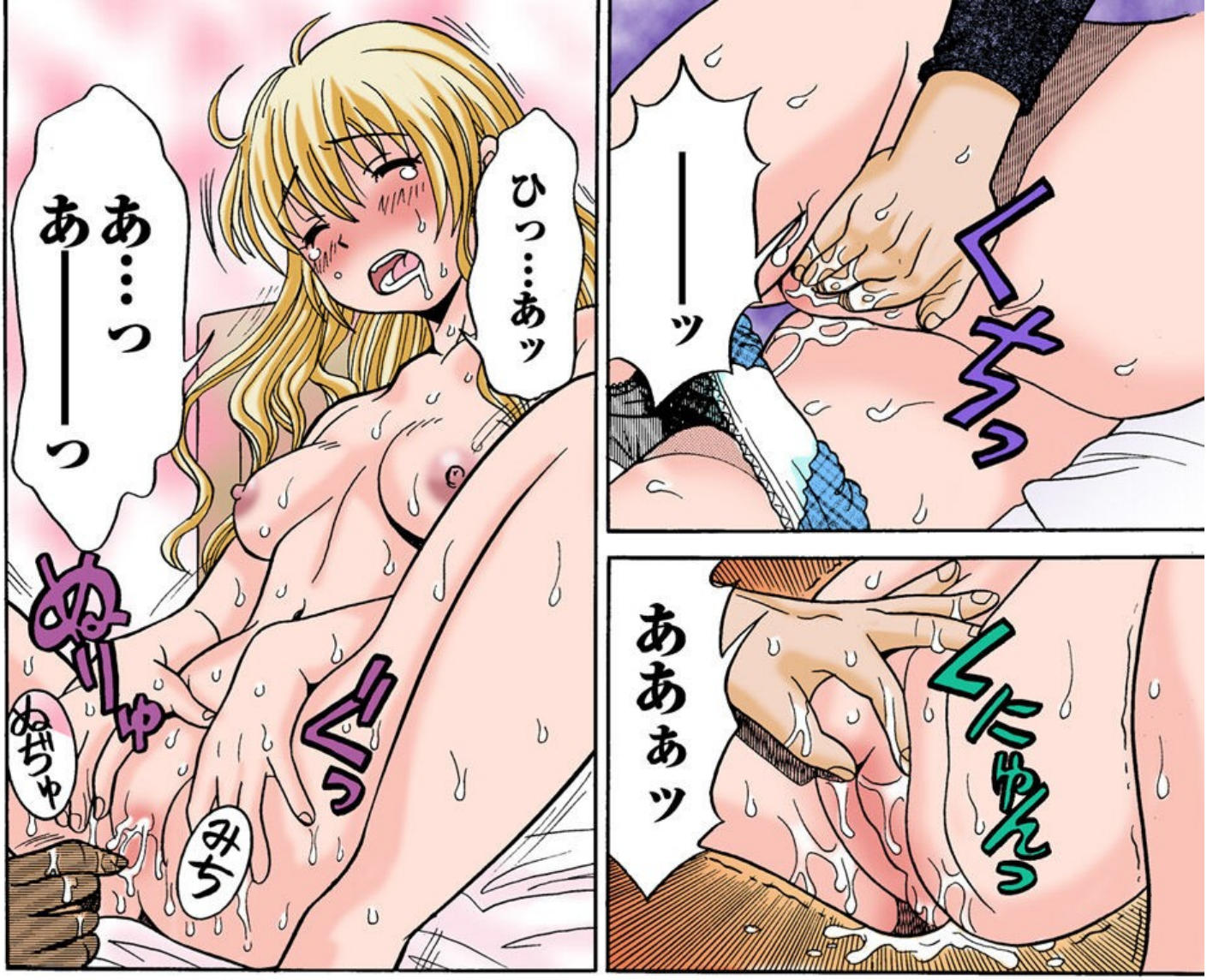

しょ…っ
しょ～たぁぁ
ひっく
ごっごめん!!
強くつかみすぎてる!?
ううん…
ううん…


緑子
しょーたにならー
どこ触られてもぜ～んぶ気持ちいいぞ！




かっ…
かわいいっ!!


も〜〜〜
全部食べちゃい
たいくらい!!
どさっ
きゃっ
ああああっ!!
すっ!
ぐちゅん
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
っしょ〜〜〜た
あぁあ!!
ちゅ
ちゅぅ
あっ
はぁっ
ビクン
ビクン
あっ

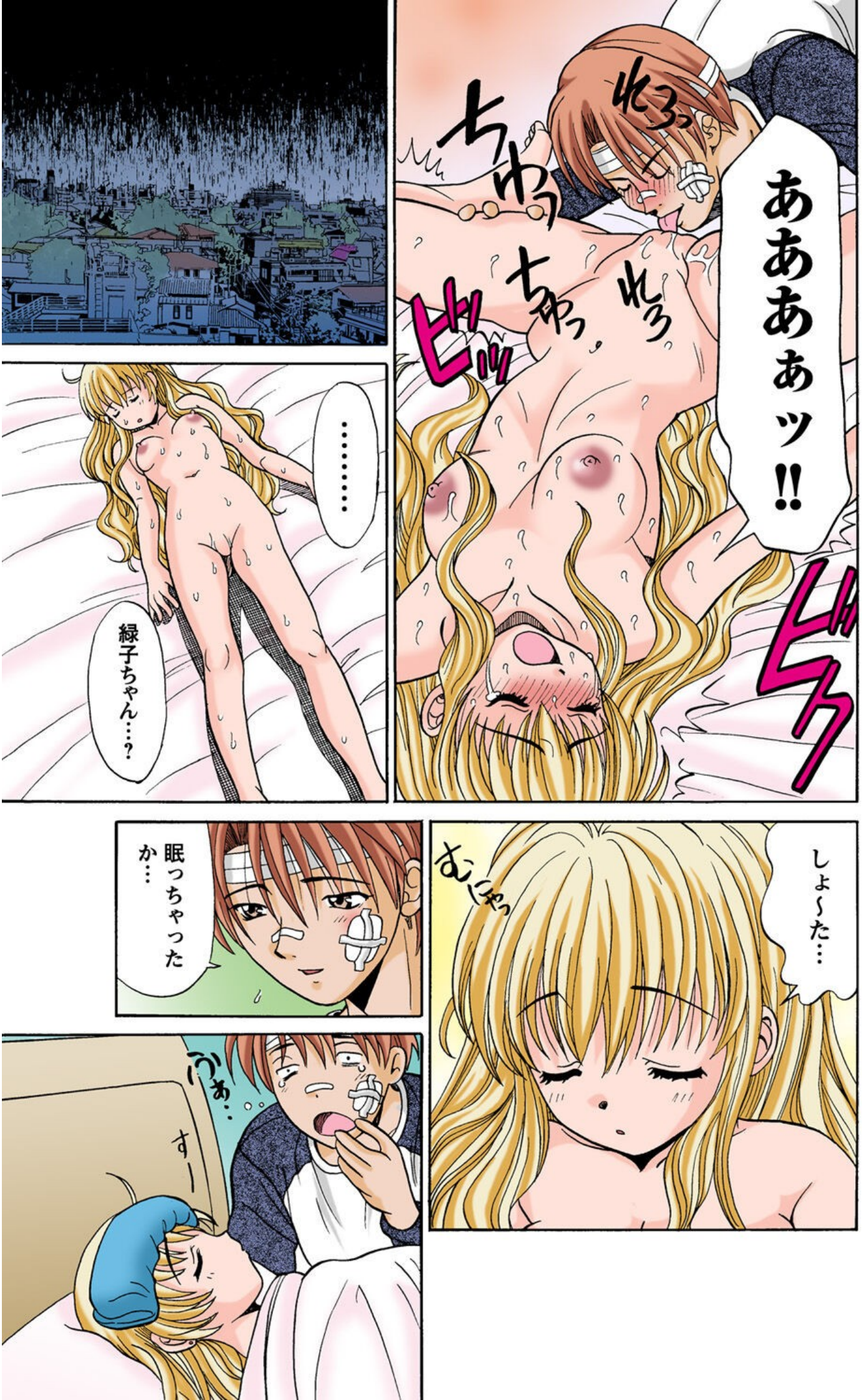

くちっ
――ッ
ひっ…あッ
あ…っ
あ――っ
ぬりゅ
くりっ
みち
ぬちゃ

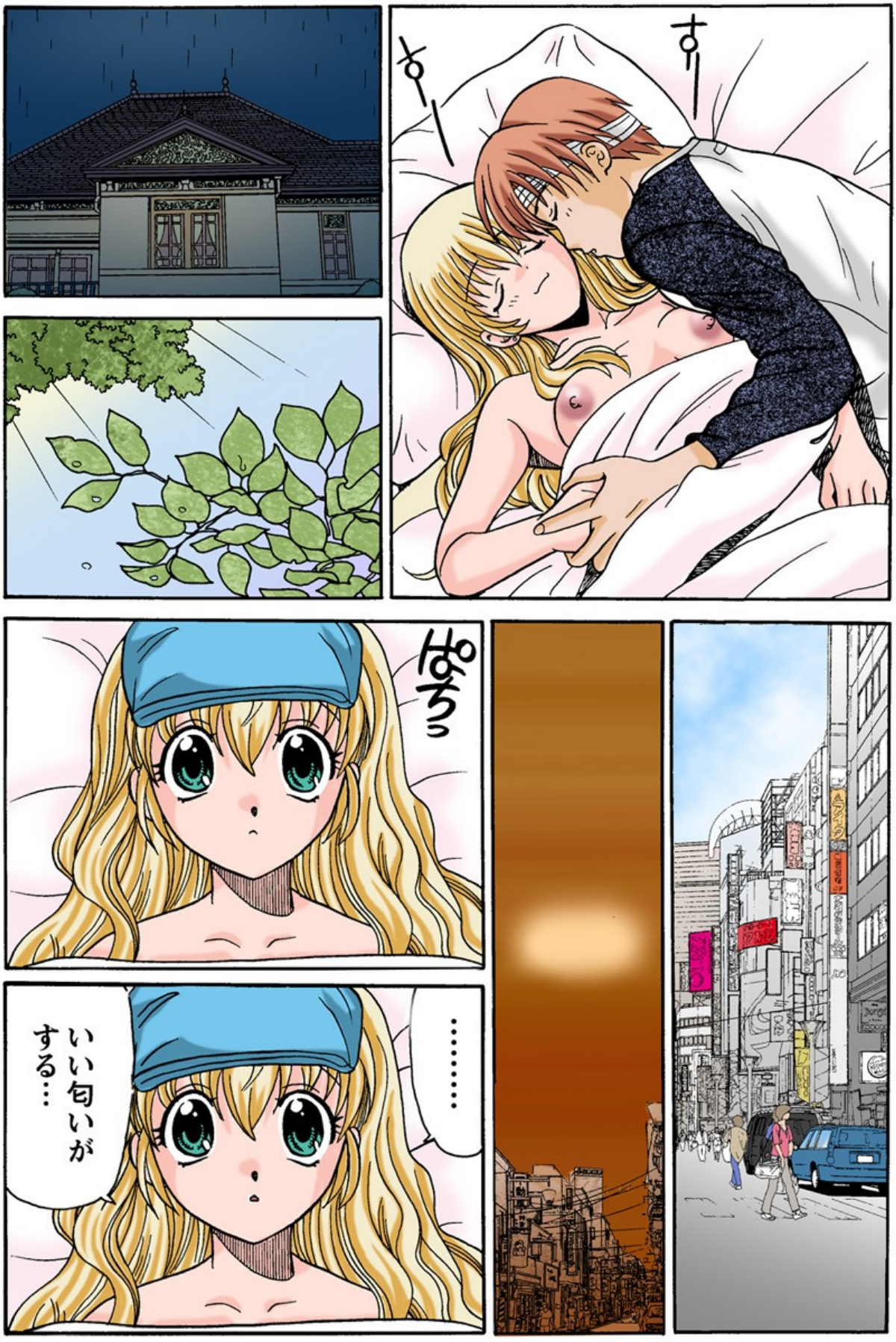
くたゅんっ
あああッ

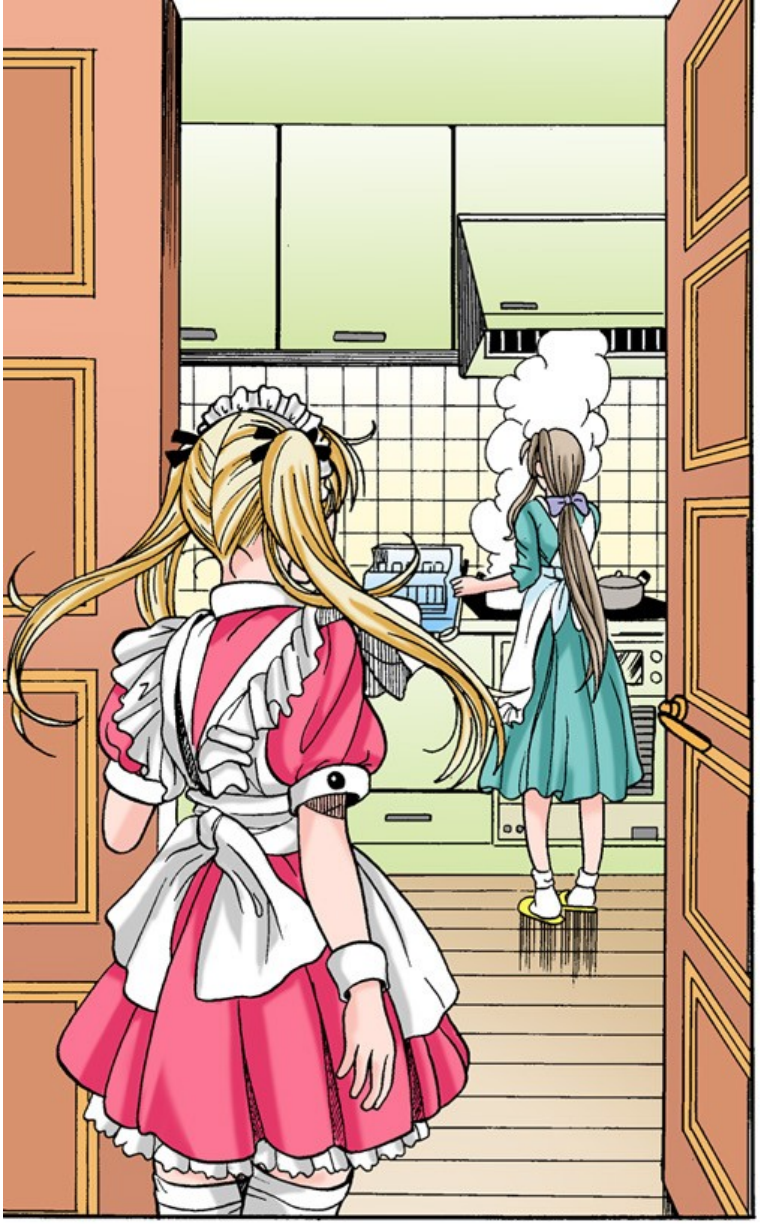

し…
汁が
あふれて
きた
ばかあっ
そんなハズいうなあ

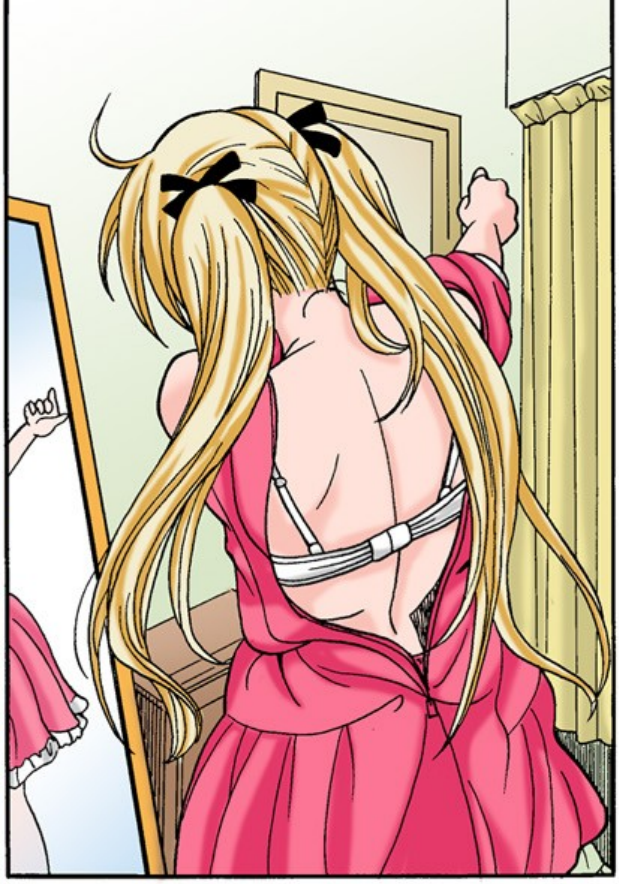

こわれちゃう
よぉ――ッ!!


全部
飲んじゃお
♡
だめぇっ
じゅるるるっ
吸わない
でぇ――ッ

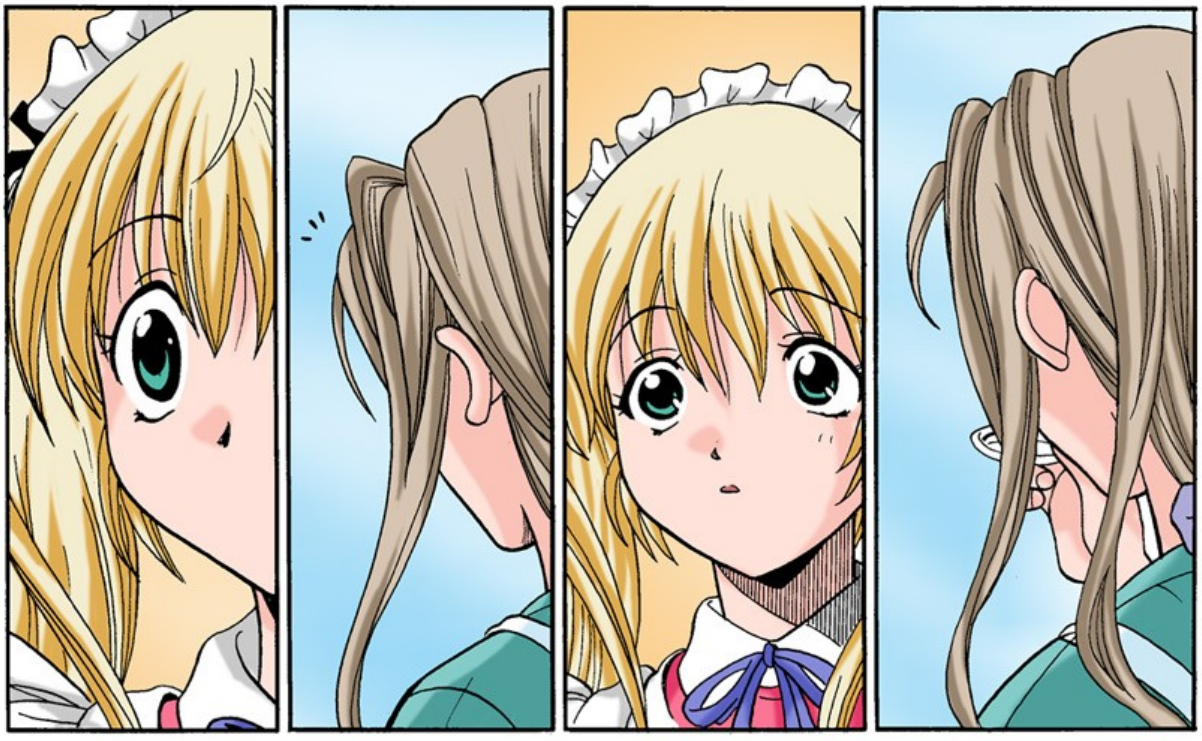

ああああッ!!
れろっ
ちゅっ
ちゅっ
れろ
ビクッ
ビクッ
……
緑子ちゃん…？
しょ～た…
むにゃっ
眠っちゃったか…
すー
ふぁ…

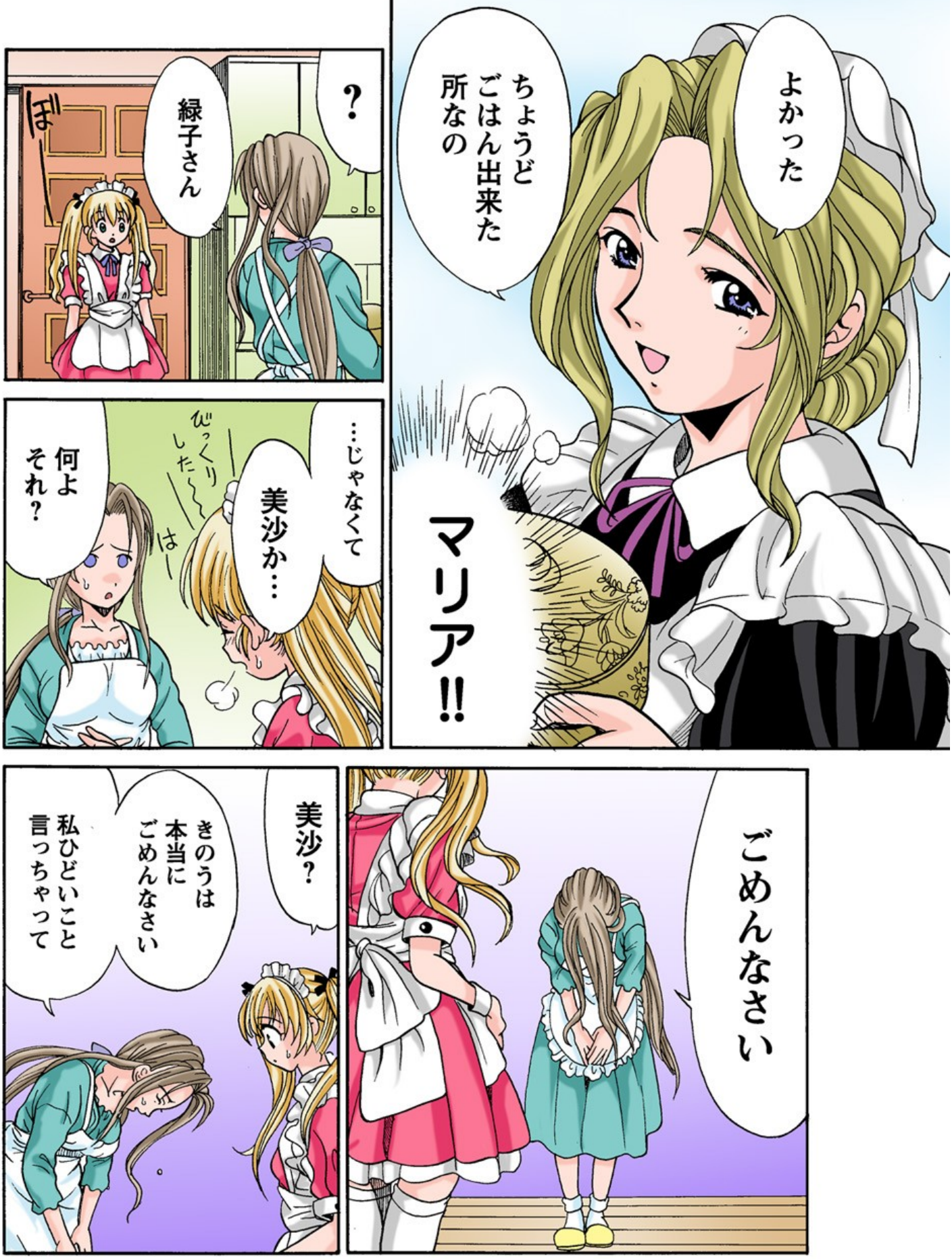

すー
すー
ぱちっ
……
いい匂いがする…

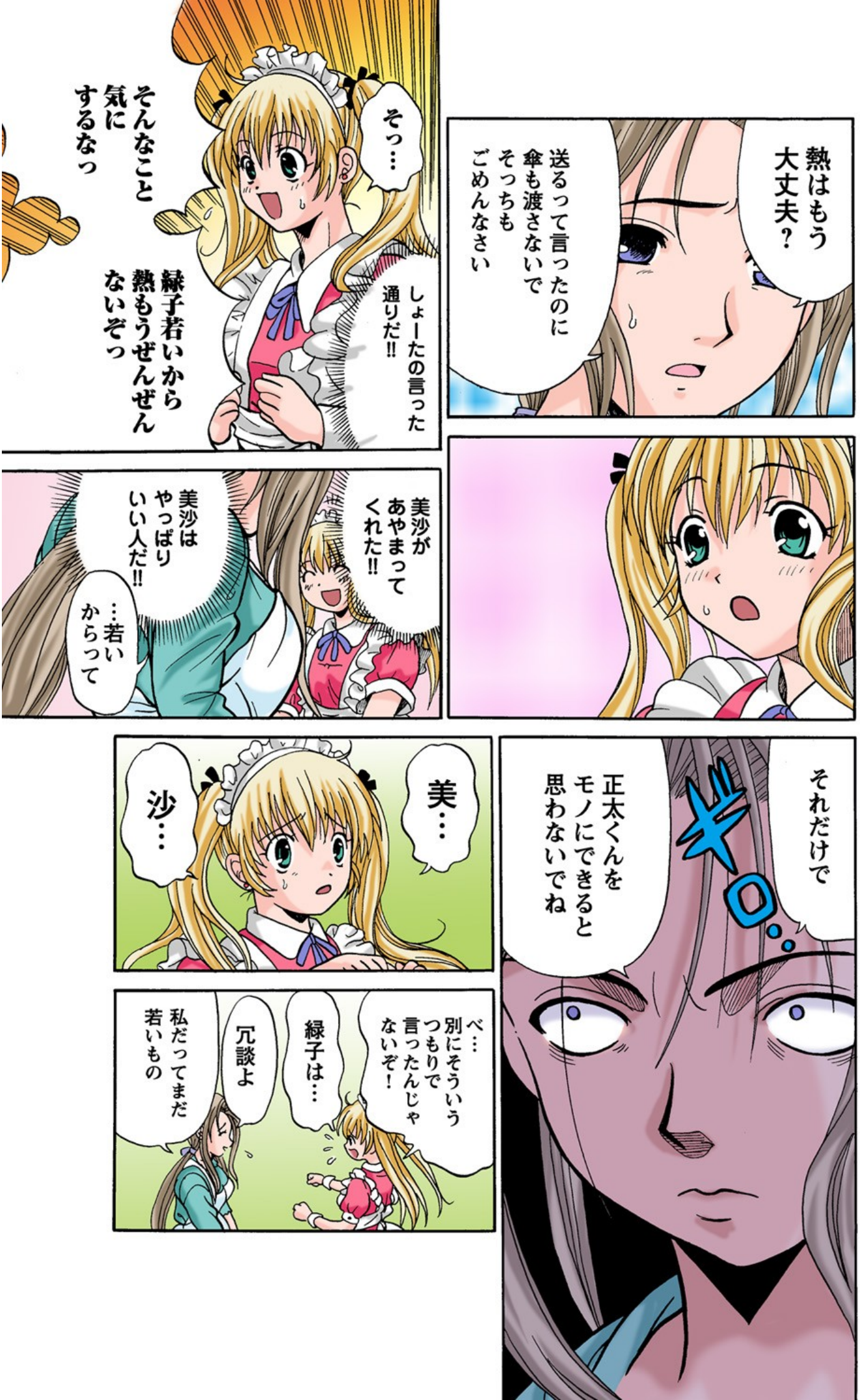


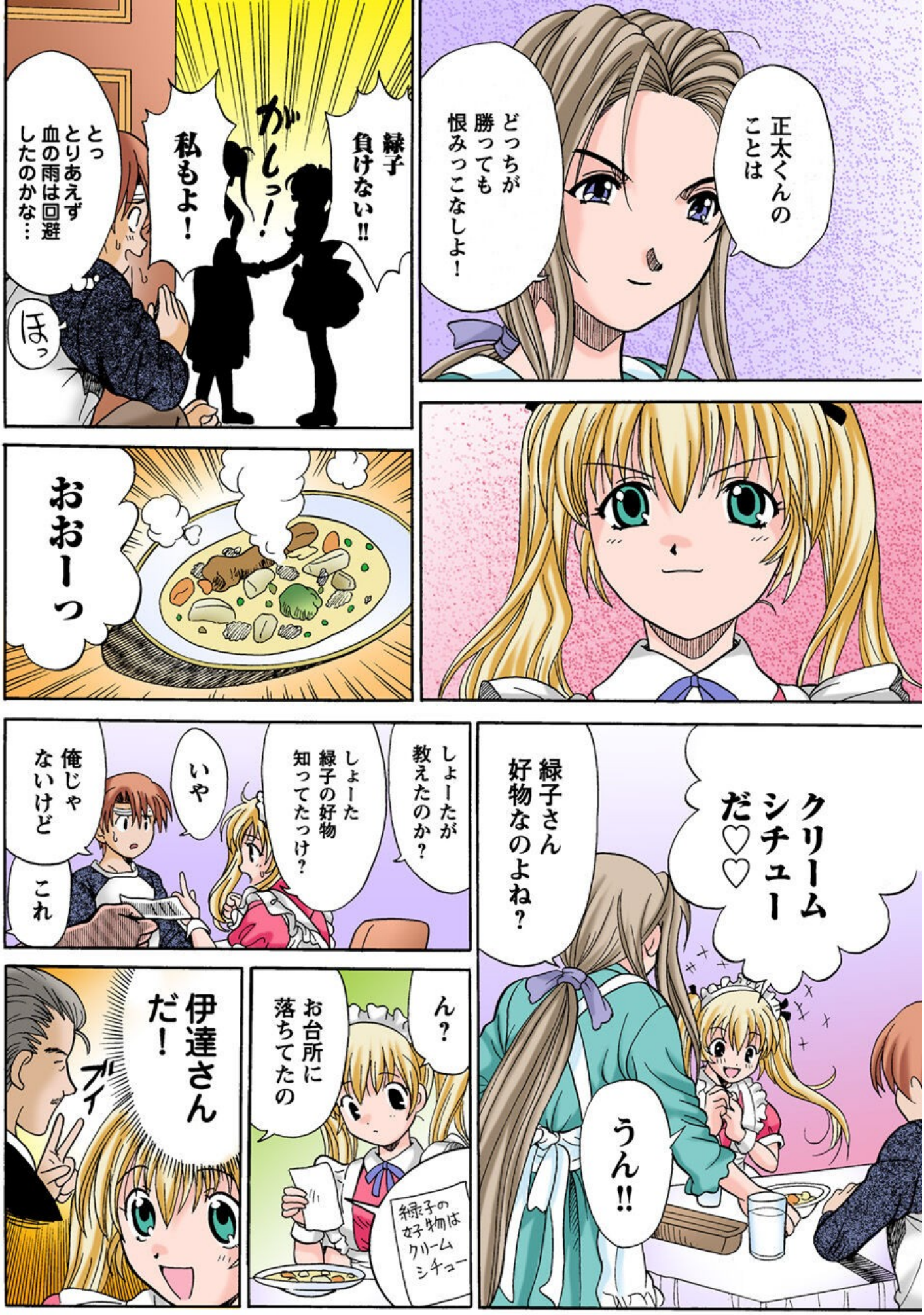




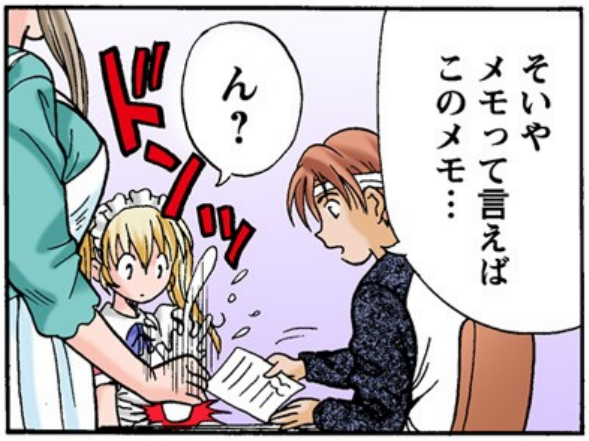


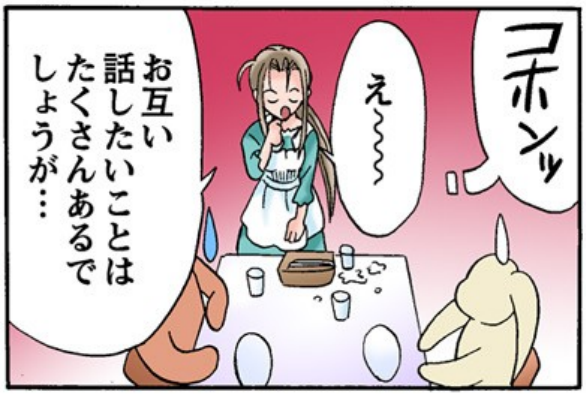

よかった
ちょうど
ごはん出来た
所なの
マリア!!
?
緑子さん
ぼー
…じゃなくて
美沙か…
びっくりした〜〜〜
はー
何よ
それ?
ごめんなさい
美沙?
きのうは
本当に
ごめんなさい
私ひどいこと
言っちゃって


熱はもう大丈夫？
送るって言ったのに傘も渡さないでそっちもごめんなさい
そっ…
しょーたの言った通りだ!!
緑子若いから熱もうぜんぜんないぞっ
そんなこと気にするなっ
美沙があやまってくれた!!
美沙はやっぱりいい人だ!!
…若いからって
それだけで
正太くんをモノにできると思わないでね
美…
沙…
べ…別にそういうつもりで言ったんじゃないぞ！
緑子は…
冗談よ
私だってまだ若いもの


正太くんのことは
どっちが勝っても恨みっこなしよ！
緑子負けない!!
私もよ！
がしっ！
とっとりあえず血の雨は回避したのかな…
ほっ
おおーっ
クリームシチューだ♡♡
緑子さん好物なのよね？
うん!!
しょーたが教えたのか？
しょーた緑子の好物知ってたっけ？
いや
俺じゃないけどこれ
ん？
お台所に落ちてたの
緑子の好物はクリームシチュー
伊達さんだ！
ブイ


せっかく
仲なおりのために
作った料理
冷めないうちに
食べて欲しいな


そいや
メモって言えば
このメモ…
ん？
ドンッ

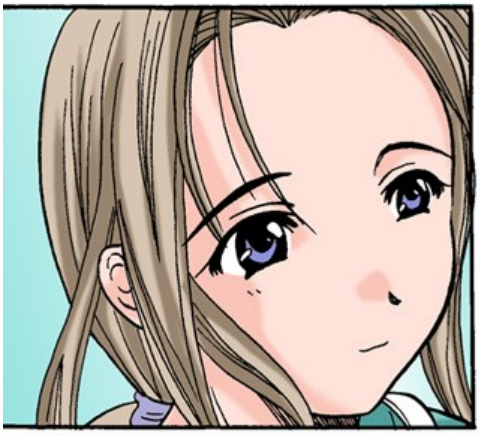

ヨホンッ
え～～～
お互い
話したいことは
たくさんあるで
しょうが…


美沙！


マリアの
持論


好きな人の
笑顔が
見たければ
心を込めて
その人の好物を
作ってあげること！
うん…


わかるよ
マリア…
マリアの
言ったこと
本当だって…



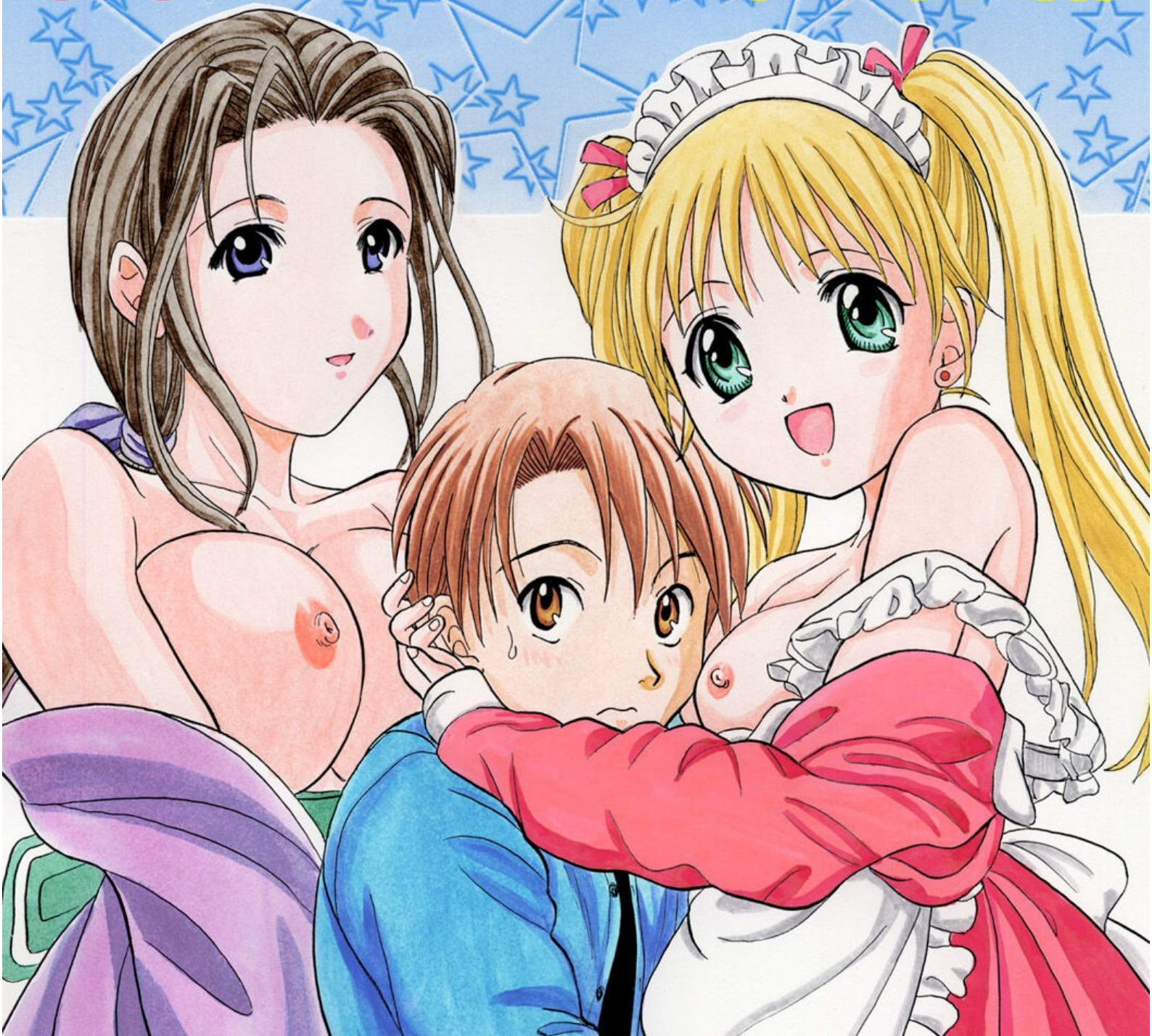

だって今
緑子
ぜったい
笑顔
だもん!!
いっただき
ま～～～す♬

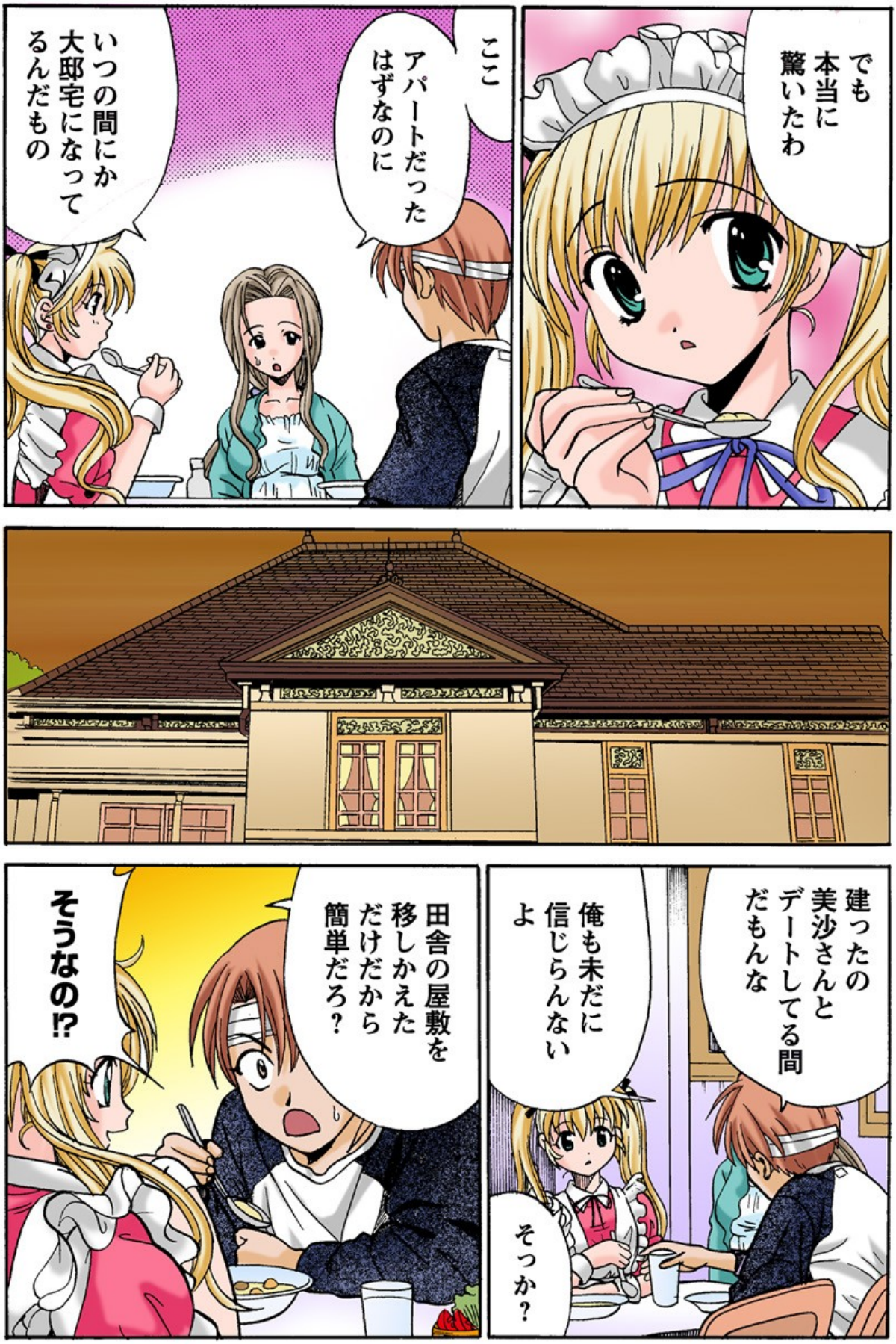


お嬢様のHなご奉仕

桂木たくみ

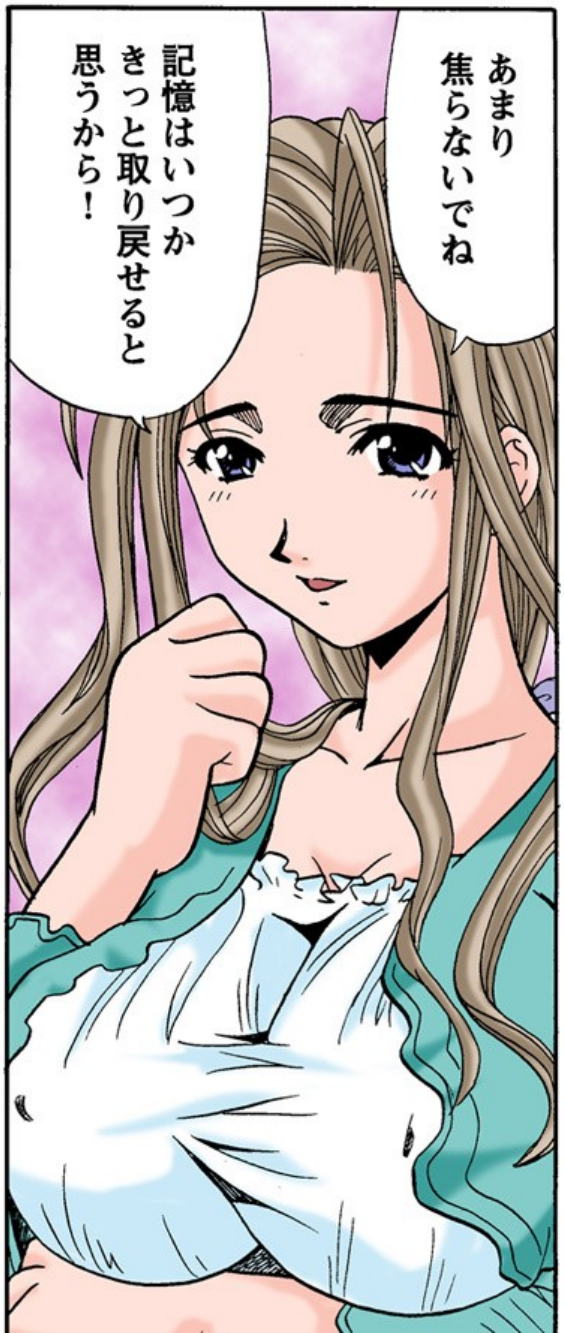
第二十四話

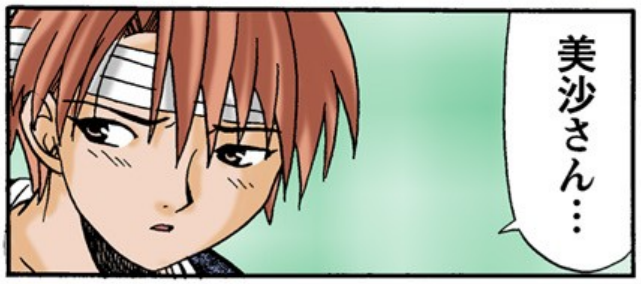


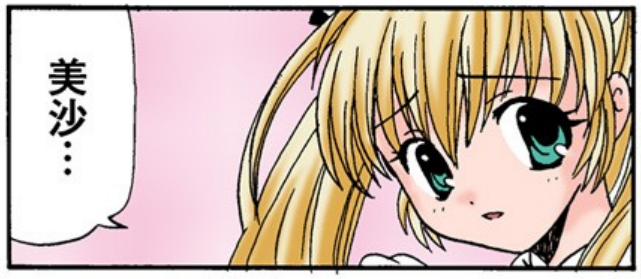

でも
本当に
驚いたわ
ここ
アパートだった
はずなのに
いつの間にか
大邸宅になって
るんだもの
建ったの
美沙さんと
デートしてる間
だもんな
俺も未だに
信じらんない
よ
そっか？
田舎の屋敷を
移しかえた
だけだから
簡単だろ？
そうなの!?


これで証明されたわね

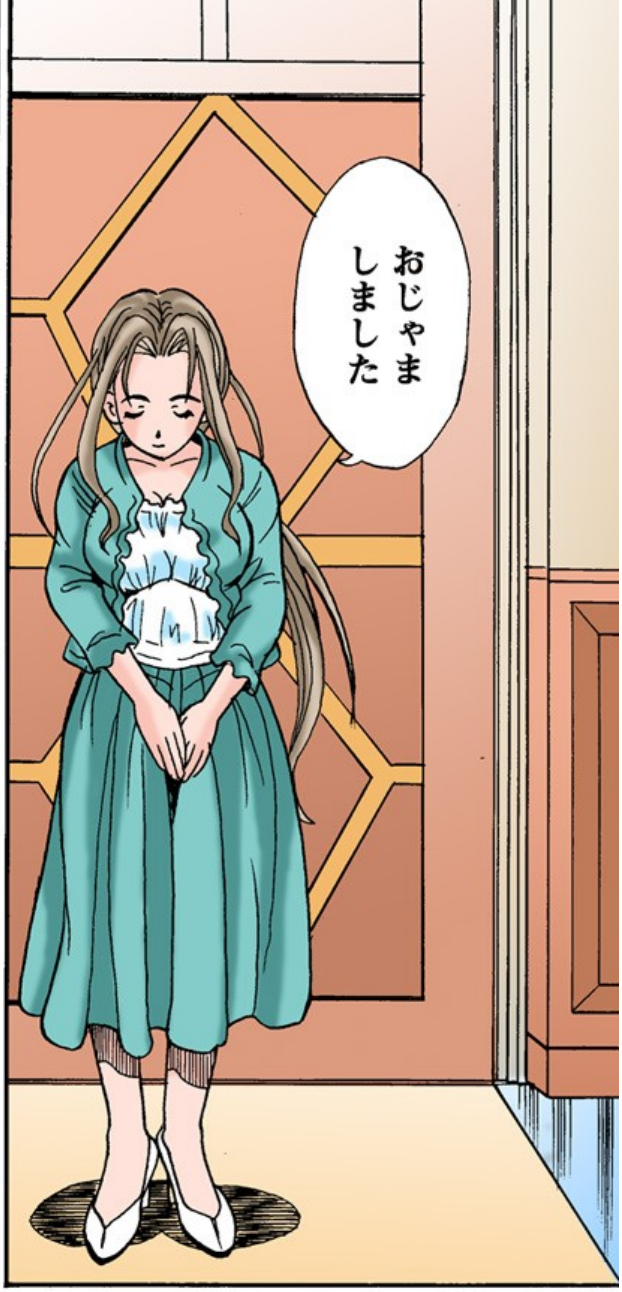

え？
緑子さんが正太くんの幼なじみというのが本当だってことよ
正太くん記憶なくてもこのお屋敷が証拠だもの

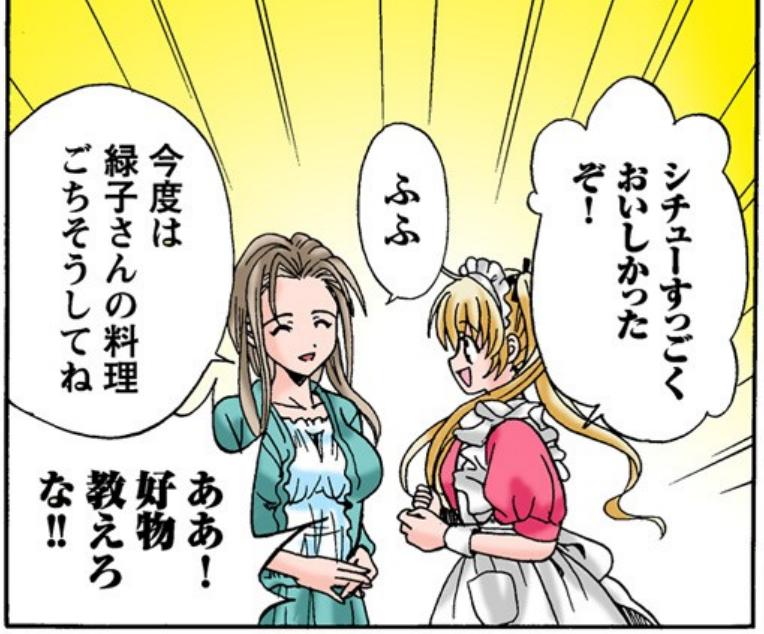

あまり焦らないでね
記憶はいつかきっと取り戻せると思うから！


美沙さん…

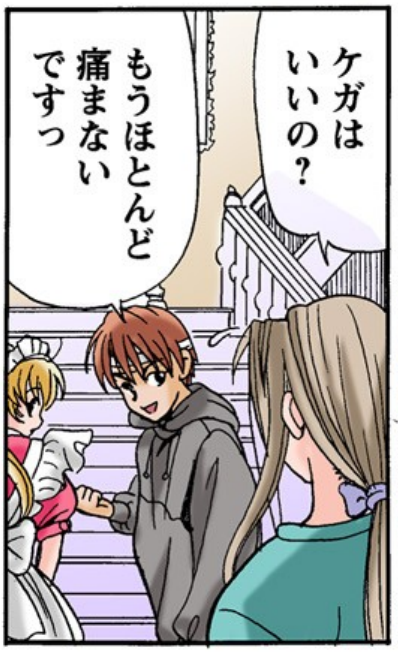

美沙…




おじゃまします

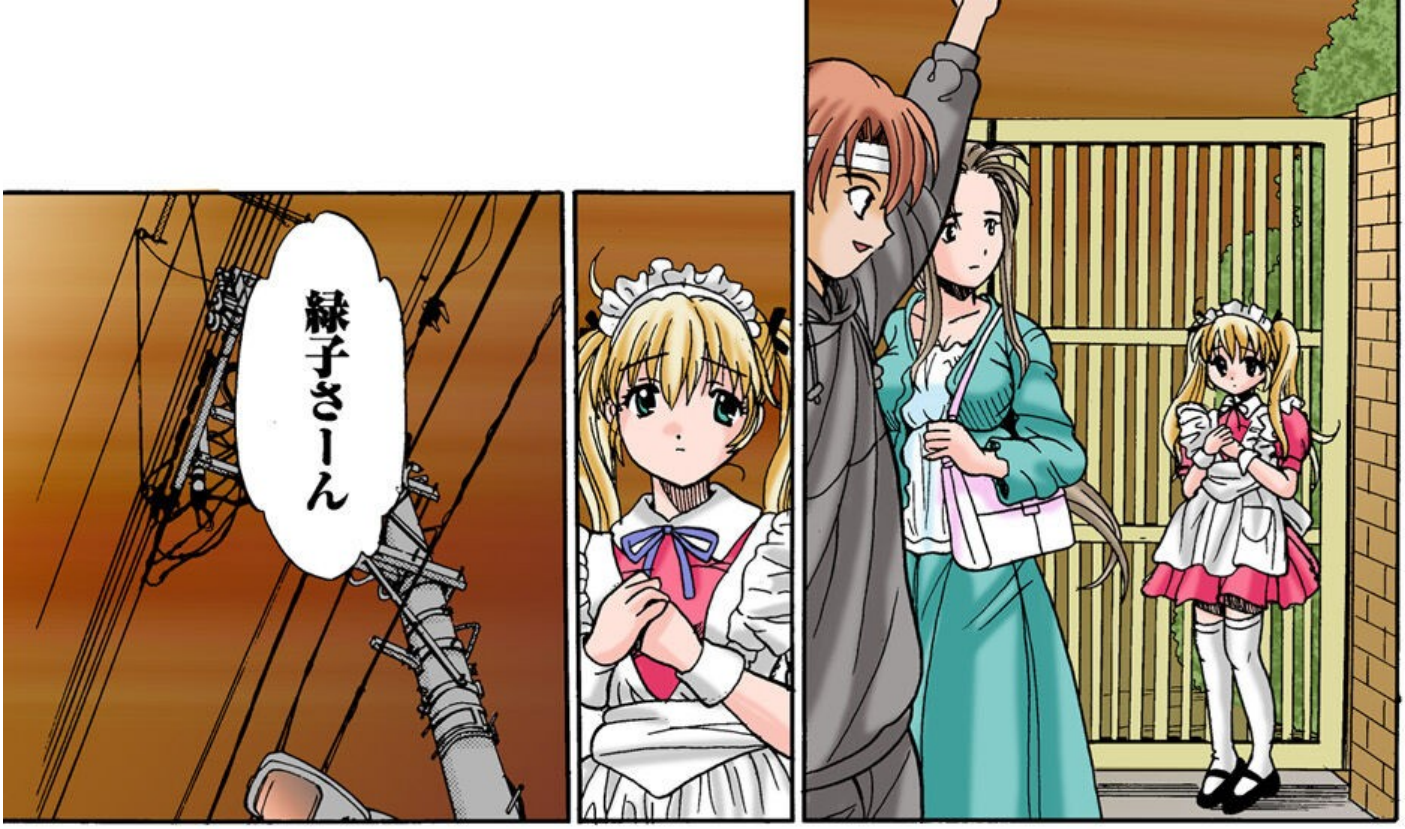

シチューすっごくおいしかったぞ！
ふふ
今度は緑子さんの料理ごちそうしてね
ああ！好物教えろな!!

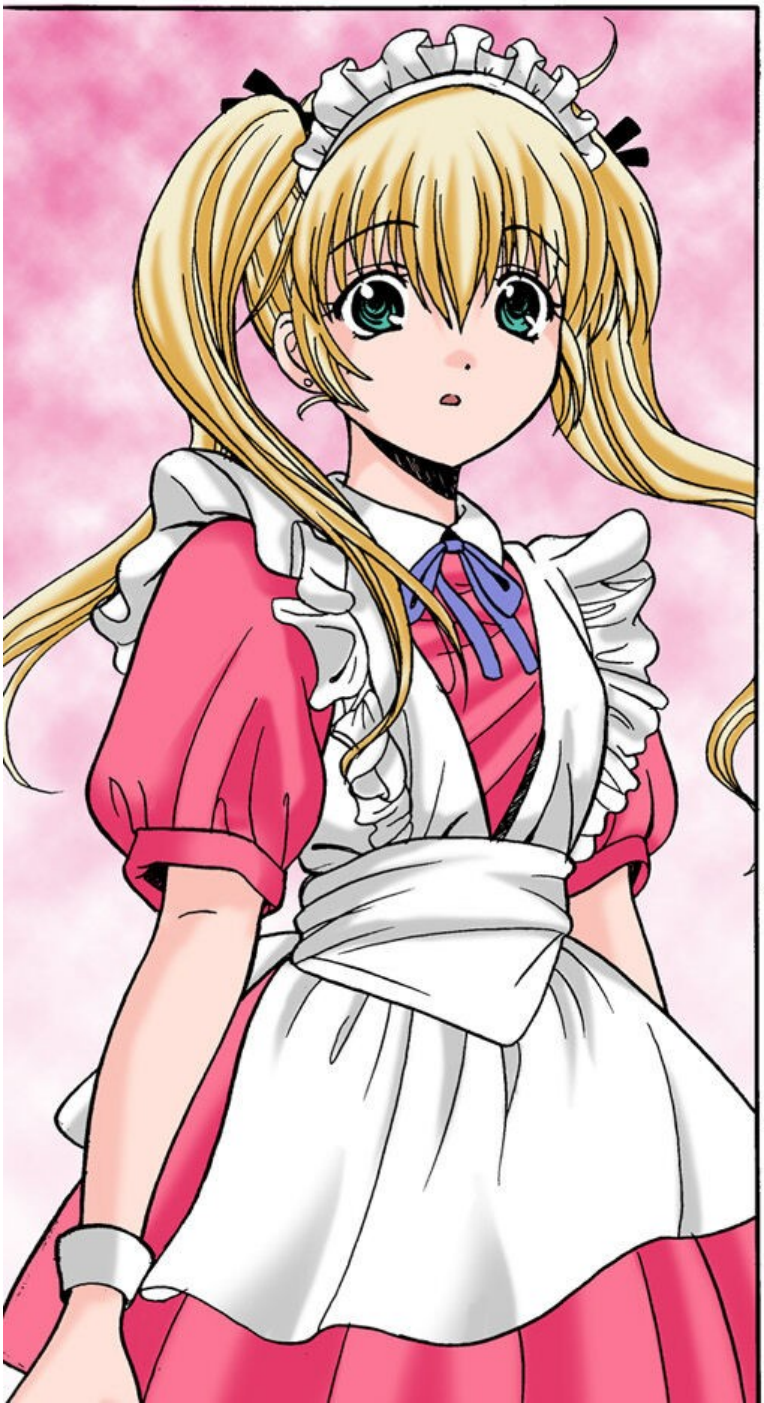

じゃ薬飲んで寝てなよ
バイト行くのか？しょーた


ケガはいいの？
もうほとんど痛まないですっ

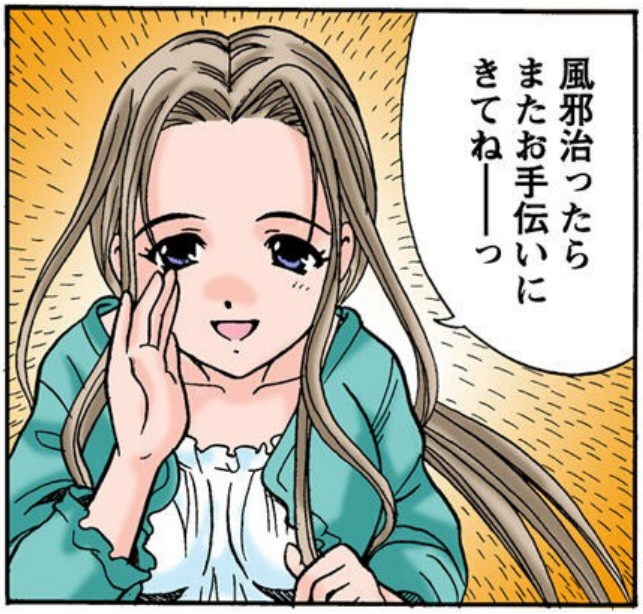

それに緑子ちゃんが俺のかわりに働いて守ってくれた
無遅刻無欠勤破りたくないですから！


しょーた

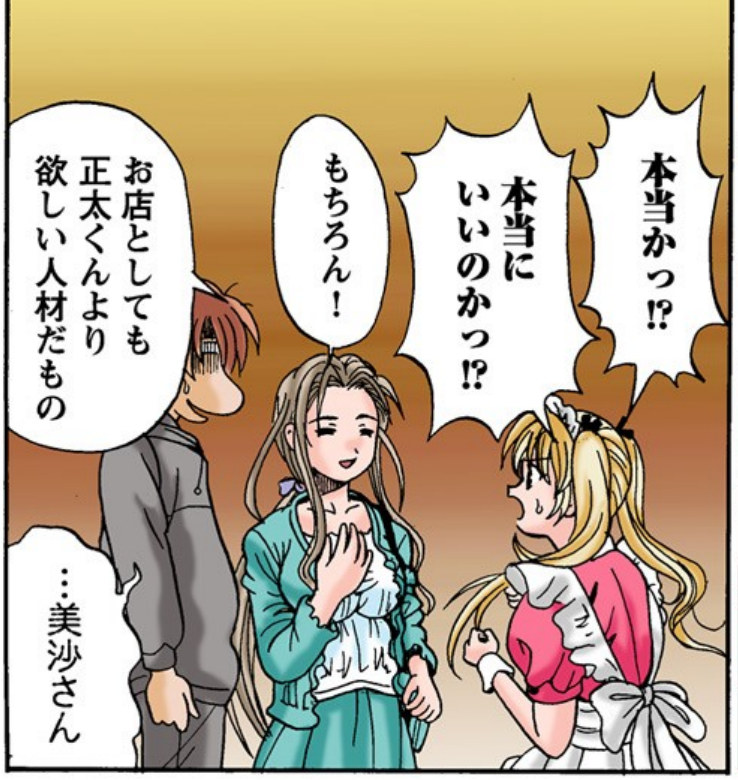

緑子さーん

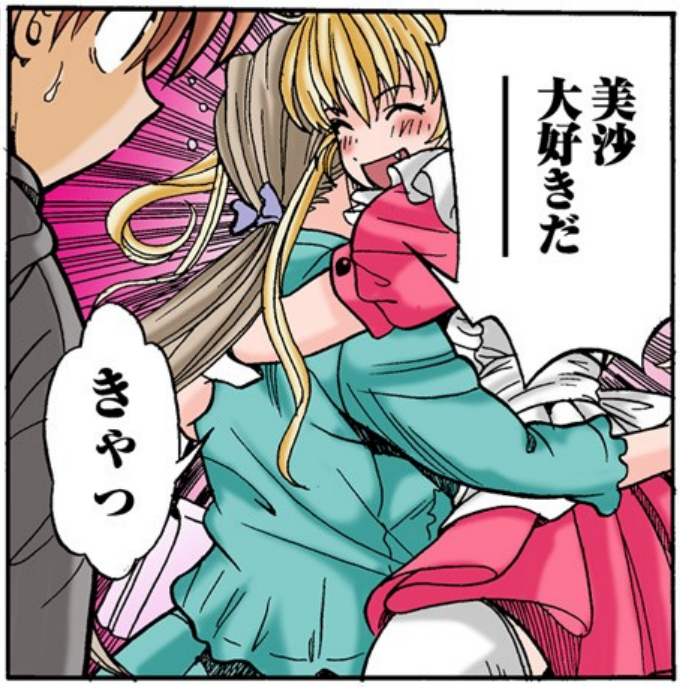



お父さん
緑子さんのこと
気に入ったん
だって――


風邪治ったら
またお手伝いに
きてね――っ

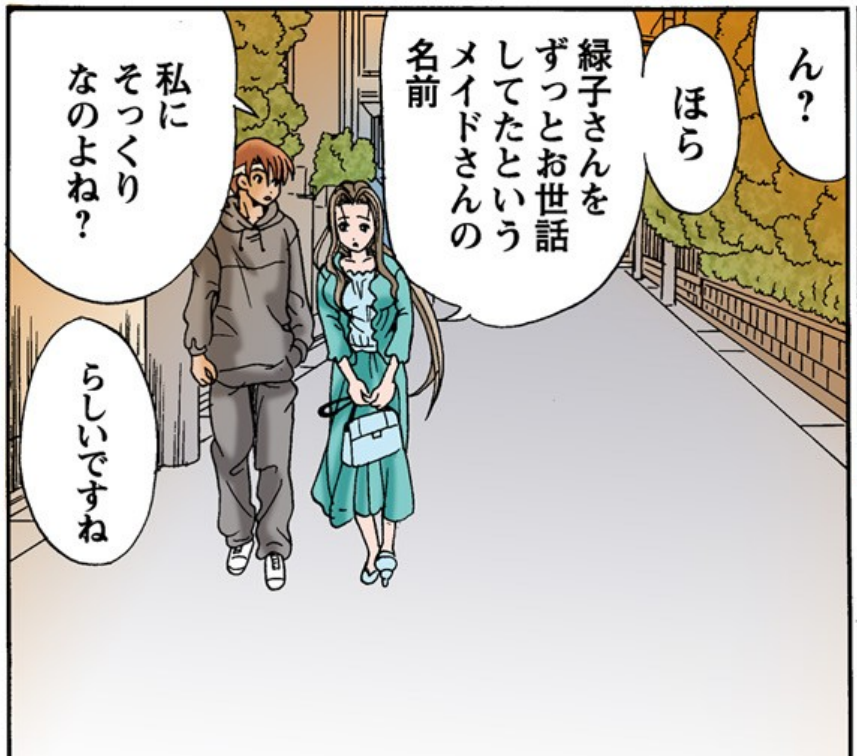

とととと！


本当かっ!?
本当にいいのかっ!?
もちろん！
お店としても正太くんより欲しい人材だもの
…美沙さん

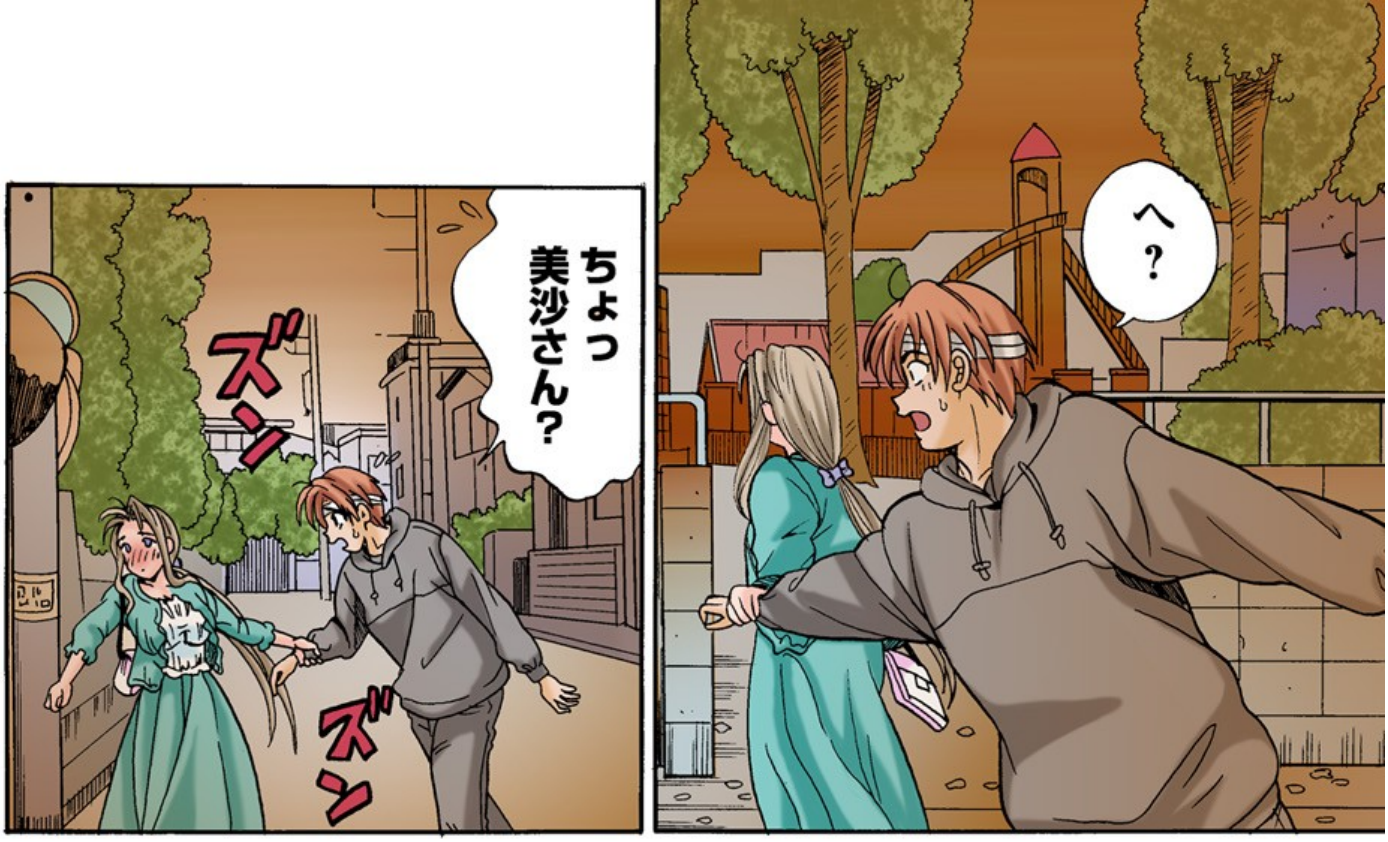

美沙大好きだ
きゃっ

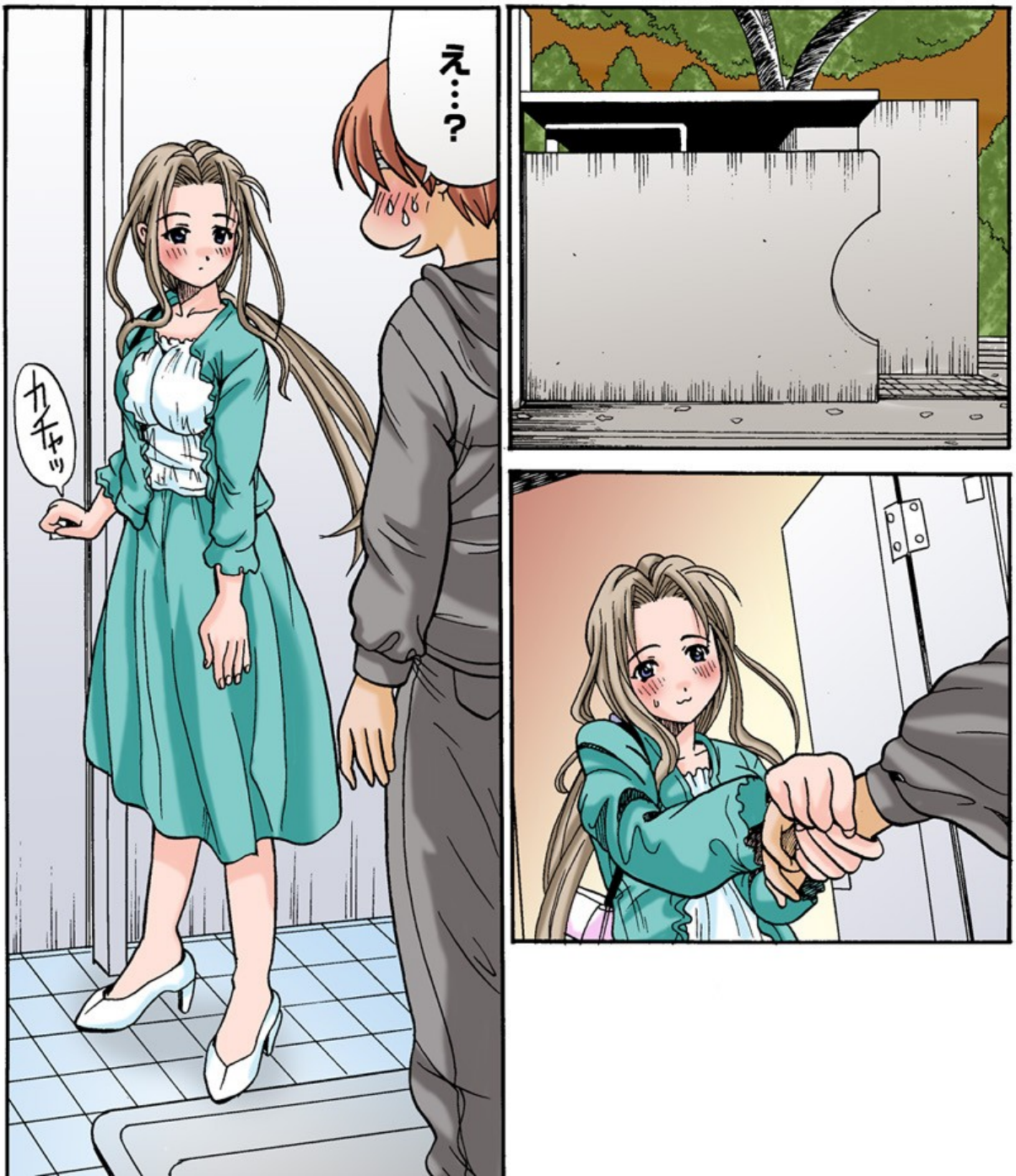


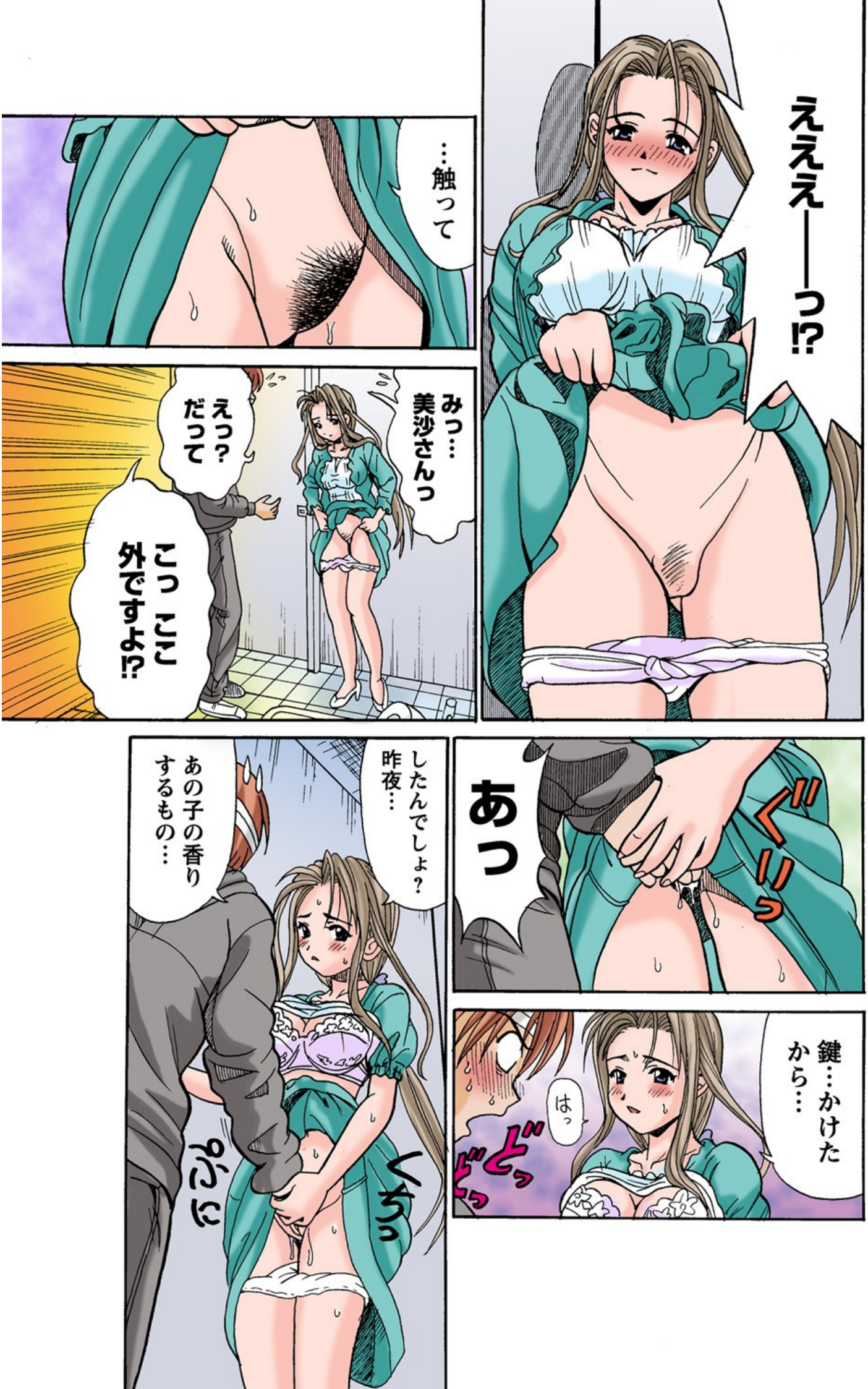

マリアさんか…

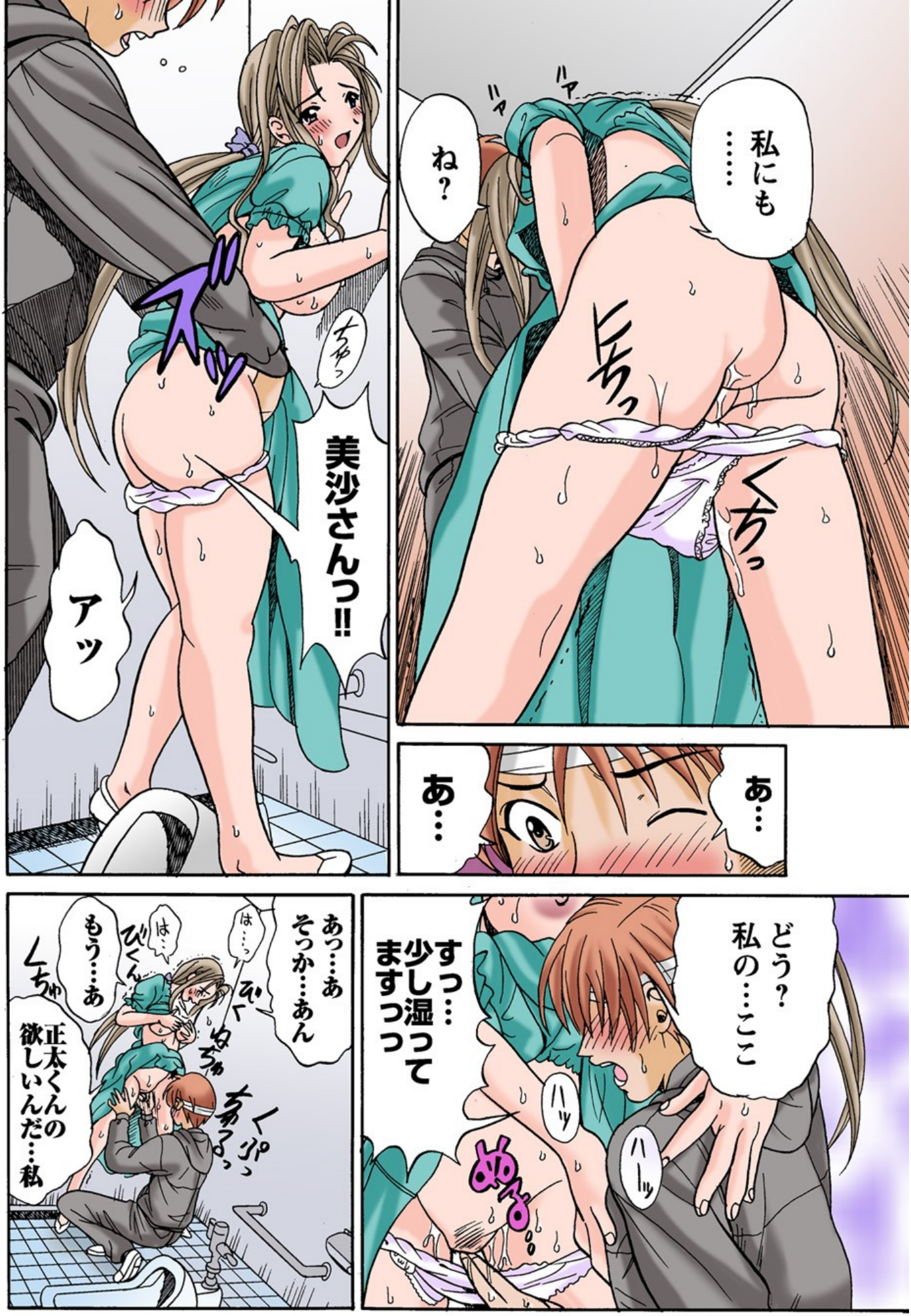

ん？
ほら
緑子さんをずっとお世話してたというメイドさんの名前
私にそっくりなのよね？
らしいですね

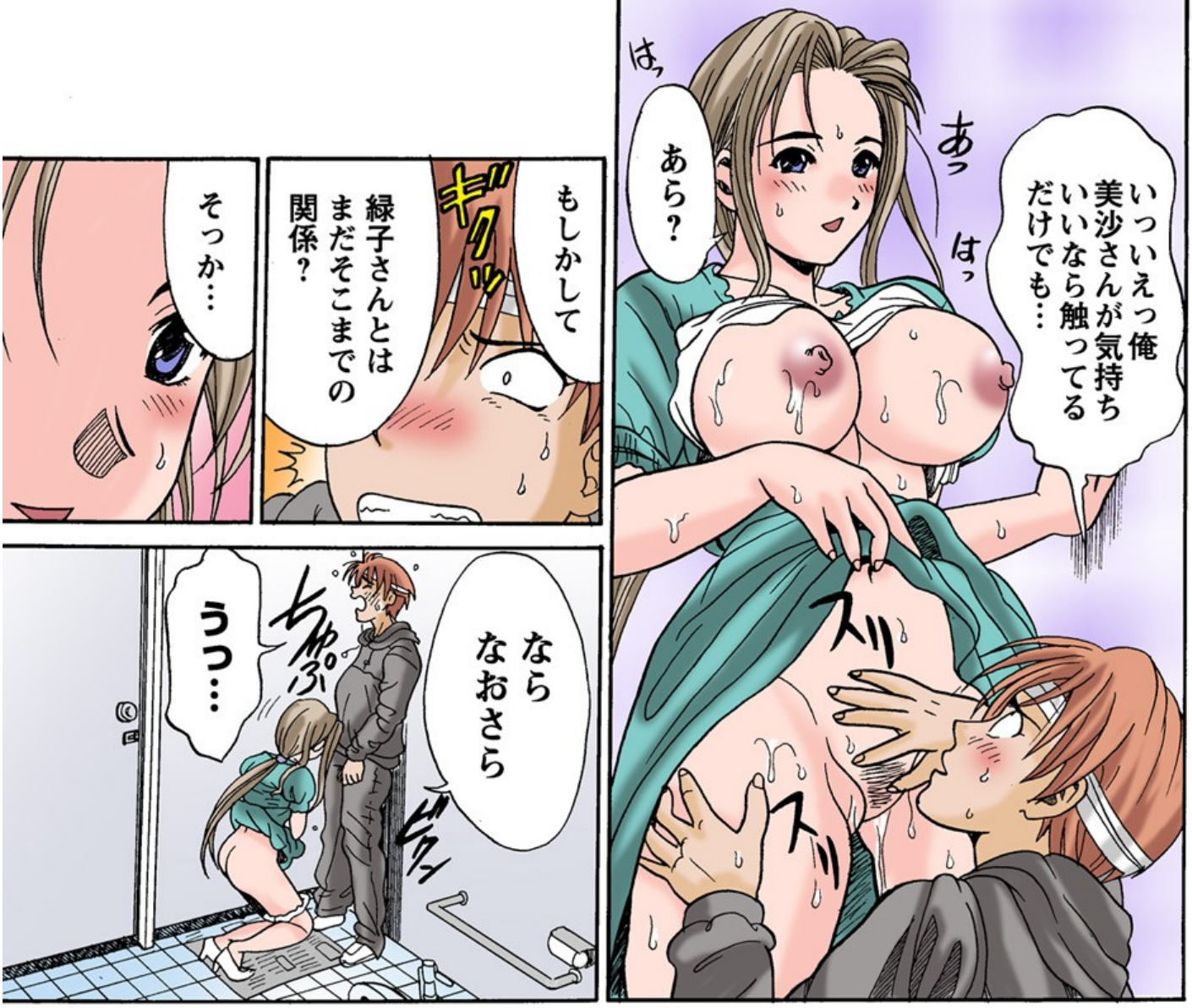

あれだけ敵視していた美沙さんになついたのもそのせいなんだろうな…
会ってみたいなぁ
血の雨降るよりいいけど
会ったことあるのよね？
正太くんは
あ
ごめん覚えてないんだっけ
そっそうか!!
マリアという人に会ったことあるんだ俺!!
夢の中で見た女の人確かに美沙さんに似ていた!!
そして初めて美沙さんを見た時の恐れの感情…
2度と姿を現さないで!!
あの女がマリアさんだとしたら——!!
何がいうんだっ!?
俺とマリアさんの間に!!
公園は
場です


へ？
ちょっ
美沙さん？
ズン
ズン


え…？
カチャッ

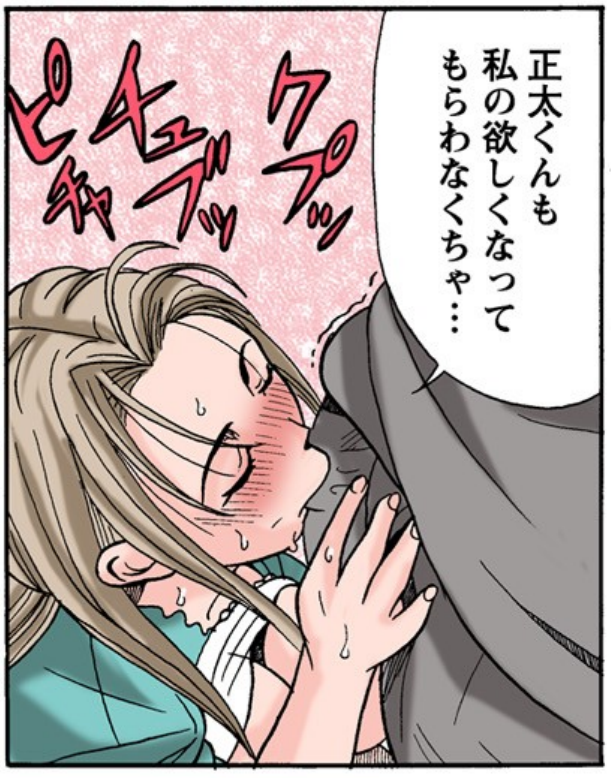

ええええ――っ!?
…触って
みっ…美沙さんっ
えっ?だって
こっ ここ外ですよ!?
あっ
ぐりっ
鍵…かけたから…
はっ
どっどっ
したんでしょ?昨夜…
あの子の香りするもの…
くちっ
ぷに

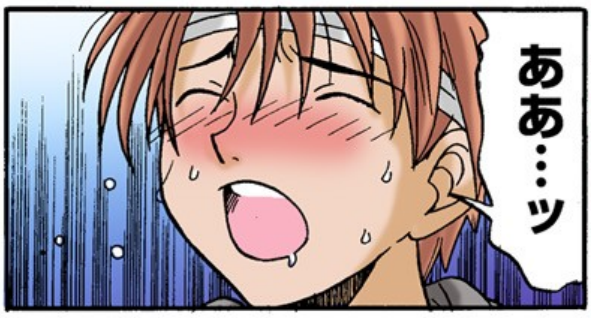

私にも……
ね？
ハァ
ハァ
ヒクっ
くちっ
美沙さんっ!!
ズッ
ちゅっ
アッ
あ…
あ…
どう？私の…ここ
すっ…少し湿ってますっっ
ハーッ
ハーッ
ぬるっ
あっ…あそっか…あん
は…っ
ぴくん
もう…あ
正太くんの欲しいんだ…私
くぱっ
ぬちゃ
ぬるっ

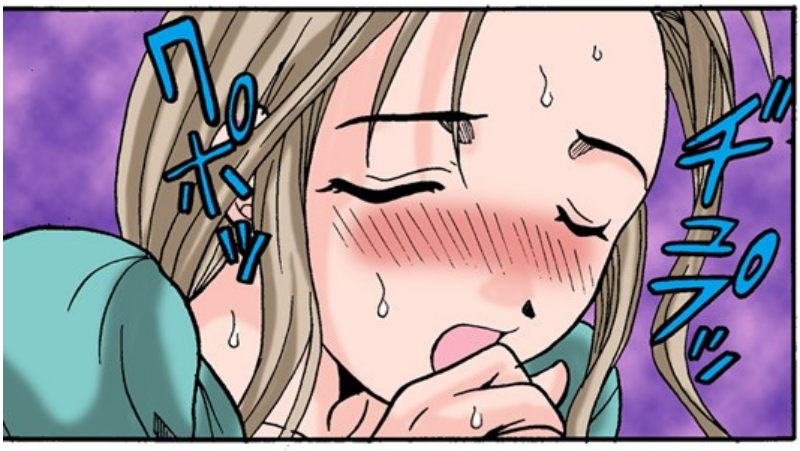

いっいえっ俺
美沙さんが気持ち
いいなら触ってる
だけでも…
あっ
はっ
はっ
あら？
スリ
スリ

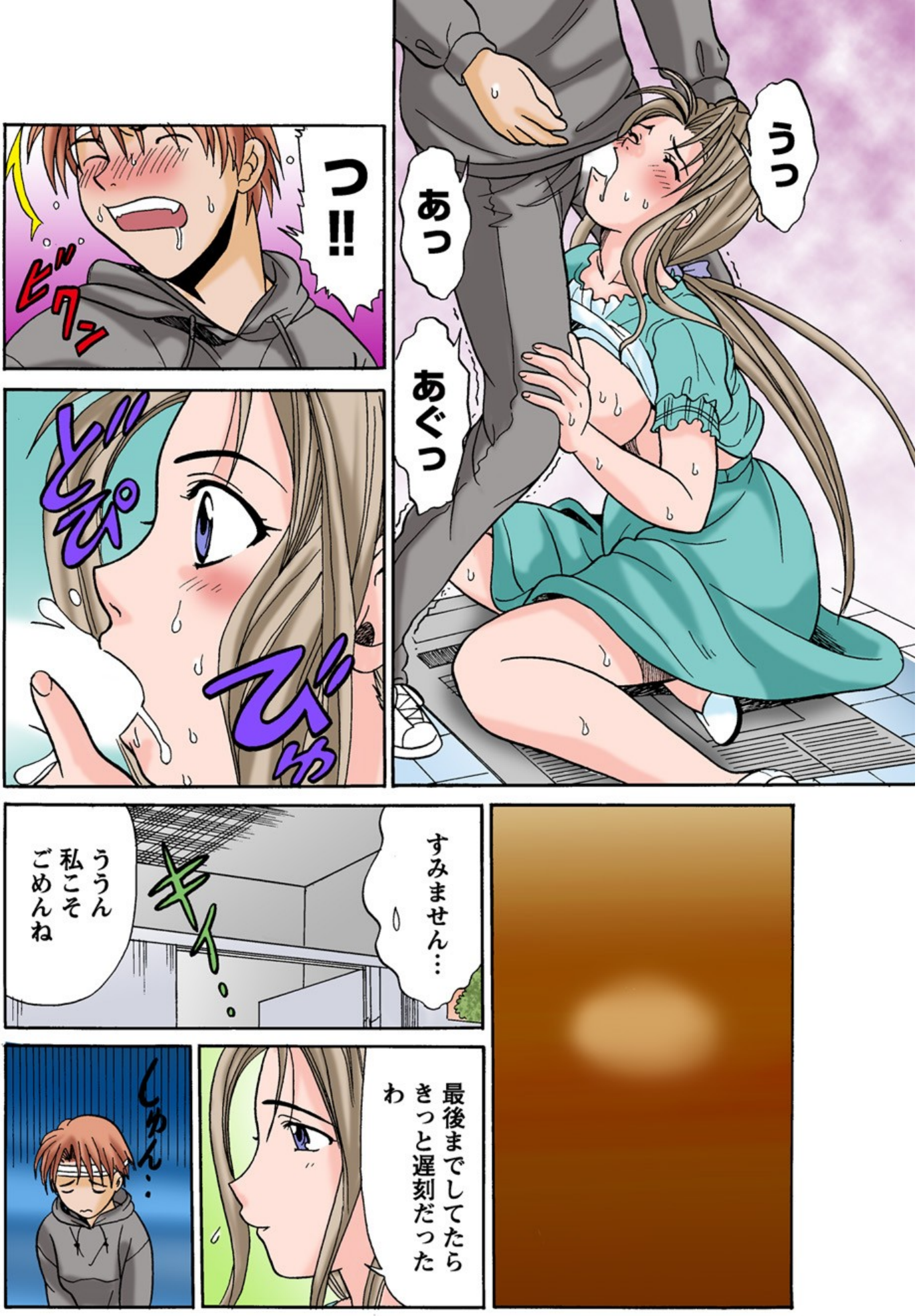
もしかして
緑子さんとは
まだそこまでの
関係？
そっか…
ギクッ

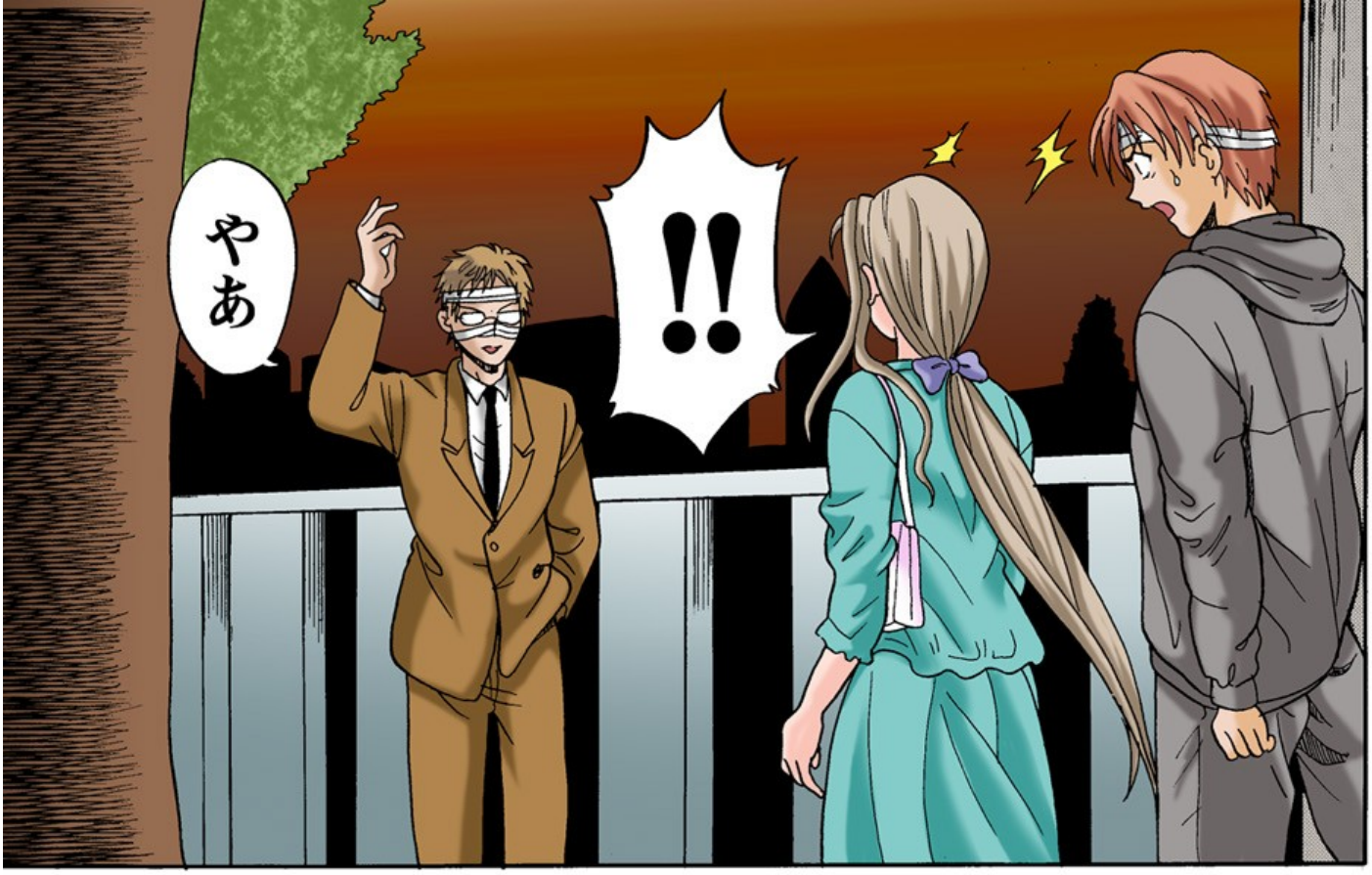
ならなおさら
うっ…
ちゅぷ
ビクン


正太くんも
私の欲しくなって
もらわなくちゃ…
クプッ
ピチュッ
チャブッ


ああ…ッ


ヂュプッ
ポッ

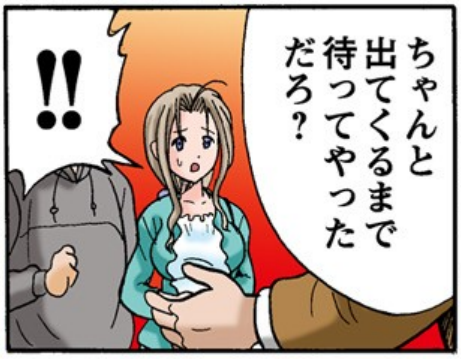

うっ
あっ
あぐっ
っ!!
ビクン
とぴぴ
びゅ
すみません…
ううん
私こそ
ごめんね
最後までしてたら
きっと遅刻だった
わ
しゅん…

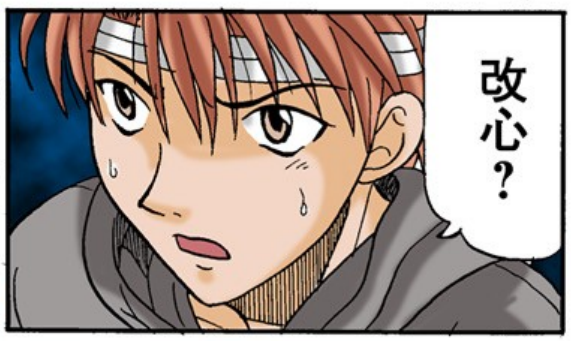

やあ
!!


博愛主義に転向したんだ
ズラ--


弘明さんっ!!
そんなに驚いた声出すなよ美沙
改心したんだぜ俺


だからさ
ニヤッ


ちゃんと出てくるまで待ってやっただろ?
!!


改心?


次は俺達の楽しむ番だよな?